はじめに

このたびは、「SoftBank 708SC」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- SoftBank 708SCをご利用の前に本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（➔P.26-23）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

708SCは、3G方式とGSM方式に対応しております。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告なしに変更することがございます。
- 本書の内容に関して、一部日本では提供していない機能、サービスの説明が記載されている場合があります。
  Not all functions and services described in this user guide are available in Japan.
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お問い合わせ先（➔P.26-23）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

SoftBank 708SC本体のほかに、次の付属品がそろっていることをお確かめください。付属品は、オプション品としても取り扱いしております。

付属品、オプション品につきましては、お問い合わせ先（➔P.26-23）までご連絡ください。

電池パック

急速充電器

ユーティリティソフトウェア（CD-ROM）

ステレオイヤホンマイク

USBケーブル

補足

- **microSD™メモリカードについて**
  708SCはmicroSD™メモリカード（以降、「メモリカード」と記載します）に対応しています。ご利用にあたっては、市販のmicroSD™メモリカードを購入してください。

- **ユーティリティソフトウェアについて**
  ユーティリティソフトウェアの取扱説明書は、CD-ROMに格納されております。また、ユーティリティソフトウェアは予告無く変更される場合があります。あらかじめご了承ください。なお、最新版のユーティリティソフトウェアはソフトバンクホームページ(http://www.softbank.jp)からダウンロードいただけます。

目　次

3 マナーモード

4 文字の入力方法

5 電話帳

6 TVコール

7 カメラ

8 ディスプレイの設定

9 音の設定

10 メディアプレイヤー

11 データ管理（データフォルダ）

12 外部接続

13 セキュリティ

14 ツール

15 その他の機能

16 オプションサービス

17 メール送受信

18 メールボックス

19 メールサーバー

20 メールのその他設定

21 ウェブの基本操作

22 情報の利用

23 ウェブのその他設定

24 Abridged English Manual

25 간단설명서

26 付録

本書の見かた

本書の本文中では、「SoftBank 708SC」を「708SC」と表記しています。あらかじめご了承ください。

本書は、主にお買い上げ時の状態を基準に説明しています。設定を変更された場合、708SCの表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。

ディスプレイの表記と708SCのイラストについて

記載している画面は、表示されている内容や番号などが実際の画面と異なる場合があります。操作の目安としてご利用ください。

本書のイラストはイメージイラストであり、実際の商品とは形状が異なる場合があります。

確認／警告メッセージについて

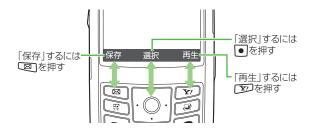
操作中、本書に記載していないメッセージが表示されることがあります。確認や警告のメッセージが表示された場合は、内容をよくご確認ください。

ボタンの使いかたと表記について

本書では、708SCのボタンをすべて記号で表記しています。「各部の名称と機能」（➔P.1-5）を参照してください。

ソフトキーとマルチファンクションボタンの操作については、次のように表記しています。

ソフトキー

ディスプレイの最下段（ソフトキーエリア）には「選択」「保存」のような、操作や設定の選択肢が表示されます。これらの内容を実行するには、その表示位置に対応するソフトキーを押します。

ソフトキー操作の表記

[✉]（保存）を押す

└ソフトキーエリアの表示

押すボタン

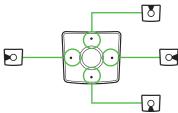
マルチファンクションボタン

マルチファンクションボタンは、上下左右の4か所を押せるボタンです。目的の項目を選ぶときや文字入力画面でカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときなどに使います。

マルチファンクションボタン操作の表記

[上]または[下]を押すとき：[上下]

[左]または[右]を押すとき：[左右]

[上]、[下]、[左]、[右]を押すとき：[上下左右]

「反転表示」について

メニュー項目や設定項目の選択画面でカーソル（「■」や画像ファイルを囲む枠など）を目的の項目に移動させることを、この取扱説明書では「反転表示する」と表記します。

メニュー操作の表記について

メインメニューからの操作やメニュー操作は、簡略化した表記方法で説明しています。

メインメニュー操作

1 [●]を押し、「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙設定」の順に選択する

メインメニュー項目を反転表示し、[●]（選択）を押す操作を繰り返すことを示す

メインメニューからの操作の詳細は、「メインメニューから機能を呼び出す」（➔P.1-18）を参照してください。

メニュー操作

1 メニューから「送信」→「Bluetooth」の順に選択する

[Y!]（メニュー）を押してメニューを呼び出すことを示す

メニュー項目を反転表示して[●]（選択）を押す操作を繰り返すことを示す

安全上のご注意

- ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
  また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- この取扱説明書に示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

●絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。
その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負うおそれが高い内容を示しています。
警告	誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
注意	誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

●絵表示の意味

記号は
してはいけないこと（禁止）を表しています。

記号は
しなければならないこと（指示）を表しています。

記号は
気をつける必要があることを表しています。

危険

708SC、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

708SCに使用する充電器および電池パックは、ソフトバンクが指定したものを使用してください（➲P.i）。

指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障、感電、火災の原因となります。

充電端子どうしを金属などで接触させないでください。

充電端子を針金などの金属類（金属製のストラップなど）で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。電池パックの液が漏れたり、発熱、破裂、発火、感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。

目に障害を与えるおそれがあります。

電池パックを充電するときや、使用する場合は、必ず次のことを守ってください。
正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱、破裂、発火により、やけどやけがの原因となります。

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解、改造、破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください（➲P.i）。
- 電池パックを708SCに装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電、使用、放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、708SC専用です。それ以外の機器には使用しないでください。

警告

708SC、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

内部に物や水などを入れないでください。

708SCや充電器の開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災、感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨に当たるところなどの、湿気の多いところでは使用しないでください。

火災、感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かないでください。

708SCや充電器の近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電の原因となります。

引火、爆発のおそれがある場所では使用しないでください。

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

電子レンジや高圧容器に、電池パックや 708SC、充電器を入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、708SCや充電器の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解や改造はしないでください。

- 708SCや充電器の外装ケースは、開けないでください。感電やけがの原因となります。
  内部の点検、調整、修理は、ソフトバンクの故障受付窓口にご依頼ください。
- 708SCや充電器を改造しないでください。火災、感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは

708SCの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグを AC コンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

衝撃を与えないでください。

708SCや充電器を持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。
万一、708SC や充電器を落とすなどして外装ケースを破損した場合は、電池パックを外してソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

異常が起きたときは

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、へんなにおいがするなどの異常な状態に気がついたときは、708SCの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグを ACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてソフトバンクの故障受付窓口に修理を依頼してください。
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

引火ガスが発生する場所では、必ず事前に電源をお切りください。ガスに引火する恐れがあり、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所ではソフトバンク携帯電話の電源も切り、充電しないでください。

708SCの取り扱いについて

事故防止のために

- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、708SC を絶対にご使用にならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全なところに止めてからご使用ください。
  道路交通法により、運転中の携帯電話の使用は罰則の対象となります（ 2004年11月1日改正施行)。
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、ステレオイヤホンマイクを絶対に使わないでください。交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。交通事故の原因となります。

ステレオイヤホンマイクやストラップを持って708SC を振り回したり、投げたりしないでください。

本人や他人に当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、708SCの電源を切ってください。

電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたすおそれがあります。

バイブレータや着信音の設定にご注意ください。
心臓の弱い方は、設定にご注意ください。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。
落雷、感電の原因となります。

ぬれた手で708SCに触らないでください。
感電、故障の原因となります。

充電用機器の取り扱いについて

指定以外の電圧では使用しないでください。
指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。

- **急速充電器：AC100V～ 240V**
  海外での充電に起因するトラブルについては、当社は一切責任を負いません。
- **シガーライター充電器：DC12／24V**

市販の「変圧器」は使用しないでください。
急速充電器を、海外旅行用として市販されている「変圧器」などに接続しますと、火災、感電、故障の原因となることがあります。

シガーライター充電器はプラスアース車には使用しないでください。
シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

充電器のプラグを、ぬれた手で抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

充電器は、タコ足配線しないでください。
発熱により火災の原因となります。

充電器のコードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を載せたり、加熱したり、引っぱったりしないでください。
コードが破損し、火災、感電の原因となります。

接続コネクターの端子をショートさせないでください。
接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。充電器が発熱したり、発火、感電の原因となります。

事故防止のために

シガーライター充電器は、運転に支障のない位置に取り付けてください。取り付けが不十分な場合、落ちたりして、けがや事故の原因となります。

急速充電器コードやシガーライター充電器コードが傷ついたときは（芯線の露出、断線など）

ソフトバンクの故障受付窓口に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

雷が鳴りだしたときは

安全のため早めに急速充電器のプラグを AC コンセントから抜いておいてください。火災、感電、故障の原因となります。

充電器は、乳幼児の手の届かない所で使用、保管してください。

感電、けがの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめてください。

発熱、破裂、発火の原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときにはただちに火気から遠ざけてください。

漏液した電解液に引火し、発火、破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色、変形など、今までと異なることに気がついたときには、708SC から取り外し、使用しないでください。

そのまま使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成 13年3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどの装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、708SCの電源を切るようにしてください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、708SCを持ち込まない。
- 病棟内では 708SCの電源を切る。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、708SCの電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う。

自宅療養など、医療機関の外で植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

注意

708SC、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災、事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつけるところへは置かないでください。露が付き、漏電、焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間当たる場所（特に密閉した自動車内）や暖房器具の近くには置かないでください。外装ケースが変形、変色したり、火災の原因となることがあります。また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。
- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- ほこりの多いところでは使用しないでください。放熱が悪くなり、焼損、発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすいところで使用しないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類を708SCや充電器に近づけないでください。カードに記録されているデータが消えることがあります。

708SCの取り扱いについて

708SCの温度（発熱）について

708SCを長時間利用すると、708SCが熱くなることがあります。また、708SCを長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。気温や室温が高い場所では、特にご注意ください。

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かないでください。

708SCの外装ケースが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

ステレオイヤホンマイクの取り扱いについて

- 抜くときは、必ずプラグを持って行ってください。コードを持って抜くと、断線や故障の原因となることがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。プラグが汚れていると雑音が出たり、誤動作の原因となることがあります。

自動車内でご使用のときは

708SCを自動車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめ医師の診断を受けてください。

下記の箇所に金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材料、表面処理
外装ケース	PC+GF30%
ボタン操作面	PCシート+ラバー
ディスプレイ	アクリル
充電端子／外部接続端子キャップ、メモリカードスロットキャップ	PC+ウレタン
電池カバー	PC+GF10%

充電用機器の取り扱いについて

急速充電器コードやシガーライターコードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。急速充電器やシガーライターのプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆がとけて、火災、感電の原因となることがあります。
- ACコンセントやシガーライターソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
  そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。
- シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

指定以外のヒューズは使用しないでください。

シガーライター充電器のヒューズは、1A（アンペア）のものを使用してください。
指定以外のヒューズを使用したり、針金などで代用すると、火災、故障の原因となります。

風通しの悪い場所では使用しないでください。

充電器は風通しのよい状態でご使用ください。
布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。
熱がこもり、外装ケースが変形し、火災の原因となることがあります。

エンジンが切れた状態では使用しないでください。

シガーライター充電器をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため、必ず急速充電器はプラグを ACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて、708SCを取り外してください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器はプラグを ACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて行ってください。感電やけがの原因となることがあります。

シガーライター充電器のケーブル類の配線について

ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

電池パックの取り扱いについて

電池パックは乳幼児の手の届かないところに保管してください。

けがなどの原因となることがあります。
また、使用する際にも乳幼児が機器から取り外さないようにご注意ください。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。

発熱、発火、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、ぬらさないでください。

電池パックの破損や性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

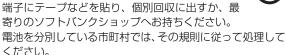
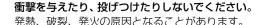
電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときには、すぐにきれいな水で洗い流してください。

皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。
電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

発熱、破裂、発火の原因となることがあります。

電池パックの充電は、周囲温度5〜40℃の場所で行ってください。

この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックをお子様がご使用の場合は、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。

また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。

電池パックを初めてご使用の際に、異臭や発熱など、その他異常と思われたときは、使用しないで、ソフトバンクの故障受付窓口にご連絡ください。

電池パックを使い切った状態で、保管、放置はしないでください。

また、電池パックを長期間保管、放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などにより708SC本体またはメモリカードに登録したデータ（電話帳、画像、サウンドなど）が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切な電話帳などのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- 708SCは、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 708SCを公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- 708SCは電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで708SCを使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受にご注意ください。**
  708SCは、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

自動車内でのご使用にあたって

- 運転中は、708SCを絶対にご使用にならないでください。
- 708SCをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- 708SCを車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください（電源も入れないでください）。運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

機能制限について

- 機種変更または解約した場合、708SCでは以下の機能が利用できなくなります。
  - カメラ
  - メディアプレイヤー
- 708SCを長期間お使いにならなかった場合、上記の機能が利用できなくなる可能性があります。

お取り扱いについて

- 708SCの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録、設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 708SCは5～40℃の範囲でご使用ください。極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- カメラ部分に、直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- 708SCを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪の日など、湿気の多い場所でご使用になるときは、水にぬらさないように十分ご注意ください。
- 708SCは精密部品で作られた無線通信装置です。絶対に分解、改造はしないでください。
- 708SCのディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようにご注意ください。
- ステレオヘッドホンの中には開放型のものがあり、音が外に漏れることがあります。周囲の人の迷惑にならないようにご注意ください。
- 708SCは防水仕様にはなっていません。水にぬらしたり、湿度の高い所に置かないでください。
  - 雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - 洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水でぬらす原因となります。

- 海辺などに持ち出すときは、海水がかかったり直射日光が当たらないように、バッグなどに入れてください。
- 汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗が 708SCの内部に浸透し、故障の原因になる場合があります。

● 708SC に無理な力がかかるような場所には置かないでください。故障やけがの原因となります。

- 708SCをズボンやスカートの前、または後ろのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり座席や椅子などに座らないでください。特に、厚い生地の衣服のときはご注意ください。
- 荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。

● 708SC の充電端子/外部接続端子に指定品以外の商品は取り付けないでください。誤動作を起こしたり、708SC を傷めることがあります。

● 電池パックを取り外すときは、必ず 708SCの電源を切ってから取り外してください。データの登録やメールの送信などの動作中に電池パックを取り外さないでください。データの消失、変化、破損などのおそれがあります。

著作権などについて

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

708SCに搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

登録商標について

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations:
  4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773
  5,101,501 5,506,865 5,109,390 5,511,073
  5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196
  5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754
  5,414,796 5,657,420 5,416,797 5,659,569
  5,710,784 5,778,338
- TVコール、デルモジ、メールアート、S!メールはソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。
- 「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- This product contains ACCESS Co., Ltd.' s NetFront Internet browser software
  NetFront is a trademark or registered trademark of ACCESS Co., Ltd. in Japan and in other countries.

ACCESS NetFront®

- 本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD ("MPEG-4 VIDEO") AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NONCOMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED
  FROM MPEG LA, LLC. SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.
- Contains Macromedia® Flash® Flash Lite™ technology by Adobe Systems Incorporated.

- Macromedia, Flash, Macromedia Flash, and Macromedia Flash Lite are trademarks or registered trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and other countries.
- 「着うた®」「着うたフル®」は、株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- microSD™はSDアソシエーションの商標です。

- Bluetooth is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.

The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Samsung Electronics is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.

Bluetooth® について

708SCのBluetooth® 機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ラインなどで使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Bluetooth® 機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

2 万一、Bluetooth® 機能の使用にあたり、708SCと「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth® 機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。

3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクお客様センター

ソフトバンク携帯電話から　157（無料）

※ 一般電話からおかけの場合、「お問い合わせ先一覧」（➔P.26-23）を参照してください。

この無線機器は、2.4 GHz帯を使用します。変調方法としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は1.5～5m以下です。

与干渉距離は、周囲の環境により変化します。

708SCの比吸収率（SAR）について

708SCの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。

この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。

708SCのSARは、1.05W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。

個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ

http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

ご利用になる前に

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIM（ユーシム）カード（以下USIMカード）は電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のソフトバンク携帯電話に取り付けて使用します。708SCは、USIMカードが取り付けられていないと利用できません。

USIMカード

USIMカードには電話帳とSMSを保存できます。USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のソフトバンク携帯電話でもご利用いただけます。

次の点にご注意ください。USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。

- USIMカードの取り付けや取り外しをするときには、必要以上に力を入れないでください。
- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入し、故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社では責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れするときは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。USIMカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。

USIMカードについてのその他ご注意

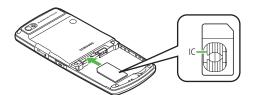
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失、破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約、休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- 国内外を問わず、USIMカードならびにソフトバンク携帯電話（USIMカード挿入済み）の盗難・紛失の際は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きはお問い合せ先（➔P.26-23）までご連絡ください。
- 708SCの修理やUSIMカードの交換、機種変更を行った場合、本体やメモリカードに保存した着うた® や着うたフル®、動画などのファイルがご利用になれなくなる可能性があります。あらかじめご了承ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別途メモなどに控えて保管することをおすすめします。
  万一、データが消失または変化した場合でも、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

USIMカードを取り付ける／取り外す

USIMカードの取り付けや取り外しをするときは、電池パックを取り外す前に必ず電源を切ってください。

取り付ける

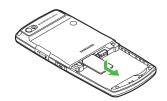
1 電池パックを取り外す（➔P.1-12）

2 USIM カードの金色の IC 部分を下側にして、挿入口に差し込む

3 USIMカードが固定されるように、奥まで押し込む

取り外す

1 電池パックを取り外す（➔P.1-12）

2 USIMカードに指を押し当て、スライドさせながら静かに引き抜く

注意

- 無理に取り付けたり取り外したりすると、USIMカードや708SCが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したUSIMカードは、紛失しないようご注意ください。
- USIM カードの取り付けや取り外しを行うときは、IC 部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。

PINコード

USIMカードには、「PINコード」と「PIN2コード」の2つの暗証番号があります。

PINコード

第三者によるソフトバンク携帯電話の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。

- PINコードは変更できます（➲P.13-2）。
- 「起動時PIN認証」を「有効」に設定すると、USIMカードを708SCに取り付けて電源を入れたとき、PINコードを入力しないと708SCを使用できなくなります（➲P.13-3）。

PIN2コード

累積通話料金のリセットや、通話料金の上限設定を行うときに使用する4～8桁の暗証番号です。

- PIN2コードは変更できます（➲P.13-2）。

PINロック解除コード（PUK/PUK2コード）

PINロック解除コード（PUKコード）とは、PINロック状態を解除するために使用する暗証番号です。PINコードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINロック状態になります。

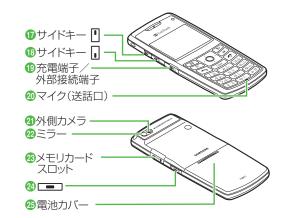
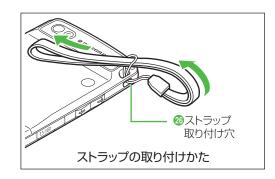
PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（➲P.26-23）までご連絡ください。

注意

- **PINロック解除コードを10回続けて間違えると、USIMカードがロックされ、708SCを使用できなくなります。PINロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。**
- **USIMカードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先（➲P.26-23）までご連絡ください。**

各部の名称と機能

本体

ストラップの取り付けかた

❶レシーバー（受話口）／スピーカー

❷ディスプレイ

❸左ソフトキー／メールボタン
画面左下のソフトキーエリアに表示された内容を実行するときに使います。

❹メディアプレイヤー／文字ボタン
メディアプレイヤーを起動するときや、文字の入力モードを切り替えるときに使います。

❺開始ボタン
音声電話をかけたり受けたりするときに使います。

❻クリア／バックボタン
文字を消去するときや、操作を1つ前の状態に戻すときに使います。

❼＊ボタン
文字を入力するときや、改行の入力などに使います。モード設定画面の呼び出しにも使います（1秒以上押す）。

❽内蔵アンテナ

❾内側カメラ
自分を撮影するときや、TVコール利用時に使います。

❿マルチファンクションボタン
項目の検索やカーソルの移動、画面のスクロールなどに使います。

⓫右ソフトキー／Yahoo!ケータイ・ボタン
画面右下のソフトキーエリアに表示された内容を実行するときに使います。

⓬スイッチボタン
スイッチバー（➔P.1-20）を表示させます。

⓭メニューボタン／中央ソフトキー
メインメニューを呼び出すときに使います。画面中央下のソフトキーエリアに表示された内容を実行するときにも使います。

⓮電源／終了ボタン
電源を入れたり切ったりするときや、操作を終了するときに使います。

⓯ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力するときに使います。メニューの選択にも使います。

⓰#／マナーボタン
入力モードを切り替えるときに使います。マナーモードの設定や解除にも使います（1秒以上押す）。

⓱サイドキー▯
音量を上げます。TVコール中に画像を拡大するときにも使います。

⓲サイドキー▯
音量を下げます。TVコール中に画像を縮小するときにも使います。

⓳充電端子／外部接続端子
急速充電器やステレオイヤホンマイク、パソコンなどを接続する端子です。

⓴マイク（送話口）

㉑外側カメラ
撮影するときや、TVコール中に周囲の風景などの映像を送信するときに使います。

㉒ミラー
外側カメラで自分を撮影するときに使います。

㉓**メモリカードスロット**
メモリカードを取り付けるスロットです。

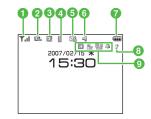
㉔**カメラボタン**
カメラの起動や撮影に使います。

㉕**電池カバー**
電池パックやUSIMカードの取り付けや取り外しをするときは、ここを開けます。

㉖**ストラップ取り付け穴**

補足

- **内蔵アンテナについて**
708SCは内蔵アンテナで送受信するため、外部アンテナはありません。
内蔵アンテナ部分は、手で覆ったりすると感度に影響しますのでご注意ください。また、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。ご使用中の体の向きや通話している場所によっては通話品質が変わることがあります。

ディスプレイ

❶ 電波の受信レベル（ の棒の数が多いほど電波の状態が良好）
圏外 圏外（サービスエリア外または電波の届かない場所にいるときに表示）
Out 圏外（Languageが「English」または「한국어」に設定されている場合の表示）

❷ 3G（UMTS）網接続中／ローミング中
GSM網接続中／ローミング中
ウェブSSL接続中

❸ （青）Bluetooth® 通信可能
（青とピンクに点滅）Bluetooth® 通信中
Bluetooth®を利用してインターネット通信中
Bluetooth® 対応のヘッドセットに接続中
（青）USB通信可能
（オレンジと黄色に点滅）USB通信中

708SCをモデムとしてインターネット通信中

❹ 音声電話発信中／通話中

TVコール発信中／通話中

キーロック設定中

❺ 新着S!メールあり

新着SMSあり

未再生の留守番電話メッセージあり

未再生の簡易留守録メッセージあり

メモリカードを取り付けている状態

ソフトウェア更新表示

❻ 通常モード中

マナーモード中

運転中モード中

ミーティングモード中

アクティブモード中

オフラインモード中

❼ 電池が十分残っている

電池の残量が少ない

電池がほとんど残っていない

（点滅）電池残量なし

❽ サウンド設定：「着信音量」の「音声通話」を「OFF」以外に、かつ「バイブ」の「音声通話」を「ON」に設定中

サウンド設定：「着信音量」の「音声通話」を「OFF」以外に、かつ「バイブ」の「音声通話」を「OFF」に設定中

サウンド設定：「着信音量」の「音声通話」を「OFF」に、かつ「バイブ」の「音声通話」を「ON」に設定中

サウンド設定：「着信音量」の「音声通話」を「OFF」に、かつ「バイブ」の「音声通話」を「OFF」に設定中

❾ ローミング中

留守番電話または音声通話の転送電話「呼び出しなし」を設定中

簡易留守録設定中

S!メール空き容量なし

SMS空き容量なし

留守番電話メッセージ空き容量なし

目覚ましアラーム／アラーム設定中

補足

- **（赤）が表示されたときは**
  パケット接続とS!メール送信のみ可能です。通話、S!メールの受信通知およびSMS送受信はできません。

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

初めてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときには、ご使用前に必ず充電してください。

充電について

- 長時間使用しない場合でも、なるべく6か月に一度は充電してください。長い間ご使用にならなかった電池パックは十分に充電されず、使用時間が短くなることがあります。
- 電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はメモリ効果がないため、継ぎ足し充電ができます。
- 次のような場所では充電しないでください。
  - 周囲の温度が5℃以下、または40℃以上になる場所
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所（誤動作の原因となります）
  - ラジオなどのそば（ラジオなどに雑音が入ることがあります）
- 充電中に電池パックや充電器が温かくなることがありますが、異常ではありません。ただし、手で触れられないほど熱くなった場合は、充電を中止し、お問い合わせ先（➔P.26-23）までご相談ください。
- 電池パックを使い切った状態で保管、放置はしないでください。また、電池パックを長期間保管または放置される場合は、半年に1回程度、電池パックの充電を行ってください。電池パックが使用できなくなる可能性があります。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

注意

- **708SCに使用する充電用機器は、必ず当社指定のものをご使用ください。また、708SC以外の製品に使用しないでください。**
- **電池パック単体で充電することはできません。必ず708SCに電池パックを取り付けた状態で充電してください。電池パックなしの状態では、充電することも電源を入れることもできません。**
- **充電器を長時間ご使用にならない場合は、プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。**

電池パックの持ちについて

次のような使いかたや操作をすると、電池パックの消耗が早まり、利用可能時間が短くなります。

- 使用環境
  - 極端な低温または高温の状態での使用、および保存（5～40℃の温度範囲でご使用ください）
  - 電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待ち受け（なるべく電波状態の良い環境でご使用ください）
  - 708SCや電池パック、充電器の充電端子の汚れ（汚れのために接触が悪くなると、正常に充電できなくなります）
- 操作
  - カメラでの撮影を何度も行ったとき
  - 動画やメロディを再生したとき
  - メール作成などで連続したボタン操作をしたとき（照明の点灯時間が長くなるため）
  - Bluetooth® 通信を何度も行ったとき
- 設定
  - フォトスライドを設定しているとき
  - ディスプレイ設定で、明るさのレベルを上げているときや、バックライトで長時間の点灯を設定しているとき
  - メディアプレイヤーのバックライトが「常時 ON」に設定されている状態で、メロディを再生したとき

不要になった電池パックは

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てずに、端子にテープなどを貼り付けて絶縁し、個別回収に出すか最寄りのソフトバンクショップへお持ちください。電池を分別廃棄している市町村の場合は、その条例に基づいて廃棄してください。

リチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。

電池が切れると

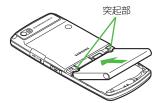
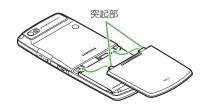
電池がほとんど残っていない状態になると、警告音とメッセージでお知らせします。電池パックを充電してください。そのまま充電をしないでいると、自動的に708SCの電源が切れます。

電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせる

2 電池カバーを矢印の方向に引き上げて、取り外す

3 708SCの突起部に電池パックのくぼみを合わせて取り付ける

4 電池カバーの突起部を708SCのくぼみに差し込んで取り付ける

注意

- 電池カバーを外すときには、電池カバーの突起部を708SCのくぼみに差し込んだまま無理に開かないでください。電池カバーの突起部が壊れる場合があります。

- 取り付けるときに、電池パックに無理な力を加えないでください。708SCの充電端子が壊れる場合があります。

取り外す

電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。また、急速充電器またはシガーライター充電器を接続していない状態で行ってください。

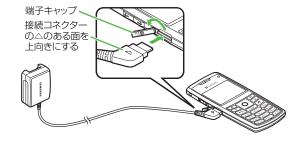
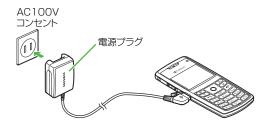
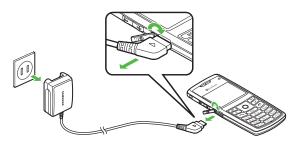
1 電池カバーを矢印の方向に押しながらスライドさせる

2 電池カバーを矢印の方向に引き上げて、取り外す

3 電池パックを持ち上げて、取り外す

急速充電器を利用して充電する

必ず付属の急速充電器を使用してください。

1 端子キャップを開き、外部接続端子に接続コネクターを差し込む

2 電源コードのプラグをAC100V コンセントに差し込む

3 充電が終わったら、708SCから接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、電源コードのプラグをACコンセントから抜く

補足

- **充電完了を確認するには**
  電源が入っているときはディスプレイの電池アイコンで確認できます。充電中は→→のように残量表示が変わり、充電が完了するとが点滅します。
  電源を切っているときはディスプレイの表示で確認できます。充電が開始されると「充電中…」と表示され、完了すると、「充電が完了しました」と表示されます。

- **充電にかかる時間は**
  約140分です。時間は708SCの電源が入っていて、何も操作していない（ディスプレイが消灯している）状態で充電した場合の目安です。何らかの操作をしながら充電すると、充電時間は長くかかります。また、周囲の温度によっても変わります。

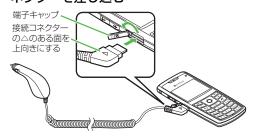
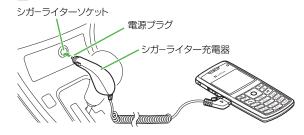
パソコンのUSBポートを使った充電について

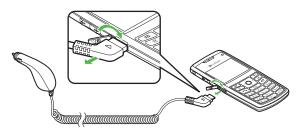
付属のUSBケーブルでパソコンと接続することにより、708SCを充電できます。

① 708SCの端子キャップを開き、外部接続端子にUSBケーブルの接続コネクターを差し込む
② USBケーブルのUSBコネクターをパソコンのUSBポートに差し込む
③ 充電が終わったら、708SCから接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、USBケーブルのコネクターをUSBポートから抜く

急速充電器を利用するときよりも、充電完了まで時間がかかります。また、接続するパソコンにより、充電にかかる時間が異なります。電池がほとんど残っていない場合、充電できないことがあります。

シガーライター充電器（オプション）を利用して充電する

1 端子キャップを開き、外部接続端子に接続コネクターを差し込む

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む

3 車のエンジンをかける

4 充電が終わったら、708SCから接続コネクターを抜いて端子キャップを閉め、プラグをシガーライターソケットから抜く

補足

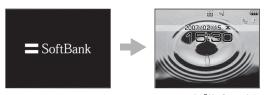
- **充電完了を確認するには**（➔P.1-13）
- **充電にかかる時間は**（➔P.1-13）
- **シガーライター充電器をお使いになる場合は**
  シガーライター充電器の操作方法などについては、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。充電するときは、708SCを固定させるため、車載ホルダーを利用されることをおすすめします。

注意

- 炎天下で高温になった自動車内では充電しないでください。
- このシガーライター充電器はマイナスアース車専用（12V／24V両用）です。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 [電源キー]を1秒以上押す

この画面を「待受画面」といいます。

補足

- **お客様の電話番号を確認するには**
  [●]を押し、[0]を押します。オーナー情報（名前やE-mailアドレスなど）の登録や編集もできます（➔P.5-14）。
- **起動時PIN認証を「有効」にしている場合は**
  電源を入れるたびにPINコードを入力する必要があります。
- **操作をしない状態が続くと（➔P.8-6）**
  電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます。

電源を切る

1 [電源キー]を2秒以上押して、ディスプレイが消灯することを確認する

日付・時刻の設定

日付や時刻を設定する

お買い上げ時 ■時間形式：24H
■日付表示形式：YYYY年 MM月 DD日

時刻や日付を設定しないとご利用になれない機能があります。日時設定からは、時刻や年月日の表示形式も変更できます。

1 [●]を押し、「設定」→「一般設定」→「日時設定」の順に選択する

2 設定操作をする

時刻を設定する場合は
時間欄を反転表示し、時刻を入力する

「AM」／「PM」を設定する場合は（時刻表示形式「12H」の場合のみ）
①時間欄を反転表示し、[○◀]で「AM」または「PM」にカーソルを合わせる
②[○◀]を押して設定を切り替える

日付を設定する場合は
日付欄を反転表示し、年月日を入力する

時刻の表示形式を変更する場合は
①時刻表示形式欄を選択する
②設定を選択し、[●]（OK）を押す

日付の表示形式を変更する場合は
①日付表示形式欄を選択する
②設定を選択し、[●]（OK）を押す

3 [✉]（保存）を押す

日付や時刻を自動的に補正する

お買い上げ時 ■最初に確認

定期的に送信される情報を受信して、日付や時刻を自動的に補正することができます。

1 ●を押し、「設定」→「一般設定」→「日時設定」の順に選択する

2 タイムゾーンの更新欄を選択し、設定操作をする

3 ✉（保存）を押す

補足

- 「タイムゾーンの更新」の設定内容は
  「手動のみ」：自動補正を行いません。
  「最初に確認」：タイムゾーンの異なる国、地域に移動したときにそのタイムゾーンに合わせて日付や時刻を補正します。ネットワークから時間情報を受信すると、「自動」に切り替えるかどうかを確認するメッセージが表示されます。
  「自動」：設定後に708SCが再起動し、ネットワークから送られてくる時間情報（タイムゾーン、日付、時刻など）に合わせて日付や時刻を自動的に補正します。ただし、ネットワークによっては時間情報が送られてこない場合がありますので、そのときは他の設定に切り替えてください。

タイムゾーンを変更する

お買い上げ時 ■タイムゾーン：GMT+9h
■サマータイム：チェックなし

お使いの地域に合わせて日付や時刻を切り替えます。サマータイムも設定できます。

1 ●を押し、「設定」→「一般設定」→「日時設定」の順に選択する

2 タイムゾーン欄を選択する

3 設定操作をする

タイムゾーンを変更する場合は

①◀▶で目的の地域を指定する
②●（OK）を押す

サマータイムを設定する場合は

①▲▼で「サマータイム」を選択してチェックありにする
②✉（OK）を押す

4 ✉（保存）を押す

機能の呼び出しかた

メインメニューから機能を呼び出す

1 待受中に●を押す

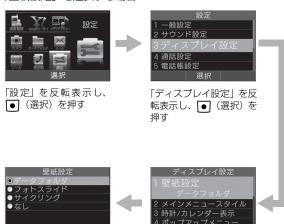
メインメニュー

2 目的の項目を反転表示し、●（選択）を押す

3 操作2を繰り返して、目的の機能を呼び出す

〈例〉設定メニューから「ディスプレイ設定」を選択して、「壁紙設定」を選択する場合

「設定」を反転表示し、●（選択）を押す

「ディスプレイ設定」を反転表示し、●（選択）を押す

「壁紙設定」が反転表示されている状態で●（選択）を押す

壁紙の設定画面が表示される

補足

- **メニュー操作を終了するには**
  を押します。メニュー操作を終了し、待受画面に戻ります。ただし、複数の機能を同時に使っている場合は、起動中のほかの機能に切り替わります。
- **メニュー操作を途中でやめるには**
  を押します。設定中の内容を破棄して待受画面やもとの画面に戻ります。ただし、メニューによっては内容を破棄するかどうかのメッセージが表示されます。
- **メニュー操作の表記について（➔P.xv）**

ポップアップメニューが「ON」の場合の操作について

ポップアップメニュー（➔P.8-5）を「ON」に設定しているときは、操作2で目的の項目を反転表示したときに小項目が吹き出しで表示されます。表示は異なりますが、操作手順は同様です。

番号を入力して項目を選択する操作について

メニュー項目画面や一覧画面に「1」「2」などの項目番号が表示されている場合は、この数字のダイヤルボタンを押すことにより、項目を選択できます。

ショートカットキーで機能を呼び出す

待受中に、ショートカット機能を割り当てられているボタンを押します。

ボタン	呼び出される画面
	メールメニュー
	Yahoo!ケータイのメインメニュー
（1秒以上）	Yahoo!ケータイメニュー
	メディアプレイヤーのミュージックプレイリスト一覧画面
（1秒以上）	メディアプレイヤーのミュージック再生画面（最後に再生したミュージックの再生を開始）
	スイッチバー
	ショートカット※
	電話帳の検索画面
	着信履歴
	発信履歴
	全履歴
（1秒以上）	モード設定
（1秒以上）	（マナーモードの設定／解除）
（1秒以上）	カメラ／ビデオの撮影画面（最後に使った撮影方法）

※ ショートカットには、頻繁に利用する機能などを登録できます（➔P.15-7）。

スイッチバーで機能を呼び出す

「通話」「メール」「Yahoo!ケータイ」「メディアプレイヤー」を呼び出せます。スイッチバーを使うと、音楽を聴きながらメールを作成したり、通話中にウェブを利用するなど、複数の機能を切り替えながら利用できます。

1 待受中または操作中に［スイッチバーキー］を押す

2 ［方向キー］で目的の機能を反転表示して［●］（選択）を押す

起動中の機能を1つ終了する場合は

終了する機能の画面を表示中に［終話キー］を押す

起動中の機能をすべて終了する場合は

①［スイッチバーキー］を押す

②［方向キー］で「全て終了しますか？」を反転表示して［●］（はい）を押す

補足

- **起動中の機能をすべて終了したときは**
  メールの作成中やYahoo!ケータイでホームページを表示中でも、確認メッセージを表示せずに、起動中の機能をすべて終了します。確認後に終了するときは、［終話キー］を押して1つずつ終了してください。また、メールの作成中や音声録音中、動画撮影中にすべて終了した場合、それまでの内容は保存されず消去されます。

メニューの使いかた

画面の右下に「メニュー」と表示されているときに［Y!］を押すと、メニューが表示されます。

メニューを実行するには、目的の項目を反転表示し、［●］（選択）を押します。

補足

- **メニュー操作の表記について（➔P.xv）**

暗証番号

708SCのご使用にあたっては、「暗証番号」と「交換機用暗証番号」「発着信規制用暗証番号」が必要になります。

暗証番号

お買い上げ時は「9999」に設定されています。708SCの各機能を操作するときに使用します。

- 入力した暗証番号は「*」で表示されます。
- 暗証番号を間違って入力したときは、番号間違いの確認メッセージが表示されます。操作をやり直してください。
- 暗証番号は、708SCの操作で変更できます（➔P.13-2）。

交換機用暗証番号

ご契約時の4桁の数字です。オプションサービスを一般電話から操作するときや、「ウェブの有料情報」の申し込みの際に必要な番号です。

発着信規制用暗証番号

ご契約時の4桁の数字です。708SCで発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますのでご注意ください。

- 発着信規制用暗証番号は、708SCの操作で変更できます（➔P.16-10）。

注意

- **暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号はお忘れにならないようにご注意ください。万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（➔P.26-23）までご連絡ください。**
- **暗証番号や交換機用暗証番号、発着信規制用暗証番号は、他人に知られないようにご注意ください。他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**

基本的な操作のご案内

電話をかける

電話帳を使ってかける操作はP.5-9を、TVコールをかける操作はP.6-2を参照してください。

1 電話番号を全桁（市外局番を含む）入力する

電話番号のリストが表示された場合は（➔P.5-9）

スピードダイヤルで電話をかける場合は（➔P.5-10）

2 電話番号を確認し、[発信]を押す

3 通話が終わったら、[終話]を押す

補足

- **電話番号を押し間違えたときは**
  [Clear]を押すと、最後の数字が消えます。[Clear]を1秒以上押すと、すべての数字が消えます。
- **電話番号として「P（ポーズ）」や「+（国際コード）」を入力するには**
  「P」を入力するには、[*]を1秒以上押します。「+」を入力するには、[0]を1秒以上押します。
- **相手がお話し中のときは**
  [終話]を押して電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。オートリダイヤル（➔P.15-2）を「ON」に設定している場合は、自動的に電話を切ってリダイヤルする動作が繰り返されます。リダイヤルを停止するには、[Y!]（キャンセル）または[終話]を押します。
- **ステレオイヤホンマイクを接続しているときは**
  電話番号を入力後、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押しても電話をかけられます。「イヤホン通話」を「ON」に設定している場合は、スイッチを1秒以上押すだけで指定した電話番号に電話をかけられます。電話を切るときもスイッチを1秒以上押します。
- **通話中にできる操作は（➔P.2-7）**

日本から国際電話をかけるには

国際電話のご利用には、別途お申し込みが必要です。詳しくは、『サービスガイド（3G）』を参照してください。

① 電話番号全桁（市外局番を含む）を入力する
② メニューから「国際発信」を選択する
③ 発信先の国を選択するか、「ユーザ入力」を選択して国番号を入力する
④「日本から」を選択する
⑤ 電話番号を確認して、[発信]を押す

海外にいる相手のソフトバンク携帯電話にかけるには

相手のいる国にかかわらず、ソフトバンク携帯電話番号だけでかけられます。

海外で電話をかけるには（➲P.2-14）

電話番号を入力した画面のメニュー操作

メニュー	内　容
TVコール	入力した電話番号にTVコールをかけます（➲P.6-2）。
電話帳登録	入力した電話番号を、本体またはUSIMカードの電話帳に登録します（➲P.5-5）。
メール作成	入力した電話番号を宛先としたメールを作成します（➲P.17-5）。
電話帳検索	電話帳の検索画面に切り替えます。
通話履歴	通話履歴画面に切り替えます。
国際発信	入力した電話番号に国際コードと国番号を付加して国際電話をかけます（➲P.2-2）。
発信者番号通知／非通知	お客様の電話番号を通知／非通知にして電話をかけます。「ネットワーク設定に従う」を選択すると、発信者番号通知サービス（➲P.16-11）の設定に従います。「番号通知」を選択すると、電話番号を通知します。「番号非通知」を選択すると、電話番号を非通知にします。

電話を受ける

1 着信中に[通話キー]または[●]（通話）を押す

2 通話が終わったら[終話キー]を押す

補足

- **エニーキーアンサー（➲P.15-4）を「ON」に設定している場合は**
  着信中に[メールキー]、[Y!キー]、[終話キー]、サイドキー[▲][▼]を除くどのボタンを押しても音声電話を受けられます。
- **着信音を消すには**
  着信中に[メールキー]（ミュート）を押します。ミュート中も、相手側では呼び出し状態が続いています。電話に出られるようになったら、[●]（通話）を押します。
- **着信音量を調節するには**
  着信中にサイドキー[▲]または[▼]を押します。
- **ステレオイヤホンマイクを接続しているときは**
  着信中にステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押しても受けられます。電話を切るときもスイッチを1秒以上押します。
- **通話中にできる操作は（➲P.2-7）**

着信音について

相手の電話番号が電話帳に登録され、個別またはグループごとの着信音が設定されている場合は、設定されている着信音が鳴ります（➔P.5-3、5-6）。それ以外の場合は、モードごとに設定されている着信音が鳴ります（➔P.9-2）。
シークレットモード設定が「非表示」のとき、電話帳のシークレットモードが「ON」の相手から着信があった場合も、モードごとに設定されている着信音が鳴ります。

電話がかかってきたときの表示について

相手が電話番号を通知してかけてきたときは、電話番号が表示されます。電話番号が電話帳に登録されている場合は、登録されている名前が表示されます。相手が電話番号を通知してこなかった場合は、「非通知設定」と表示されます。
電話帳やグループに着信画像が設定されている場合は、画像も表示されます（➔P.5-3、5-6）。
シークレットモード設定が「非表示」のとき、電話帳のシークレットモードが「ON」の相手から着信があった場合は、名前や画像は表示されません。

電話に出なかったときの表示について（不在着信）

かかってきた電話に出なかったときは、「不在着信」と表示してお知らせします。[✉]（表示）を押すと、不在着信履歴（➔P.2-9）を確認できます。

電話に出られないときの便利な機能について

オプションサービスの転送電話サービスまたは留守番電話サービスをご利用になると、電話に出られないときに指定した電話番号に自動的に転送したり、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりしたりできます。これらのサービスを「呼び出しあり」でご利用の場合は、着信中に[Y!]（転送）を押すと、すぐに転送先または留守番電話センターに転送できます（➔P.16-3、16-4）。
詳しくは16章「オプションサービス」を参照してください。
また、簡易留守録を利用すると、708SC本体に15秒までのメッセージを最大3件まで録音することができます（➔P.2-5）。

着信を拒否して電話を切る

着信中の電話に応答せず、強制的に切ります。拒否した電話は、不在着信履歴に記録されます。

1 着信中に[終話キー]を押す

補足

- **サイドキー設定（➲P.15-5）を「応答拒否」に設定している場合は**
  着信中にサイドキー[▮]または[▮]を1秒以上押しても着信を拒否できます。
- **相手に「お話し中です」と通知して電話を切るには**
  転送電話サービス（➲P.16-2）または留守番電話サービス（➲P.16-4）をご利用になっていない場合、着信中に[Y!]（転送）を押すと、着信を拒否します。このとき相手のディスプレイには、こちらがお話し中である旨のメッセージが表示されます。ただし、相手がこの機能に対応していない場合、メッセージ表示されません。
- **着信を自動的に拒否するには（➲P.13-7）**

簡易留守録の利用

電話に出られないとき、相手の用件を708SC本体に録音できます。用件は1件につき最長15秒間録音でき、3件まで保存できます。

簡易留守録を設定／解除する

お買い上げ時 ■OFF

1 [●]を押し、「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「On/Off設定」の順に選択する

2 設定を選択し、[●]（保存）を押す

注意

- **電波の届かない場所にいるときや708SCの電源を切っているとき、オフラインモード中は、簡易留守録を利用できません。着信ができない状況の場合は、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。**
- **708SC本体の共有メモリ（➲P.26-13）の空き容量が600Kバイトより少ない場合は、簡易留守録を利用できません。**

簡易留守録を設定すると
待受画面に[アイコン]が表示されます。

2

基本的な操作のご案内

呼出時間を設定する

お買い上げ時 ■時間設定（18秒）

1 [●]を押し、「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「応答時間」の順に選択する

2 設定を選択し、「時間設定（0-60秒）」を選択した場合は[◎]を押して時間を入力する

3 [●]（保存）を押す

応答メッセージの言語を設定する

お買い上げ時 ■日本語

1 [●]を押し、「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「応答言語」の順に選択する

2 設定を選択し、[●]（保存）を押す

録音された用件を確認する

簡易留守録に伝言メッセージが録音されると、画面に[アイコン]が表示されます。

1 [●]を押し、「設定」→「通話設定」→「簡易留守録」→「録音メッセージ再生」の順に選択する

2 用件を反転表示し、[●]（再生）を押す

補足

- **用件を削除するには**
  一覧画面で用件を反転表示し、[✉]（削除）を押して「はい」を選択します。

通話中の操作

相手の声の音量を調節する

受話口やステレオイヤホンマイクのイヤホンから聞こえる相手の声の大きさを調節できます。

1 通話中にサイドキー▲▼または🔈を押す

補足

- **受話音量がレベル5のときにサイドキー▲または🔈を押すと**
  スピーカーホン通話にするかどうかの確認画面が表示されます。スピーカーホン通話にする場合は「はい」を選択します。
- **スピーカーホン通話中の受話音量がレベル1のときにサイドキー▼または🔈を押すと**
  スピーカーホン通話をオフにする旨の画面が表示され、通常の通話に切り替わります。

通話を保留にする

保留中は相手に保留音が流れ、双方の声が聞こえなくなります。保留操作を行うには、割込通話サービス（➲P.16-6）または多者通話サービス（➲P.16-7）のお申し込みが必要です。どちらも非加入になると、保留機能が使用できません。

1 通話中に✉（保留）を押す

2 通話に戻るときは、✉（応答）を押す

スピーカーホン通話に切り替える

1 通話中に●（📱）を押し、「はい」を選択する

スピーカーホン通話から通常の通話に切り替える場合は

通話中に●（📱）を押す

相手の声を録音する

通話中にボイスレコーダーを利用して、相手の声を録音できます。最長2分間録音できます。

1 通話中に▬を1秒以上押す

2 ●（録音）を押す

3 停止／一時停止操作をする

停止して保存する場合は

✉（停止）を押す

一時停止する場合は

①●（一時停止）を押す

②録音を再開する場合は●（録音）を押し、録音を終了する場合は✉（保存）を押す

補足

- **音声が録音されると**
  録音された音声ファイルは、データフォルダのメロディ＆ミュージックフォルダに保存されます。
- **録音中に他の相手から電話がかかってくると**
  割込通話サービスをご利用の場合、録音中に着信があると、録音を終了し、着信画面を表示します。
- **録音中に電話が切れると**
  録音が自動的に終了し、音声が保存されます。

通話中のメニュー操作

メニュー	内　容
ささやきON／ささやきOFF	「ON」にすると小さい声でも相手に大きく伝えられます。
ミュート	「音声」または「キー操作音」をチェックありにして[✉]（OK）を押すと、こちらの音声またはキー音が相手に聞こえなくなります。
発信	「多者通話サービス」（➔P.16-7）をご利用の場合に有効です。表示される電話番号入力画面に電話番号を入力して[●]（発信）を押すと、電話をかけられます。
電話帳	電話帳の検索画面に切り替えます。
電話帳登録	通話中の相手の電話番号を、本体またはUSIMカードの電話帳に登録します（➔P.5-3）。
メール作成	通話中の相手の電話番号を宛先としたメールを作成します（➔P.17-5）。
プッシュトーン送信	ダイヤルボタンを押して[●]（送信）を押すと、プッシュトーンを送信できます。
音声録音	通話中の相手の声を録音します（➔P.2-7）。
メモ	メモを作成し、保存します（➔P.14-8）。
通話終了	電話を切ります。
ヘッドセットに切替／本体に切替	Bluetooth® 対応のヘッドセットをご利用の場合に有効です。ヘッドセットを使った通話または通常の通話に切り替えます。

通話履歴の利用

通話履歴を確認する

全履歴	すべての発着信履歴一覧です。
不在着信履歴	かかってきた電話に出なかったときの履歴一覧です。
着信履歴	かかってきた電話に出たときの履歴一覧です。
発信履歴	かけた電話の履歴一覧です。

1 を押す

2 で履歴一覧を切り替える

電話番号や1通話ごとの通話時間などを確認する場合は

履歴を反転表示し、（表示）を押す

履歴一覧のアイコンについて

履歴一覧には、音声電話とTVコールを識別するアイコンが表示されます。

etc.：本体の電話帳に登録されている電話番号との音声電話（電話番号のアイコン）

：USIMカードの電話帳に登録されている電話番号との音声電話またはTVコール

：電話帳に登録されていない電話番号との音声電話

：本体の電話帳に登録されている電話番号とのTVコール

「全履歴」には、履歴の種別を示すアイコンも表示されます。

：着信　：着信拒否　：不在着信

：発信

補足

- **シークレットモード設定を「非表示」に設定しているときは**
  履歴の相手が電話帳に登録され、シークレットモードが「ON」に設定されている場合は、名前が表示されません。

通話履歴を使って電話をかける

1 を押す

2 で履歴一覧を切り替える

3 履歴を反転表示し、を押す

TVコールをかける場合は

メニューから「TVコール発信」を選択する

通話履歴を削除する

1件削除する

1 を押す

2 で履歴一覧を切り替える

3 履歴を反転表示してメニューから「削除」→「1件」の順に選択し、「はい」を選択する

補足

- **1通話ごとの履歴を削除するには**
  ①操作1～2を行う
  ②履歴を反転表示し、[●]（表示）を押す
  ③履歴を反転表示してメニューから「削除」→「1 件」の順に選択し、「はい」を選択する

すべて削除する

各履歴一覧の内容をまとめて削除できます。

1 [←]を押し、[◇]で削除する履歴一覧に切り替える

すべてまとめて削除する場合は
[◇]で「全履歴」に切り替える

2 メニューから「削除」→「全件」の順に選択し、「はい」を選択する

3 暗証番号を入力し、[●]（確認）を押す

通話履歴のメニュー操作

メニュー	内　容
音声電話発信	通話履歴の電話番号に音声電話をかけます。
TVコール発信	通話履歴の電話番号にTVコールをかけます（➲P.2-9）。
電話帳登録	通話履歴の電話番号を電話帳に登録します（➲P.5-5）。
メール作成	通話履歴の電話番号を宛先としたメールを作成します（➲P.17-5）。
削除	通話履歴を削除します（➲P.2-9）。
拒否リスト追加	履歴の電話番号を着信拒否リスト（➲P.13-8）に登録します。
電話帳表示	通話履歴の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認できます。
国際発信	通話履歴の電話番号に国際コードと国番号を付加して国際電話をかけます（➲P.2-2）。
発信者番号通知／非通知	お客様の電話番号を通知／非通知にして電話をかけます。「ネットワーク設定に従う」を選択すると、発信者番号通知サービスの設定に従います。「番号通知」を選択すると、電話番号を通知します。「番号非通知」を選択すると、電話番号を非通知にします。

通話時間／通話料金を管理する

通話データ管理の各項目から、次の操作ができます。

項目	説明
累積データ通信量	累積パケット量の目安を確認、リセットできます。
通話料金	累積通話料金、前回の通話の料金の目安を確認できます。累積通話料金はリセットできます。通貨単位の変更や、通話料金の上限の設定もできます。
累積通話時間	発着信した音声電話、TVコールの通話時間の目安を確認、リセットできます。

データ通信量／通話時間／通話料金を確認する

1 ●を押し、「通話履歴」を選択する

2 確認する項目を選択する

累積データ通信量をリセットする場合は

①累積データ通信量画面でリセットする項目を反転表示し、メニューから「リセット」を選択する

②「はい」を選択する

累積データ通信量をすべてリセットする場合は

①累積データ通信量画面で、メニューから「全てリセット」を選択する

②暗証番号を入力し、●（確認）を押して「はい」を選択する

累積通話料金をリセットする場合は

①通話料金画面のメニューから「累積通話料金リセット」を選択する

②PIN2コードを入力し、●（確認）を押す

累積通話時間をリセットする場合は

①累積通話時間画面でリセットする項目を反転表示し、メニューから「リセット」を選択する

②「はい」を選択する

累積通話時間をすべてリセットする場合は

①累積通話時間画面で、メニューから「全てリセット」を選択する

②暗証番号を入力し、●（確認）を押して「はい」を選択する

通話料金の通貨単位を変更する場合は

①通話料金画面のメニューから「通貨設定」を選択する

②PIN2コードを入力し、●（確認）を押す

③レート欄を反転表示して円に対するレートを入力する

④通貨欄を反転表示して通貨単位を入力する

⑤✉（保存）を押す

通話料金の限度額を設定する

通話料金の上限を超えると、緊急電話発信（➔P.2-14）を除くすべての電話の発信やメールの送受信、ウェブ接続（通話料、通信料が課金される操作）ができなくなります。

1 [●]を押し、「通話履歴」→「通話料金」の順に選択する
2 メニューから「料金上限設定」を選択する
3 PIN2コードを入力し、[●]（確認）を押す
4 限度額を入力する

通話中の画面に通話料金を表示する

お買い上げ時 ■OFF

1 [●]を押し、「設定」→「通話設定」→「通話料金・時間」→「通話料金表示」の順に選択する
2 設定を選択し、[●]（保存）を押す

海外での利用（国際ローミング）

国際ローミングのご利用には、別途お申し込みが必要です。海外でのご利用の詳細については、『国際ローミングガイド』を参照してください。海外にお出かけになったときは、『国際ローミングガイド』を携帯してください。

ネットワークモードを切り替える

お買い上げ時 ■3G

1 [●]を押し、「設定」→「外部接続」→「3G・GSM選択」の順に選択する
2 設定を選択する

補足

- **ネットワークモードの設定について**
  「自動」：お使いの場所（ネットワークの状態）に応じて、自動的にモードが切り替わる
  「GSM900/1800」：海外のGSM900/1800サービスエリアで使用できるモード
  「GSM1900」：海外のGSM1900サービスエリアで使用できるモード
  「3G」：日本国内と海外の3G/UMTSサービスエリアで使用できるモード

ネットワークを設定する

接続するネットワークを選択する

お買い上げ時 ■自動

ご利用になる地域によって、ネットワーク（事業者）を切り替える必要があります。自動的に切り替えることもできます。

1 ● を押し、「設定」→「外部接続」→「事業者選択」の順に選択する

2 設定を選択する

自動的に選択させる場合は

「自動」を選択する

特定のネットワークを選択する場合は

①「手動」を選択する

②ネットワークを選択する

優先されるネットワークを設定する

ネットワーク選択を「自動」に設定したときに優先的に選択されるネットワークの一覧を編集できます。「挿入」すると一覧で反転表示したネットワークの上の順位に、「追加」すると一覧の最後にネットワークが追加されます。

1 ● を押し、「設定」→「外部接続」→「優先事業者リスト」の順に選択する

2 一覧の編集操作をする

ネットワークリストから選択して挿入／追加する場合は

①挿入したい位置のネットワークを反転表示する（挿入時のみ）

②メニューから「挿入」または「追加」→「ネットワークリスト」の順に選択する

③ネットワークを選択し、●（挿入／追加）を押す

ネットワークを新規登録して挿入／追加する場合は

①挿入したい位置のネットワークを反転表示する（挿入時のみ）

②メニューから「挿入」または「追加」→「新規ネットワーク」の順に選択する

③各項目を設定し、✉（挿入／追加）を押す

一覧からネットワークを削除する場合は

削除するネットワークを反転表示してメニューから「削除」を選択し、「はい」を選択する

補足

- **新規ネットワークの設定項目について**
  次の項目を設定します。

国番号	最大3桁
ネットワークコード	最大3桁
ネットワーク名	英数半角最大20文字
ネットワークタイプ	GSM／3Gから選択

海外で電話をかける

1 **電話番号を全桁（市外局番を含む）入力する**

滞在国の一般電話や携帯電話にかける場合は
操作5に進む

国番号などを直接入力する場合は
[0]を１秒以上押すと「+」が入力されます。続けて国番号、先頭の「0」を除いた電話番号（イタリアの一般電話にかける場合は除かない）の順に入力し、操作5に進む

2 **メニューから「国際発信」を選択する**

3 **国を選択するか、「ユーザ入力」を選択して国番号を入力する**

4 **「海外から」を選択する**

5 **電話番号を確認し、[発信]を押す**

補足

- **国際コードや国番号を追加、変更するには（➲P.15-2）**

緊急電話発信について

緊急電話発信とは、緊急時に使用する電話発信「110（警察）」「119（消防）」「118（海上保安部）」のことです。

708SCで発信の制限などを設定している場合、緊急電話発信の可否は次のようになります。

708SCの状態	緊急電話発信
オフラインモード中（➲P.3-2）	不可
通話料金上限（➲P.2-12）を超過したとき	「110」「119」「118」可
簡易ロック中（➲P.13-4）	不可
起動時PIN認証（➲P.13-3）で、未認証のとき	不可
USIM照合（➲P.13-4）で、未認証のとき	不可
発信規制中（➲P.16-9）	「110」「119」「118」可

注意

- **海外でのご利用にあたっては、無線ネットワークや無線信号、708SCの機能の設定状態によって動作が異なるため、すべての国や地域での接続を保証するものではありません。**

マナーモード

3

マナーモード

マナーについて

携帯電話は、マナーを守ってご使用ください。

- 劇場や映画館、美術館などでは、電源を切っておきましょう。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では、周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

708SCには、マナーを守るための2つのモードが用意されています。

マナーモード

着信音や警告音などを消音またはバイブレータにするモードです。マナーモードは、ワンタッチで設定／解除できます。

オフラインモード

電波の送受信を停止するモードです。通信以外の操作はできます。

マナーモードやオフラインモード以外でも、着信音や警告音などをバイブレータや消音に設定することができます。

マナーモードを設定／解除する

1 待受画面で[#]を1秒以上押す

補足

- **マナーモード中のディスプレイには** が表示されます。
- **マナーモードを設定しても、カメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。**

モードを切り替える

マナーモードを含む5種類の中から選択できます。

1 待受画面で[*]を1秒以上押す

2 モードを選択する

3 [●]（保存）を押す

補足

- **モードの設定内容を変更する場合は（➲P.9-2）**

モードの種類について

モードは使用状況に合わせて選択し、必要に応じて設定を編集してご利用ください（➲P.9-2）。

モード	内　容
通常	708SCから出る音を気にせずに使える状況に適したモード
マナー	708SCから音を出さないモード
運転中	車の運転中にも使えるモード。音声電話に自動的に応答し、スピーカーホン通話ができる
ミーティング	着信音やボタン確認音が、あらかじめバイブレータや消音に設定されているモード
アクティブ	着信音やボタン確認音が、あらかじめ最大音量に設定されているモード

オフラインモードを設定／解除する

お買い上げ時 ■OFF

1 **[●]を押し、「設定」→「通話設定」→「オフラインモード」の順に選択する**

2 **設定を選択し、[●]（保存）を押す**

補足

- **オフラインモード中に電源を切ると**
  電源を入れ直したときに、オフラインモードを設定するかどうかの確認メッセージが表示されます。[Y!]（いいえ）を押すと、通常モードに切り替わります。

文字の入力方法

文字入力について

漢字、ひらがな、ハングル、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字、顔文字を入力できます。

文字入力画面について

漢：漢字／かな
力：全角カタカナ　　ｶﾅ：半角カタカナ
A：全角英字　　AB：半角英字
1：全角数字　　12：半角数字
※：全角記号　　※#：半角記号
絵文字アイコン：絵文字　　^^：顔文字
韓：ハングル

※候補表示エリアは、全角および半角のカタカナ、英字、数字の各入力モードでは表示されません。予測入力の機能を解除すると、漢字／かな入力モードでも表示されなくなります。

数字しか入力できない入力欄について

電話帳の電話番号欄やアラームの時刻欄など数字しか入力できない場合は、文字入力画面には切り替わりません。登録、設定画面の欄に数字を直接入力します。

入力モードの切り替え

使用できる入力モードは、状況によって制限されます。

1　文字入力画面で［文字］を押す

1. 漢かな	6. １２
2. カナ	7. 12
3. ｶﾅ	8. ！＠＃
4. ＡＢ	9. !@#
5. AB	0. 絵文字
*. 顔文字	#. ハングル

2　切り替える入力モードを反転表示し、［●］（OK）を押す

補足

- **ワンタッチで記号／絵文字／顔文字入力モードに切り替えるには**
  文字入力画面で［#記号］を押すごとに、入力モードが記号や絵文字、顔文字に切り替わります。

ダイヤルボタンの割り当て

1つのボタンには複数の文字が割り当てられています。文字を入力するには、目的の文字が表示されるまでボタンを繰り返し押します。

＊は濁点を付けたり改行を入力するなどの機能が、＃には入力モードを切り替えるなどの機能が割り当てられています。

ボタン	漢字／かな	カタカナ（全角／半角）	英字（全角／半角）	数字（全角／半角）
1	あいうえおぁぃぅぇぉ 1	アイウエオァィゥェォ 1	.@-_/:˜（全角のときは「～」）1	1
2	かきくけこ2	カキクケコ2	abcABC2	2
3	さしすせそ3	サシスセソ3	defDEF3	3
4	たちつてとっ 4	タチツテトッ 4	ghiGHI4	4
5	なにぬねの5	ナニヌネノ5	jklJKL5	5
6	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	mnoMNO6	6
7	まみむめも7	マミムメモ7	pqrsPQRS7	7
8	やゆよゃゅょ 8	ヤユヨャュョ 8	tuvTUV8	8
9	らりるれろ9	ラリルレロ9	wxyzWXYZ9	9
0	わをんゎ、。ー・～！？ 〈スペース〉0	ワヲンヮ※、。ー・～！？ 〈スペース〉0	,.-_!?〈スペース〉0	0
＊	● 大文字／小文字の変換、濁点あり／半濁点あり／濁点なしの変換（文字の決定前で、変換可能な場合のみ） ● 改行の入力		● 大文字／小文字の変換（文字の決定前で、変換可能な場合のみ） ● 改行の入力	改行の入力
＃	● 1つ前の割り当て文字の表示（文字の決定前のみ） ● 全角記号／半角記号／絵文字／顔文字入力モードへの切り替え			全角記号／半角記号／絵文字／顔文字入力モードへの切り替え

※　半角の「ヮ」は入力できません。

着信やアラーム通知による文字入力／編集の中断について

文字の入力中や編集中に音声電話やTVコールがかかってきたときは、そのまま応答してください。通話が終了すると、もとの文字入力画面に戻ります。アラーム通知が起動した場合も、アラーム通知を終了させるともとの画面に戻ります。

文字の入力方法

漢字／ひらがなを入力する

候補表示エリアに表示される予測候補を使って簡単に入力できます。予測候補を使わずに、入力したひらがなを目的の文字に変換することもできます。候補表示エリアにカタカナや絵文字などが表示されたときは、これらの文字も入力できます。

1 漢字／かな入力モードで、文字が割り当てられているボタンを押す

「゛」や「゜」を付ける場合は

濁点や半濁点を付けるひらがなを入力したあと、[＊]を押す

ボタンを押し間違えた場合は

[Clear]を押して文字を消し、もう一度ボタンを押す

ボタンを押し過ぎた場合は

[＃]を押して、同じボタンの1つ前の割り当て文字に戻る

続けて同じボタンの文字を入力する場合は

[右]を押してカーソルを右に移動する

ひらがなで決定する場合は

[●]（決定）を押す

2 目的の文字に変換する

目的の文字を予測候補から選ぶ場合は

①[下]を押してカーソルを候補表示エリアに移動する
②目的の予測候補を反転表示し、[●]（決定）を押す

目的の予測候補が表示されていない場合は

①[✉]（変換）を押す
②必要に応じて[左右]で変換する範囲を変更する
③[下]を押してカーソルを候補表示エリアに移動する
④目的の変換候補を反転表示し、[●]（決定）を押す
⑤②〜④を繰り返してすべての文字を決定する

補足

- **目的の漢字に変換されないときは**
  漢字の読みかたを変えて入力してください。一度に変換できない2文字以上の漢字は、変換する範囲を1文字に変更して変換してください。
- **候補表示エリアの内容を予測候補／変換候補に切り替えるには**
  予測候補が表示されているときに［✉］（変換）を押すと変換候補が、変換候補が表示されているときに［✉］（予測）を押すと予測候補が表示されます。
- **予測入力機能を設定／解除するには（➲P.4-11）**
- **ユーザ辞書を利用して簡単に変換するには（➲P.4-11）**
- **日付や時刻を入力するには**
  ①数字が割り当てられているボタンを押す
  ②［Y!］（英数カナ）を押す
  ③日付や時刻の変換候補を反転表示し、［●］（決定）を押す

文字入力履歴のリセットについて

予測候補や変換候補には、過去に変換した文字列や漢字が優先して表示されます。表示される内容を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。

①［●］を押し、「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「学習履歴リセット」の順に選択する
②暗証番号を入力し、［●］（確認）を押して「はい」を選択する

カタカナを入力する

1 全角カタカナまたは半角カタカナ入力モードで、文字が割り当てられているボタンを押す

「゛」や「゜」を付ける場合は
濁点や半濁点を付けるカタカナを入力したあと、［＊］を押す

ボタンを押し間違えた場合は
［Clear］を押して文字を消し、もう一度ボタンを押す

ボタンを押し過ぎた場合は
［#］を押して、同じボタンの1つ前の割り当て文字に戻る

続けて同じボタンの文字を入力する場合は
［○］を押してカーソルを右に移動する

補足

- **漢字／かな入力モードでカタカナを入力するには**
たとえば、「くも」を「クモ」や「ｸﾓ」に変換できます。

①漢字／かな入力モードで、文字が割り当てられているボタンを押す
②［Y!］（英数カナ）を押す
③カタカナの変換候補を反転表示し、［●］（決定）を押す

英字を入力する

1 全角英字または半角英字入力モードで、文字が割り当てられているボタンを押す

大文字／小文字を切り替える場合は
英字を入力したあと、［＊］を押す

ボタンを押し間違えた場合は
［Clear］を押して文字を消し、もう一度ボタンを押す

ボタンを押し過ぎた場合は
［#］を押して、同じボタンの1つ前の割り当て文字に戻る

続けて同じボタンの文字を入力する場合は
［○］を押してカーソルを右に移動する

補足

- **漢字／かな入力モードで英字を入力するには**
文字が割り当てられているボタンを押すときは、英字入力モードのときと同じ回数を押す必要があります。たとえば、「cd」と入力するときは［2］を3回、［3］を1回押します。
①漢字／かな入力モードで、英字が割り当てられているボタンを押す
②［Y!］（英数カナ）を押す
③英字の変換候補を反転表示し、［●］（決定）を押す

数字を入力する

1 全角数字または半角数字入力モードで、文字が割り当てられているボタンを押す

ボタンを押し間違えた場合は

Clearを押して文字を消し、もう一度ボタンを押す

補足

- **漢字／かな入力モードで数字を入力するには**
  ①漢字／かな入力モードで、数字が割り当てられているボタンを押す
  ②Y!（英数カナ）を押す
  ③数字の変換候補を反転表示し、●（決定）を押す

記号／絵文字／顔文字を入力する

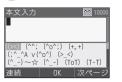
1 文字入力画面で#を数回押し、全角記号、半角記号、絵文字または顔文字入力モードに切り替える

全角の記号と半角の記号を切り替える場合は

全角または半角記号の候補表示エリアが表示されているときに*を押す

2 候補表示エリアで目的の文字を反転表示し、●（OK）を押す

記号／絵文字／顔文字を続けて入力する場合は

●（OK）の代わりに✉（連続）を押す

補足

- **漢字／かな入力モードで記号／絵文字／顔文字を入力するには**
「てん」と入力して[✉]（変換）を押すと、記号の「・」や「…」が変換候補として表示されます。同様に、「はーと」や「でんわ」などを絵文字に変換したり、「わーい」や「えーん」などを顔文字に変換することもできます。

改行する

改行の操作は、どの入力モードでも同じです。

1 文字入力画面で[*]を押す

登録内容や文を引用して入力する

電話帳の登録内容を引用する

「電話帳引用」はメール本文の入力画面のメニューです。電話帳を呼び出し、登録されている電話番号やE-mailアドレスなどを文中に挿入できます。

1 文字入力画面で、メニューから「電話帳引用」を選択する

2 電話帳を選択する

3 項目を反転表示し、[●]（選択）を押す

SMS定型文を引用する

「SMS定型文」はメール本文の入力画面のメニューです。あらかじめ、よく使う文をSMS定型文として登録してください（➔P.4-13）。

1 文字入力画面で、メニューから「SMS定型文」を選択する

2 SMS定型文を選択する

定型文を引用する

「定型文」は、電話帳にE-mailアドレスやURLを登録するときのメニューです。「.ne.jp」や「http://www」などを一括入力できます。

1 文字入力画面で、メニューから「定型文」を選択する

2 項目を選択する

ハングル入力する

入力モードをハングルに切り替えて、ハングル文字を入力します。

1 **文字入力画面で［文字］を押し、「ハングル」を選択する**

2 **画面に表示された文字に対応する数字を押して、子音と母音を組み合わせて文字を入力する**

子音の入力例					
ㄱ	［4］1回押す	ㅋ	［4］2回押す	ㄲ	［4］3回押す
母音の入力例					
아	［0］［1］（ㅣ）、［2］（・）	야	［0］［1］［2］［2］		
어	［0］［2］（・）、［1］（ㅣ）	여	［0］［2］［2］［1］		
오	［0］［2］（・）、［3］（ー）	요	［0］［2］［2］［3］		
왜	［0］［2］（・）、［3］（ー）、［1］（ㅣ）、［2］（・）、［1］（ㅣ）				

文字の編集

文字を消去／修正する

1 **消去する文字に［十字キー］でカーソルを合わせ、［Clear］を押す**

カーソル上に文字がない場合は

カーソルの左側の1文字が消去される

［Clear］を1秒以上押すと

カーソル以降の文字がすべて消去される

カーソル以降に文字がない場合に［Clear］を1秒以上押すと

すべての文字が消去される

コピー／切り取り／貼り付けをする

文字をコピー／切り取りする

範囲を指定して、文字のコピーまたは切り取りをします。この文字は、文字入力画面の別の位置やほかの入力画面に繰り返し貼り付けることができます。

1 **文字入力画面で、メニューから「コピー」または「切り取り」を選択する**

2 コピーまたは切り取りをする最初の文字にでカーソルを合わせ、（始点）を押す

文字入力画面上のすべての文字をコピー／切り取りする場合は

（全て）を押すと、コピー／切り取り操作が終了する

3 で範囲を指定し、（終点）を押す

補足

- **電話帳やオーナー情報の登録内容をコピーするには**
  メニューの「項目コピー」を使います（➔P.5-11、5-14）。
- **コピー／切り取りを行うと**
  コピーまたは切り取りをした内容は10件まで保存され、電源を切っても保持されます。すでに10件の内容が保存されている場合は、古い内容が自動的に消去されます。

文字を貼り付ける

1 文字を貼り付ける位置に でカーソルを移動する

2 メニューから「貼り付け」を選択する

3 貼り付ける内容を選択し、（選択）を押す

補足

- **コピー／切り取りした内容を削除するには**
  操作3で削除する内容を反転表示し、（削除）を押して「はい」を選択します。

文字を戻す

直前に行った文字の入力や切り取り、貼り付け、削除などの操作を元に戻すことができます。変換した文字を元に戻すこともできます。本操作は漢字／かな入力モードでのみ有効です。

1 文字入力画面で、メニューから「元に戻す」を選択する

カーソルを先頭／最後に移動する

1 文字入力画面で、メニューから「ジャンプ」→「先頭」または「末尾」の順に選択する

予測入力機能の設定／解除

お買い上げ時 ■ON

候補表示エリアに予測候補を表示させるかどうかを設定できます。

1 **文字入力画面で、メニューから「予測入力ON」または「予測入力OFF」を選択する**

学習機能の設定／解除

お買い上げ時 ■ON

候補表示エリアから選択して入力した文字列の履歴を記録するかどうかを設定できます。

1 **文字入力画面で、メニューから「学習ON」または「学習OFF」を選択する**

文字サイズの変更

お買い上げ時 ■大

メールやS!メール定型文などの本文入力画面の文字サイズを切り替えられます。選択できる文字サイズは、文字入力画面によって異なります。

1 **文字入力画面で、メニューから「文字サイズ」を選択し、サイズを選択する**

ユーザ辞書の利用

よく使う単語や文（最大20文字）をユーザ辞書に登録しておくと、「読み」を入力しただけで目的の単語や文が候補表示エリアに表示されるので、入力が簡単になります。

1 **[●]を押し、「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「新規登録」の順に選択する**

2 **語句欄を選択し、単語や文を入力する**

3 **読み欄を選択し、文字を入力する**

4 **[✉]（保存）を押す**

補足

- **登録内容を編集するには**
  ①[●]を押し、「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「辞書編集」の順に選択する
  ②編集する内容を選択する
  ③語句や読みを編集し、[✉]（保存）を押す
- **登録内容を1件削除するには**
  ①[●]を押し、「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「辞書編集」の順に選択する
  ②削除する内容を反転表示し、メニューから「削除」を選択する
- **登録内容をすべて削除するには**
  ①[●]を押し、「設定」→「一般設定」→「ユーザ辞書」→「全削除」の順に選択する
  ②暗証番号を入力し、[●]（確認）を押して「はい」を選択する

入力した文字をユーザ辞書に登録する

1 文字入力画面で、メニューから「単語登録」を選択する

2 登録する最初の文字に[✣]でカーソルを合わせ、[●]（始点）を押す

ユーザ辞書画面を表示して登録済みの内容を確認するなどの操作をする場合は
[Y!]（ユーザ辞書）を押す

3 [✣]で範囲を指定し、[●]（終点）を押す

4 読み欄を選択し、文字を入力する

5 [✉]（保存）を押す

補足

- **改行を含む範囲を指定すると**
  改行前までの文字列が語句に登録されます。
- **ユーザ辞書を編集するには**
  単語登録する文字の始点を決めるときに[Y!]（ユーザ辞書）を押すと、「ユーザ辞書の利用」（➲P.4-11）と同様の操作ができます。「辞書編集」を選択すると、現在登録されている単語の一覧が表示されます。

SMS定型文の利用

よく使う文（最大70文字）を登録しておくと、入力画面に簡単に挿入できます。

1 **[✉]を押し、「定型文」→「SMS定型文」の順に選択する**

2 **メニューから「新規追加」を選択する**

SMS定型文が1件も登録されていない場合は
[✉]（新規追加）を押す

3 **[●]（選択）を押し、文を入力する**

4 **[✉]（保存）を押す**

補足

- **SMS定型文を引用するには**（➲P.4-8）
- **SMS定型文を編集するには**
  ①[✉]を押し、「定型文」→「SMS定型文」の順に選択する
  ②編集する内容を反転表示し、[●]（編集）を押す
  ③[●]（選択）を押し、文を編集する
  ④[✉]（保存）を押す
- **SMS定型文を1件削除するには**
  ①[✉]を押し、「定型文」→「SMS定型文」の順に選択する
  ②削除する内容を反転表示し、メニューから「削除」→「1件」→「はい」の順に選択する
  すべて削除する場合は、操作②で「削除」→「全件」の順に選択し、暗証番号を入力して[●]（確認）を押し、「はい」を選択します。複数の内容を削除する場合は、操作②で「削除」→「複数」の順に選択し、削除する内容をチェックありにして[✉]（削除）を押し、「はい」を選択します。

電話帳

電話帳の登録

電話帳に登録できる項目

708SC本体には最大1,000件の電話帳を登録できます。USIMカードに登録できる件数は、カードの種類によって異なります。USIMカードの電話帳は、カードを差し替えることにより、ほかのソフトバンク携帯電話でも利用できます。

1件の電話帳に登録できる内容は次のとおりです。

項　目	内　容	登録の可／不可	
		708SC本体	USIMカード
メモリ番号	半角数字で3桁	○ 「000」～「999」[1]	○ 「000」～「0XX」[2]
名前	全角／半角文字	○ (50文字まで)	○[3]
ヨミガナ	半角文字	○	○[3]
電話番号アイコン	6種類から選択	○	× (1種類のみ)
電話番号	市外局番も含めて登録	○（40桁までで5件）	○[2 3]
E-mailアドレス	半角英数字	○（256文字までで4件）	○ （1件）[3]
E-mailアドレスのアイコン	3種類から選択	○	× (1種類のみ)
グループ	20個の中から選択	○	○[2]
着信画像	音声電話、TVコールの着信時に表示させる静止画。データフォルダからの選択が可能	○	×
電話着信音	音声電話、TVコールの着信音。データフォルダからの選択が可能	○	×
メール着信音	S!メールやSMSの着信音。データフォルダからの選択が可能	○	×
血液型	4種類から選択	○	×
誕生日	生年月日	○	×
住所	郵便番号は半角数字20桁まで、住所は全角／半角50文字まで	○	×
趣味	全角／半角100文字まで	○	×
URL	半角英数字で100文字まで	○ (2件)	×
URLのアイコン	3種類から選択	○	×
メモ	全角／半角100文字まで	○	×
シークレットモード	ON／OFF	○	×

1　708SC本体のメモリ番号「000」～「099」の電話帳には、スピードダイヤル（➔P.5-10）で音声電話がかけられます。

2　登録できる件数は、USIMカードの種類によって異なります。
3　登録できる文字数は、USIMカードの種類によって異なります。

注意

- **大切なデータを失わないために**
  電話帳に登録した電話番号や名前などは、電池パックを長い間外していたり電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは、控えをとっておかれることをおすすめします。電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電話帳に登録する

メモリ番号欄には、空いている最も小さい番号が自動的に表示されます。必要に応じて変更してください。

電話帳登録
000
名前
ヨミガナ
個人携帯
会社携帯
自宅
保存

電話帳の登録画面

1　を押し、メニューから「電話帳登録」→「本体」または「USIM」の順に選択する

2　各項目を登録する

表示されたメモリ番号を変更する場合は
メモリ番号欄を反転表示し、番号を入力する

名前を登録する場合は
①名前欄を選択する
②名前を入力する

表示されている読みガナを修正する場合は
①ヨミガナ欄を選択する
②読みガナ（最初の何文字かでよい）を入力する

電話番号を登録する場合は
電話番号欄を反転表示し、番号を入力する

電話番号アイコンを設定する場合は
①電話番号欄を選択する
②アイコンを選択する

E-mailアドレスを登録する場合は
①アドレス欄を選択する
②E-mailアドレスを入力する
③アイコンを選択する

グループを設定する場合は
①グループ欄を選択する
②グループを選択する

音声電話やTVコールの着信画像を設定する場合は
①着信画像欄を選択する
②「ON」を選択する
③ファイルの保存場所を選択してファイルを選択する

音声電話やTVコールの着信音を設定する場合は
①電話着信音欄を選択する
②「ON」を選択する
③ファイルの保存場所を選択してファイルを選択する

S!メールやSMSの着信音を設定する場合は
①メール着信音欄を選択する
②「ON」を選択する
③音を選択する

血液型を登録する場合は
①血液型欄を選択する
②血液型を選択する

誕生日を登録する場合は
誕生日欄を反転表示し、生年月日を入力する

住所を登録する場合は
①住所欄を選択する
②郵便番号を入力する
③住所欄を選択し、住所を入力する
④[✉]（OK）を押す

趣味を登録する場合は
①趣味欄を選択する
②内容を入力する

URLを登録する場合は
①URL欄を選択する
②内容を入力する
③アイコンを選択する

メモを登録する場合は
①メモ欄を選択する
②内容を入力する

シークレット設定をする場合は
①シークレットモード欄を選択する
②「ON」を選択する

3 [✉]（保存）を押す

補足

- **電話番号欄に入力できる内容は**
電話番号には、0～9の数字のほか、#、*、P（ポーズ）、+（国際コード）を登録できます。「P」を入力するには、[*]を1秒以上押します。「+」を入力するには、[0]を1秒以上押します。

- **電話番号を先に入力してから登録するには**
  通話中のメニュー「電話帳登録」からも、同様に登録できます。
  ①待受画面で電話番号を入力する
  ②メニューから「電話帳登録」→「本体」または「USIM」の順に選択する
  ③「新規」を選択するか、「更新」を選択して追加登録先を選択する
  ④電話番号アイコンを選択する
  ⑤操作2〜3を行う
- **メモリカードに保存されているファイルを着信画像や着信音などに設定すると**
  ファイルを708SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認画面が表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- **Samsung PC Studioで電話帳を同期すると**
  シークレットモードが「ON」に設定されている電話帳は、シークレットモード設定に関わらず同期されません（パソコン側にバックアップされません）。
  シークレットモードを「OFF」から「ON」に変更した電話帳は、「ON」に設定して同期した時点から同期されなくなります。パソコン側でも削除されます。
  Samsung PC Studioについては、付属のCD-ROMのユーザーズガイドを参照してください。

通話履歴から登録する

通話履歴に記録されている電話番号を新規登録したり、既存の電話帳へ追加登録したりできます。

1 を押す

2 で履歴一覧を切り替え、履歴を反転表示してメニューから「電話帳登録」→「本体」または「USIM」の順に選択する

3 登録方法を選択する

新しい電話帳に登録する場合は
「新規」を選択する

既存の電話帳に追加登録する場合は
①「更新」を選択する
②電話番号を登録する電話帳を検索し、選択する（➔P.5-8）

4 電話番号アイコンを選択する

5 各項目を登録する

6 （保存）を押す

5
電話帳

グループの設定

708SC本体には、あらかじめ20個のグループが用意されています。

USIMカードのグループを作成する

1 ●を押し、「電話帳」を選択する
2 メニューから「USIM電話帳表示」を選択する
3 ✉（検索）を押し、「グループ検索」を選択する
4 メニューから「新規グループ」を選択する
5 グループ名を入力し、✉（保存）を押す

グループの設定を変更する

グループ名を変更できます。708SC本体のグループには、グループごとの着信画像や着信音などを設定できます。

1 ●を押し、「電話帳」を選択する

USIMカードのグループを呼び出す場合は

操作1のあと、メニューから「USIM電話帳表示」を選択する

2 ✉（検索）を押し、「グループ検索」を選択する
3 設定するグループを反転表示し、メニューから「グループ設定」を選択する
4 設定操作をする

グループ名を変更する場合は

グループ名欄を選択し、グループ名を入力する

音声電話やTVコールの着信画像を設定する場合は

着信画像欄を選択し、ファイルの保存場所を選択してファイルを選択する

音声電話やTVコールの着信音を設定する場合は

電話着信音欄を選択し、ファイルの保存場所を選択してファイルを選択する

S!メールやSMSの着信音を設定する場合は
メール着信音欄を選択し、音を選択する

着信画像や着信音などをもとの設定に戻す場合は
元に戻す項目を反転表示し、[Y!]（リセット）を押す

5 [✉]（保存）を押す

補足

- **着信画像や着信音の設定の優先順位は**
着信画像や着信音などを電話帳ごとに個別に設定している場合は、グループごとの設定よりも優先されます。
- **メモリカードに保存されているファイルを着信画像や着信音などに設定すると**
ファイルを708SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認画面が表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

グループにメンバーを追加する

1 [●]を押し、「電話帳」を選択する

USIMカードのグループを呼び出す場合は
操作1のあと、メニューから「USIM電話帳表示」を選択する

2 [✉]（検索）を押し、「グループ検索」を選択する

3 メンバーを追加するグループを選択する

4 メニューから「メンバー追加」を選択する

5 追加するメンバーをチェックありにし、[✉]（追加）を押す

補足

- **グループからメンバーを削除するには**
グループから削除しても、電話帳からは削除されません。
①操作1～2を行う
②メンバーを削除するグループを選択する
③メニューから「メンバー削除」を選択する
④削除するメンバーをチェックありにし、[✉]（削除）を押す

電話帳の利用

電話帳から電話をかける

電話帳を検索する

1 [キー]を押す

使用したい検索画面が表示され、検索方法を切り替える必要がない場合は

操作2の②に進む

下中央に「OK」が表示されているときに検索方法を切り替える場合は

[●]（OK）を押し、操作2に進む

2 [✉]（検索）を押し、検索操作をする

行で検索する場合は

①「あかさたな検索」を選択する

②[キー]で目的の行に切り替える

グループで検索する場合は

①「グループ検索」を選択する

②目的のグループを選択する

名前で検索する場合は

①「名前検索」を選択する

②名前（先頭の一部でもよい）を入力する

読みガナで検索する場合は

①「ヨミガナ検索」を選択する

②読みガナ（先頭の一部でよい）を入力する

メモリ番号で検索する場合は

①「メモリ番号検索」を選択する

②メモリ番号を入力する

電話番号で検索する場合は

①「電話番号検索」を選択する

②電話番号の一部を入力する

E-mailアドレスで検索する場合は

①「メールアドレス検索」を選択する

②E-mailアドレスの一部を入力する

3 一覧画面で目的の電話帳を反転表示する

詳細画面を呼び出す場合は

[●]（詳細／選択）を押す

補足

- **優先的に表示される電話帳（本体／ USIM カード）を変更するには**

  ①[●]を押し、「設定」→「電話帳設定」→「通常表示」の順に選択する

  ②設定を選択し、[●]（保存）を押す

- **シークレットモード設定が「非表示」のとき**
  シークレットモードが「ON」に設定されている電話帳は表示されません。検索する場合は、あらかじめシークレットモード設定を「表示」にしてください。

電話をかける

1 一覧画面で目的の電話帳を反転表示して ● (詳細)を押し、詳細画面を呼び出す

電話帳の詳細画面

2 目的の電話番号を反転表示し、発信操作をする

音声電話をかける場合は

●(発信)を押すか、メニューから「音声電話発信」を選択する

TVコールをかける場合は

メニューから「TVコール発信」を選択する

補足

- **一覧画面からかけるには**
  詳細画面を呼び出さなくても、一覧画面で目的の電話帳を反転表示し、メニューから「音声通話発信」または「TVコール発信」を選択してかけることができます。1つの電話帳に複数の電話番号が登録されている場合は、通常使用設定で設定されている電話番号(未設定の場合は1件目の電話番号)に発信します。電話番号の選択画面が表示されたとき(通常使用設定が「設定なし」の場合)は、電話番号を選択してください。

スピード検索と検索結果からの発信について

「スピード検索設定」を「ON」に設定しているとき(➔P.15-6)は、数字を入力すると、その数字に対応する「ヨミガナ」を先頭にもつ電話帳を検索し、名前と電話番号を表示します。
電話番号を反転表示し、[発信キー]または●(選択)→●(発信)の順に押すと音声電話、メニューから「TVコール発信」を選択するとTVコールをかけられます。

電話番号検索と検索結果からの発信について

4桁の数字を入力すると、その番号を先頭または末尾にもつ電話帳を検索し、名前と電話番号を表示します。「スピード検索設定」を「ON」に設定していて該当する電話帳が検索されたときは、[キー]を押すと、電話番号検索とスピード検索の検索結果を切り替えることができます。
電話番号を反転表示し、[発信キー]または●(選択)→●(発信)の順に押すと音声電話、メニューから「TVコール」を選択するとTVコールをかけられます。

USIMカードの電話帳に電話をかける

USIMカードの電話帳の1件目に登録されている電話番号へは、簡単な操作で音声電話またはTVコールをかけられます。

1 先頭の「0」を除いたメモリ番号（2桁）を入力する

2 [#記号]を押す

目的の電話帳が反転表示されていない場合は
[◎]で反転表示する

3 [✉]（通話）を押す

TVコールをかける場合は
[Y!]（TVコール）を押す

電話帳の検索方法を切り替える

お買い上げ時 ■あかさたな検索

待受画面で[◎]を押したとき、指定した検索画面を表示するように設定できます。

1 [●]を押し、「設定」→「電話帳設定」→「検索設定」の順に選択する

2 設定を選択し、[●]（保存）を押す

補足

- **設定内容は**
  「電話帳検索」に設定した場合は、待受画面で[◎]を押すと一覧画面が表示されます。それ以外の項目に設定した場合は、設定した検索画面が表示されます。

スピードダイヤルで電話をかける

708SC本体のメモリ番号「000」～「099」の電話帳へは、簡単な操作で音声電話をかけられます。

1 先頭の「0」を除いたメモリ番号(2桁)を入力する

2 [●]（[アイコン]）を押す

補足

- **「スピード検索設定」を「ON」に設定しているときは**
  数字を入力すると、スピード検索で該当した電話帳の名前と電話番号が表示されます。約5秒経過するとスピード検索の結果の表示が消えます。「[アイコン]」が表示されたら、スピードダイヤルで電話をかけることができます。

注意

- **通常使用設定（➲P.5-12）で音声通話が「設定なし」に設定されていると、スピードダイヤルはできません。**
- **シークレットモード設定が「非表示」の場合、電話帳のシークレットモードが「ON」に設定されているメモリ番号を入力してもスピードダイヤルはできません。**

電話帳のメニュー操作

電話帳の一覧画面や詳細画面のメニューから、次の操作ができます。

メニュー	内　容
電話帳登録[1]	新規の電話帳登録操作を開始します。
音声電話発信	反転表示中または通常使用設定されている電話番号に音声電話をかけます（➲P.5-9）。
TVコール発信	反転表示中または通常使用設定されている電話番号にTVコールをかけます（➲P.5-9）。
メール作成	電話帳の相手を宛先としたメールを作成します（➲P.17-5）。
送信	vファイルに変換した電話帳を送信します。「メール」を選択すると、vファイルを添付したメールを作成できます（➲P.17-5）。「Bluetooth」を選択すると、Bluetooth® 通信の相手を選択して送信できます（➲P.12-5）。
削除	電話帳を削除します（➲P.5-13）。
データフォルダに保存	vファイルを作成して保存します。「本体」を選択すると、「その他ファイル」フォルダに保存します。「メモリカード」を選択すると、メモリカードに保存します。
USIM電話帳にコピー／本体にコピー	USIMカードまたは708SC本体の電話帳にコピーします（➲P.5-13）。
USIM電話帳表示／本体電話帳表示[1]	表示をUSIMカードまたは708SC本体の一覧画面に切り替えます。
国際発信	電話帳の電話番号に国際コードと国番号を付加して国際電話をかけます（➲P.2-2）。
発信者番号通知／非通知	お客様の電話番号を通知／非通知にして電話をかけます。「ネットワーク設定に従う」を選択すると、発信者番号通知サービスの設定に従います。「番号通知」を選択すると、電話番号を通知します。「番号非通知」を選択すると、電話番号を非通知にします。
Bluetooth経由で印刷	反転表示した電話帳の詳細（名前、電話番号などの情報）をBluetooth® 対応のプリンタで印刷します。
メモリ容量確認[1]	メモリ使用状況を確認できます。
項目コピー[2]	詳細画面で反転表示中の登録内容をコピーします。コピーした内容は、文字入力画面に貼り付けることができます。
通常使用設定[2]	使用する電話番号やE-mailアドレスを、用途ごとに設定します（➲P.5-12）。

1　詳細画面では表示されないメニューです。
2　一覧画面では表示されないメニューです。

電話帳の編集

電話帳を検索し、一覧画面や詳細画面を呼び出す操作については、「電話帳を検索する」(➔P.5-8) を参照してください。

シークレットモードを「ON」に設定している電話帳を編集するときは、あらかじめシークレットモード設定を「表示」にしてください。

電話帳を編集する

1 **編集する電話帳の詳細画面を呼び出す**

2 **[✉] (編集) を押す**

3 **登録時 (➔P.5-3) と同様の操作で各項目を登録し、[✉] (保存) を押す**

使用する電話番号やE-mailアドレスを発信/送信種別ごとに設定する

お買い上げ時
- 音声通話：1件目の電話番号
- TVコール：1件目の電話番号
- メール作成：設定なし

708SC本体の電話帳に電話番号やE-mailアドレスが複数登録されている場合、使用する電話番号またはE-mailアドレスを用途ごとに設定しておくことができます。

リセットして「設定なし」にすると、発信または送信のたびに電話番号やE-mailアドレスを選択できます。

1 **設定する電話帳の詳細画面を呼び出す**

2 **メニューから「通常使用設定」を選択する**

3 **設定/リセット操作をする**

設定する場合は

①設定する項目を選択する

②電話番号/E-mailアドレスを選択する

「設定なし」にする場合は

項目を反転表示し、[Y!] (リセット) を押す

4 **[✉] (保存) を押す**

5
電話帳

USIMカードとの間で電話帳をコピーする

1 コピーする電話帳の一覧画面または詳細画面を呼び出す

2 コピー操作をする

708SCからUSIMカードにコピーする場合は

①メニューから「USIM電話帳にコピー」→「1件」または「全件」の順に選択する

②「はい」を選択する

USIMカードから708SCにコピーする場合は

メニューから「本体にコピー」→「1件」または「全件」の順に選択する

電話帳を削除する

電話帳を1件削除する

1 削除する電話帳を一覧画面で反転表示するか、詳細画面に切り替える

2 メニューから「削除」→「1 件」の順に選択し、「はい」を選択する

電話帳を複数件まとめて削除する

1 電話帳を一覧画面で反転表示する

本体／USIMカードを切り替える場合は

メニューから「USIM電話帳表示」または「本体電話帳表示」を選択する

2 メニューから「削除」→「複数」の順に選択する

3 削除する電話帳をチェックありにする

4 操作3を繰り返して対象の電話帳をすべてチェックありにする

5 ✉（削除）を押し、すべてをチェックありにしていない場合は操作7に進む

6 暗証番号を入力し、●（確認）を押す

7 「はい」を選択する

5

電話帳

電話帳をまとめて削除する

708SC本体またはUSIMカードに保存されている電話帳をまとめて削除できます。

1 **電話帳を一覧画面で反転表示する**

本体／USIMカードを切り替える場合は

メニューから「USIM電話帳表示」または「本体電話帳表示」を選択する

2 **メニューから「削除」→「全件」の順に選択する**

3 **暗証番号を入力し、[●]（確認）を押して「はい」を選択する**

オーナー情報

ご使用のUSIMカードに登録されている電話番号を確認できます。ご自分の名前やE-mailアドレス、住所なども登録できます。

1 **[●]を押し、[0]を押す**

内容を登録／編集する場合は

①[✉]（編集）を押す

②電話帳の登録と同様の操作で各項目を登録／編集し、[✉]（保存）を押す

オーナー情報のメニュー操作

メニュー	内　容
送信	vファイルに変換したオーナー情報を送信します。「メール」を選択すると、vファイルを添付したメールを作成できます（➲P.17-5）。「Bluetooth」を選択すると、Bluetooth® 通信の相手を選択して送信できます（➲P.12-5）。
削除	USIMカードに登録されている電話番号を除くすべてのオーナー情報を消去します。
データフォルダに保存	vファイルを作成して保存します。「本体」を選択すると、「その他ファイル」フォルダに保存します。「メモリカード」を選択すると、メモリカードに保存します。
項目コピー	反転表示中の登録内容をコピーします。コピーした内容は、文字入力画面に貼り付けることができます。
Bluetooth経由で印刷	オーナー情報の詳細（名前、電話番号などの情報）をBluetooth® 対応のプリンタで印刷します。

5
電話帳

TVコール

TVコールをご利用になる前に

TVコールに対応している携帯電話との間で、お互いの映像を見ながら通話できます。

自分の映像を送信しないように設定することもできます(➲P.6-5)。

TVコール利用時のご注意

- ソフトバンクのTVコールと異なる方式の携帯電話と接続したときに、通話が切れる場合があります。このときも、切れるまでの通話料金が課金されます。
- スピーカーホン通話(➲P.6-5)中は、受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。この場合は音量を下げるか、ステレオイヤホンマイクをお使いになることをおすすめします。
- 周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れるなど良好な通話ができないことがあります。この場合はステレオイヤホンマイクをお使いになることをおすすめします。
- スピーカーホン通話のときは、相手の音声がスピーカーから流れます。ほかの人の迷惑にならないようにご注意ください。

TVコールをかける

音声電話をかけるときと同様に、電話帳や通話履歴なども利用できます。

1. **電話番号を全桁(市外局番を含む)入力する**
2. **電話番号を確認し、メニューから「TVコール」を選択する**
3. **通話が終わったら[終話]を押す**

補足

- **通話中にできる操作は(➲P.6-3)**

TVコールがつながらなかったときの操作について

メニュー操作をうながすメッセージが表示されたときは、メニューから「音声電話」を選択して音声電話でかけ直したり、「メール作成」を選択して相手にメールを送信したりできます。「電話帳表示」を選択すると、相手が登録されている電話帳の詳細画面を確認できます。「電話帳登録」を選択すると、相手の電話番号を本体またはUSIMカードの電話帳に登録できます。

TVコールを受ける

1 TVコール着信中に[●]（通話）を押す

スピーカーホン通話にするかどうかの確認メッセージが表示された場合は

「はい」または「いいえ」を選択する

自画像を送信するかどうかの確認メッセージが表示された場合は

「はい」または「いいえ」を選択する

2 通話が終わったら[終話]を押す

補足

- **着信音量を調節するには**
  TVコール着信中にサイドキー[▲]または[▼]を押します。
- **ステレオイヤホンマイクを接続しているときは**
  TVコール着信中にステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押しても受けられます。TVコールを切るときもスイッチを1秒以上押します。
- **TVコールに応答せずに切るには**
  [Y!]（転送）を押します。
- **自分の映像を相手に送信したくない場合は**
  代替画像を送信するようにあらかじめ設定できます（➲P.6-5）。通話中の操作で代替画像の送信に切り替えることもできます（➲P.6-5）。
- **[●]（通話）を押した直後に表示される自分の映像について**
  操作1で[●]（通話）を押した直後には自分の映像が大画面に表示されますが、この映像は相手に送信されていません。確認メッセージが表示されたら、「はい」（自画像を送信）または「いいえ」（代替画像を送信）を選択してください。選択操作後、TVコール通話が開始されると、小画面に自画像または代替画像が表示されます。
- **TVコール中にできる操作は（➲P.6-5）**

TVコール中の操作

ディスプレイに表示されているアイコンやメニューを使って操作します。

❶相手の名前／電話番号
❷小画面（通常は自分の映像）
❸大画面（通常は相手の映像）
❹カーソル位置のアイコンの意味
❺通話時間

❻操作用アイコン

／：スピーカーOFFに切替／スピーカーONに切替

：表示モード（相手画像大／小の切替）

／：自画像静止／静止解除

（青）／（グレー）：カメラ画像に切替／代替画像に切替

／：相手画像静止／静止解除

：外側カメラに切替／内側カメラに切替

1 TVコール中にアイコンまたはメニューを使って操作する

スピーカーホン通話／通常の通話を切り替える場合は

／にカーソルを移動して[●]を押す

相手画像の表示を大画面／小画面に切り替える場合は

にカーソルを移動して[●]を押し、項目を選択する

自画像を静止／静止解除する場合は

／にカーソルを移動して[●]を押す

送信する映像をカメラ画像／代替画像に切り替える場合は

（青／グレー）にカーソルを移動して[●]を押す

相手映像を静止／静止解除をする場合は

／にカーソルを移動して[●]を押す

外側カメラ／内側カメラを切り替える場合は

にカーソルを移動して[●]を押す

カメラ映像／音声／ボタン確認音の送信を停止する場合は

①メニューから「音・カメラON/OFF」を選択する

②送信を停止する項目をチェックありにし、[✉]（保存）を押す

送信する映像の色調／画質を設定する場合は

①メニューから「表示設定」→「エフェクト」または「画質」を選択する

②項目を反転表示し、[●]（OK）を押す

送信する映像の明るさを調整する場合は

①メニューから「表示設定」→「明るさ」の順に選択する

②[◀▶]で明るさを調整する

補足

- **受話音量を調節するには**
  TVコール中に[◎]を押します。
- **送信する画像を拡大／縮小するには**
  TVコール中にサイドキー[▲][▼]を押します。
- **カメラ画像の送信を停止したときは**
  相手には代替画像が送信されます。

TVコール中のメニュー操作

メニュー	内　容
スピーカーOFF／ON	アイコンを使った操作と同じように、スピーカーホン通話と通常の通話を切り替えます（➔P.6-4）。
音・カメラON/OFF	カメラ映像、音声、またはボタン確認音の送信を停止します（➔P.6-4）。
表示設定	送信する映像の色調、画質、または明るさを設定します（➔P.6-4）。
設定	TVコールの設定を変更できます（➔P.6-5）。
電話帳	電話帳の検索画面に切り替えます。
電話帳登録	TVコール中の相手の電話番号を、本体またはUSIMカードの電話帳に登録します（➔P.5-5）。
プッシュトーン送信	ダイヤルボタンを押して[●]（送信）を押すと、プッシュトーンを送信できます。
メモ	メモを作成し、保存します（➔P.14-8）。
通話相手の詳細	相手の電話番号が登録されている電話帳の詳細画面を確認できます。
ヘッドセットに切替／本体に切替	Bluetooth® 対応のヘッドセットをご利用の場合に有効です。ヘッドセットを使った通話または通常の通話に切り替えます。

TVコールの各種設定

自画像の送信について設定する

お買い上げ時　■毎回確認

「毎回確認」に設定すると、TVコールを受けるたびに自画像を送信するかどうかを選択できます。

1 **[●]を押し、「設定」→「通話設定」→「TVコール」→「自画像送信」の順に選択する**

2 **設定を選択し、[●]（保存）を押す**

代替画像を選択する

お買い上げ時 ■内蔵の画像（Camera Off）

自画像の代わりに送信する静止画を、データフォルダ内から選択できます。

1 ●を押し、「設定」→「通話設定」→「TVコール」→「TVコール代替画像」の順に選択する

2 ●（変更）を押す

3 ファイルの保存場所を選択してファイルを選択し、●（保存）を押す

補足

- **代替画像をお買い上げ時の画像に戻すには**
  ①操作1～2を行う
  ②データフォルダ内のいずれかの画像ファイルを選択し、メニューから「リセット」を選択する

TVコールがつながらなかったときの動作を設定する

お買い上げ時 ■毎回確認

1 ●を押し、「設定」→「通話設定」→「TVコール」→「再発信方法」の順に選択する

2 設定を選択し、●（保存）を押す

補足

- **設定による動作の違いは**
  TVコールがつながらなかったときは、次のメッセージが表示されます。
  「毎回確認」：メニューからの操作選択をうながすメッセージ
  「音声通話」：音声電話でかけ直すかどうかの確認メッセージ
  「メール」：相手にメールを送信するかどうかの確認メッセージ
  「なし」に設定した場合は、何も表示せず発信を終了します。

TVコールを受けたときに音声を送信しないように設定する

お買い上げ時 ■OFF

「ON」に設定すると、こちらの音声を送信しないでTVコールを受けます。

1 [●]を押し、「設定」→「通話設定」→「TVコール」→「消音」の順に選択する

2 「ON」を選択し、[●]（保存）を押す

補足

- **音声を送信するには**
  ①TVコール中にメニューから「音・カメラON／OFF」を選択する
  ②「音声」をチェックなしにする
  ③[✉]（保存）を押す

6 TVコール

カメラ

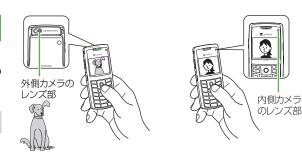
カメラをご利用になる前に

708SCに内蔵されているカメラを使って、写真（静止画）や動画を撮影できます。静止画はJPEG形式で、動画は3GP形式で保存されます。

カメラ利用時のご注意

- カメラのレンズ部に指紋や油脂が付くと、ピントが合わなくなります。柔らかい布でレンズ部をきれいにしてください。
- 手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。708SCが動かないようにしっかり持って撮影するか、安定した場所に置いてセルフタイマーで撮影してください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常に明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。
- 708SC を暖かい場所に長時間置いたあとで撮影したり画像を保存したりした場合は、画質が劣化することがあります。
- カメラ部分に直射日光が長時間当たると、画像が変色することがあります。
- 「パノラマ撮影」で撮影した画像は、他の撮影モードで撮影した画像に比べて画質が低くなる場合があります。

ビューファインダー（撮影画面）

ビデオ　撮影　メニュー

通常／連写／コマ分割撮影のビューファインダー

動画のビューファインダー

❶「撮影サイズ」の設定状況

静止画撮影時：[1600x1200]、[1280x960]、[640x480]、[320x240]、[240x176]

動画撮影時　：[320x240]、[176x144]、[128x96]

7 カメラ

❷「画質」の設定状況

SF：スーパーファイン　F：ファイン　N：ノーマル
L：ロー　E：エコノミー

❸「ホワイトバランス」の設定状況

AW：オート　：晴天　：曇り
：白熱灯　：蛍光灯

❹スポット測光

：OFF　：ON

❺ISO

ISO AUTO：自動　ISO 100：100　ISO 200：200　ISO 400：400

❻モード

表示なし：通常
6：連写（6枚）　9：連写（9枚）　15：連写（15枚）

❼セルフタイマー（設定されているときのみ表示）

：3秒後　：5秒後
：10秒後

❽画像の上下方向の設定

：撮影する画像の上下を正しく表示
：撮影する画像の上下を逆転して表示

❾画像の左右方向の設定

：撮影する画像を正像で表示
：撮影する画像を鏡像で表示

❿音声録音

：音声録音 ON　：音声録音 OFF

⓫「撮影時間」の設定状況

：S!メール添付用　10：10秒　30：30秒
：制限なし

静止画の撮影

静止画撮影モード

1枚ずつ撮影するときは「通常」、連写するときは「連写」または「4コマ・9コマ分割」、パノラマ形式で撮影するときは「パノラマ撮影」で撮影します。撮影した静止画はピクチャーフォルダに保存されます。

モード	特　長	画像サイズ
通常	メールに添付したり待受画面の背景にしたり、携帯電話で利用するのに適したサイズの静止画を撮影できます。	1600×1200 1280×960 640×480 320×240 240×176
連写	6、9、15枚の静止画を自動で連続撮影できます。	320×240
4コマ･9コマ分割	手動で連続撮影できます。フレームを選んで撮影すると、連続撮影したすべての静止画が縮小されて1枚の静止画内に配置されます。	240×176
パノラマ撮影	風景などをパノラマ形式で撮影できます。	320×240※

※ 撮影後の画像サイズは、縦長撮影時は最大320×1824、横長撮影時は最大1824×240になります。

補足

- **通常モードでフレームを付けて撮影すると**
  画像サイズは自動的に240×176になります。

静止画を撮影する

静止画を撮影する

1 [ー]を1秒以上押す

動画撮影モードが起動した場合は
[✉]（カメラ）を押して、撮影モードを切り替える

2 メニューから「撮影モード」→「通常」→「あり」の順に選択する

撮影のあと画像を確認せずに続けて撮影する場合は
「なし」を選択する

3 必要に応じてメニューを使った操作をする（➔P.7-5）

4 撮影したい画像をビューファインダーに表示する

ズームを使って拡大／縮小する場合は（外側カメラ1600×1200および内側カメラ640×480では不可）
[▲]または[▼]を押すごとに拡大、縮小される

明るさを設定する場合は
[◀]または[▶]を押すごとに明るさを変更できる

5 [●]（撮影）を押す

続けて撮影する場合は
[✉]（カメラ）を押す

補足

- **セルフタイマーを使って撮影するには**
  操作5の前に[5]を押します。[5]を押すごとに「3秒」「5秒」「10秒」「OFF」の順に切り替わります。
- **内側カメラ／外側カメラに切り替えて撮影するには**
  撮影前のメニューから「カメラ切替」を選択します。
- **ビューファインダーの表示方法を切り替えるには**
  ビューファインダーにグリッドを表示させたり、プレビュー画面と同じサイズに切り替えたりできます。撮影前に[#]を押すごとに「ノーマル」「フルサイズビュー（アイコン表示なし）」「フルサイズビュー（グリッド線あり）」の順に切り替わります。
- **撮影した静止画をメールやBluetooth® で送信するには**
  操作5のあと、次のように操作します。
  ① [●]（送信）を押し、項目を選択する
  ② 送信操作をする（➔P.12-5、17-5）

7 カメラ

静止画撮影前のメニュー操作

表示されるメニューや選択できる項目は、モードや各種設定の状況によって異なります。

メニュー	内　容
カメラ切替	内側カメラと外側カメラを切り替えます（➔P.7-4）。
撮影モード	撮影後の保存動作や、連続写真またはコマ分割の撮影枚数を設定します（➔P.7-4、7-7）。
エフェクト	色調を選択します。カラーで撮影する場合は「なし」を選択します。
フレーム	フレーム付きの静止画を通常モードで撮影します。
セルフタイマー	セルフタイマーを使って撮影します（➔P.7-4）。
データフォルダ	ピクチャーフォルダを呼び出します。
カメラ設定	撮影に関する設定を変更します（➔P.7-11）。
ボタン操作ガイド	ボタンに割り当てられた機能をディスプレイで確認します（➔P.7-8）。

静止画撮影後のメニュー操作

メニュー	内　容
削除	撮影したばかりの静止画ファイルを削除します。
設定	壁紙や個別着信画像、代替画像に設定できます。
画像編集	データフォルダに保存された静止画を編集します（➔P.7-14）。
ダイナミックエフェクト	静止画を利用してFlash® 画像を作成します（➔P.7-17）。
ファイル名変更	ファイル名を変更できます。
mPostカード	モバイルポストカードを作成します（➔P.7-6）。
データフォルダ	ピクチャーフォルダを呼び出します。
保護／保護解除	保護すると、ファイル名の変更やファイルの移動、削除などが制限されます。
詳細	ファイルサイズやファイル形式などを確認できます。

撮影した静止画でモバイルポストカードを作成する

撮影した静止画を使って、モバイルポストカードを作成します。静止画の上に線画に加工したもう1枚の静止画を重ねることにより、スタンプを押した写真のような画像を作成できます。

1 静止画を撮影する（➔P.7-4、7-7）

2 メニューから「mPostカード」を選択する

3 ●（追加）を押す

4 重ねる静止画を用意する

データフォルダから選択する場合は

①「画像選択」を選択する

②ファイルの保存場所を選択してファイルを選択する

新規に撮影する場合は

①「カメラ起動」を選択する

②●（撮影）を押して撮影する

③●（追加）を押す

5 ●（合成）を押して、合成の結果を確認する

画像を変更する場合は

①Clearを押す

②変更する画像を反転表示し、メニューから「画像変更」を選択する

③操作4〜5を行う

ベースの画像と上に線画にする画像を入れ替える場合は

①Clearを押す

②メニューから「画像交換」を選択する

③操作5を行う

6 必要に応じてY!（編集）を押し、編集操作をする

線画の位置を調整する場合は

①メニューから「移動」を選択する

②で移動し、✉（完了）を押す

線画のサイズを変更する場合は

①メニューから「サイズ」を選択する

②でサイズを調整し、✉（完了）を押す

線画を回転させる場合は

①メニューから「回転」を選択する

②で回転させ、✉（完了）を押す

線画の色を変更する場合は

①メニューから「色変更」を選択する

②で色を選び、✉（完了）を押す

影の有無で線画のタッチを変える場合は

①メニューから「シャドウON」または「シャドウOFF」を選択する

②[✉]（完了）を押す

7 [✉]（保存）を押し、ファイル名を入力する

保存して送信する場合は

①[●]（送信）を押す

②項目を選択し、送信操作をする（➔P.12-5、17-5）

連続写真を撮影する

1 [▬]を1秒以上押す

動画撮影モードが起動した場合は

[✉]（カメラ）を押して撮影モードを切り替える

2 メニューから「撮影モード」→「連写」の順に選択し、撮影枚数を選択する

3 必要に応じてメニューを使った操作をする（➔P.7-5）

4 撮影したい画像をビューファインダーに表示する

ズームを使って拡大／縮小する場合は

[▲]または[▼]を押すごとに1段階ずつ拡大、縮小される

明るさを設定する場合は

[◀]または[▶]を押すごとに明るさを変更できる

5 [●]（撮影）を押す

6 撮影した静止画を確認する

静止画を1枚ずつ確認するには

①画像を反転表示し、[●]（表示）を押す

②[Clear]を押す

続けて撮影する場合は

[✉]（カメラ）を押す

4コマ・9コマ分割撮影をする

1 [▬]を1秒以上押す

動画撮影モードが起動した場合は

[✉]（カメラ）を押して、撮影モードを切り替える

2 メニューから「撮影モード」→「4コマ・9コマ分割」を選択し、フレームを選択する

3 必要に応じてメニューを使った操作をする（➔P.7-5）

4 撮影したい画像をビューファインダーに表示する

ズームを使って拡大／縮小する場合は

[↑]または[↓]を押すごとに1段階ずつ拡大、縮小される

明るさを設定する場合は

[←]または[→]を押すごとに明るさを変更できる

5 選んだフレームに合わせて[●]（撮影）を押す

6 撮影した静止画を確認する

続けて撮影する場合は

[✉]（カメラ）を押す

パノラマ撮影をする

1 [▬]を1秒以上押す

動画撮影モードが起動した場合は

[✉]（カメラ）を押して、撮影モードを切り替える

2 メニューから「撮影モード」→「パノラマ撮影」を選択する

3 必要に応じてメニューを使った操作をする（➔P.7-5）

4 撮影したい画像をビューファインダーに表示する

ズームを使って拡大／縮小する場合は

[↑]または[↓]を押すごとに1段階ずつ拡大、縮小される

明るさを設定する場合は

[←]または[→]を押すごとに明るさを変更できる

5 [●]（撮影）を押し、撮りたい方向（縦方向または横方向）に708SCを動かす

6 [●]（停止）を押して撮影を終了する

撮影範囲がいっぱいになった場合は

自動的に撮影が終了し、保存される

7 撮影した静止画を確認する

続けて撮影する場合は

[✉]（カメラ）を押す

ショートカット（ボタン操作）を使った撮影前の設定変更について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に設定を変更できます。選択できる項目は、モードや各種設定の状況によって異なります。

ボタン	項　目	内　容
1	撮影サイズ	1600×1200、1280×960、640×480、320×240、240×176
2	画質	スーパーファイン、ファイン、ノーマル、ロー、エコノミー
3	撮影モード	通常、連写（6、9、15枚）、4コマ・9コマ分割、パノラマ撮影
4	ホワイトバランス	オート、晴天、曇り、白熱灯、蛍光灯
5	セルフタイマー	3秒、5秒、10秒
6	フレーム	9種類の中から選択
7	エフェクト	モノクロ、セピア、ネガ、なし
8	ISO	自動、100、200、400
9	スポット測光	OFF、ON
0	データフォルダ	–
#	ファインダー変更	ノーマル、フルサイズビュー（アイコン表示なし）、フルサイズビュー（グリッド線あり）
✉	カメラ・ビデオ変更	–
	上下反転	–
	左右反転	–
	ズーム	–
	明るさ調整	–

動画の撮影

動画撮影モード

手軽に動画を撮影できます。撮影した動画は、3GP形式でデータフォルダのムービーフォルダに保存されます。メールに添付／挿入する動画を撮影する場合は「撮影時間」で「S!メール添付用」（➔P.7-13）を選択してください。

動画を撮影する

1 **を1秒以上押す**

静止画モードが起動した場合は

✉（ビデオ）を押して、撮影モードを切り替える

2 **必要に応じてメニューを使った操作をする（➔P.7-10）**

3 **撮影したい画像をビューファインダーに表示する**

ズームを使って拡大／縮小する場合は

またはを押すごとに1段階ずつ拡大、縮小される

明るさを設定する場合は

またはを押すごとに明るさを変更できる

7 カメラ

4 [●]（録画）を押す

5 [●]（保存）を押して撮影を終了する

撮影時間が経過した場合は

自動的に撮影が終了し、保存される

6 必要に応じて[●]（▶）を押し、撮影した動画を確認する

続けて撮影する場合は

[✉]（ビデオ）を押す

補足

- **セルフタイマーを使って撮影するには**
  操作4の前に[5]を押します。[5]を押すごとに「3秒」「5秒」「10秒」「セルフタイマーなし」の順に切り替わります。
- **内側カメラ／外側カメラに切り替えて撮影するには**
  撮影前のメニューから「カメラ切替」を選択します。

動画撮影前のメニュー操作

メニュー	内　容
カメラ切替	内側カメラと外側カメラを切り替えます（➲P.7-10）。
エフェクト	色調を選択します。カラーで撮影する場合は「なし」を選択します。
セルフタイマー	セルフタイマーを使って撮影します（➲P.7-10）。
データフォルダ	ムービーフォルダを呼び出します。
ビデオ設定	撮影に関する設定を変更します（➲P.7-13）。
ボタン操作ガイド	ボタンに割り当てられた機能をディスプレイで確認します（➲P.7-11）。

動画撮影後のメニュー操作

メニュー	内　容
編集	データに保存された動画を編集します（➲P.7-16）。
拡大・縮小	再生中や一時停止中の動画表示サイズを設定できます。
送信	ファイルを送信します。「メール」を選択すると、ファイルを添付したメールを作成できます（➲P.17-5）。「Bluetooth」を選択すると、Bluetooth® 通信の相手を選択して送信できます（➲P.12-5）。
設定	音声電話着信音やTVコール着信音に撮影した動画を設定できます。

メニュー	内　容
削除	撮影したばかりの動画ファイルを削除します。
ファイル名変更	ファイル名を変更できます。
データフォルダ	ムービーフォルダを呼び出します。
保護／保護解除	保護すると、ファイル名の変更やファイルの移動、削除などが制限されます。
詳細	ファイルサイズや再生時間などを確認できます。

ショートカット（ボタン操作）を使った撮影前の設定変更について

ショートカットが割り当てられたボタンを押すことにより、簡単に設定を変更できます。

ボタン	項　目	内　容
1	撮影サイズ	320×240、176×144、128×96
2	画質	ファイン、ノーマル、ロー、エコノミー
3	撮影時間	S!メール添付用、10秒、30秒、制限なし
4	ホワイトバランス	オート、晴天、曇り、白熱灯、蛍光灯
5	セルフタイマー	3秒、5秒、10秒
6	音声録音	ON、OFF
7	エフェクト	モノクロ、セピア、ネガ

ボタン	項　目	内　容
0	データフォルダ	−
✉	カメラ・ビデオ変更	−
	上下反転	−
	左右反転	−
	ズーム	−
	明るさ調整	−

カメラの設定

画像のサイズや画質、保存場所など、撮影に関する設定を変更します。

静止画の設定をする

お買い上げ時
- 撮影サイズ：320×240　■画質：ノーマル
- ファインダー：フルサイズビュー（アイコン表示なし）
- シャッター音：シャッター 1
- 連写スピード：高速　■撮影後の画像確認：あり
- ホワイトバランス：オート　■ISO：自動
- スポット測光：OFF　■シーン別撮影：普通
- 保存先設定：本体　■初期ファイル名：画像

1 **を1秒以上押す**

動画撮影モードが起動した場合は

✉（カメラ）を押して、撮影モードを切り替える

2 メニューから「カメラ設定」を選択する

3 項目を選択し、設定操作をする

撮影サイズを設定する場合は

①「撮影サイズ」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

画質を設定する場合は

①「画質」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

ビューファインダーを設定する場合は

①「ファインダー」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

シャッター音を設定する場合は

①「シャッター音」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

連写スピードを設定する場合は

①「連写スピード」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

通常モードで撮影したときの動作を設定する場合は

①「撮影後の画像確認」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

ホワイトバランスを設定する場合は

①「ホワイトバランス」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

ISOを設定する場合は

①「ISO」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

スポット測光を設定する場合は

①「スポット測光」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

シーン別の撮影を設定する場合は

①「シーン別撮影」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

保存先を本体／メモリカードに切り替える場合は

①「保存先設定」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

保存時に付けられるファイル名を設定する場合は

①「初期ファイル名」を選択する

②ファイル名を入力する

補足

- **「保存先設定」の設定について**
  設定を変更すると、ビデオ設定の「保存先設定」も連動して変更されます。

動画の設定をする

お買い上げ時
- 撮影時間：S!メール添付用
- 撮影サイズ：176×144　■画質：エコノミー
- 音声録音：ON　■保存先設定：本体
- 初期ファイル名：ムービー

1 [▬]を1秒以上押す

静止画撮影モードが起動した場合は

[✉]（ビデオ）を押して撮影モードを切り替える

2 メニューから「ビデオ設定」を選択する

3 項目を選択し、設定操作をする

撮影時間を設定する場合は

①「撮影時間」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

撮影サイズを設定する場合は

①「撮影サイズ」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

画質を設定する場合は

①「画質」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

音声録音を設定する場合は

①「音声録音」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

保存先を本体／メモリカードに切り替える場合は

①「保存先設定」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

保存時に付けられるファイル名を設定する場合は

①「初期ファイル名」を選択する

②ファイル名を入力する

補足

- **動画の撮影時間について**
  撮影時間を「制限なし」に設定したときは、通常撮影で最大約1時間の撮影ができます。
- **「撮影時間」を「S!メール添付用」に設定すると**
  「撮影サイズ」を「320×240」に設定できません。「画質」は自動的に「エコノミー」に設定され、変更できません。
- **「保存先設定」の設定について**
  設定を変更すると、カメラ設定の「保存先設定」も連動して変更されます。

画像の確認

データフォルダに保存した静止画または動画を確認します。

静止画を確認する

1 ［キー］を1秒以上押す

動画撮影モードが起動した場合は

［✉］（カメラ）を押して、撮影モードを切り替える

2 メニューから「データフォルダ」を選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示し、［●］（表示）を押す

動画を確認する

1 ［キー］を1秒以上押す

静止画モードが起動した場合は

［✉］（ビデオ）を押して、撮影モードを切り替える

2 メニューから「データフォルダ」を選択する

3 一覧画面でファイルを反転表示し、［●］（再生）を押す

静止画の編集

データフォルダに保存された静止画を編集します。

1 ［●］を押し、「データフォルダ」を選択してファイルの保存場所を選択する

2 ファイルを反転表示し、［●］（表示）を押す

3 ［●］（画像編集）を押す

4 メニューを使って編集操作をする

画像のサイズを変更する場合は

①「サイズ変更」を選択する
②設定を選択する
③「幅」または「高さ」を入力する（数値指定のみ）
④［✉］（完了）を押す

画像にエフェクトを設定する場合は

①「エフェクト」を選択する
②設定を選択する
③［✉］（完了）を押す

部分的にぼかしたり赤目補正をする場合は

①「部分エフェクト」→「部分ぼかし」または「赤目補正」の順に選択する
②メニューを使って部分ぼかしや赤目補正の操作をする

7 カメラ

③ （完了）を押す

画像を調整する場合は

①「画像調整」→「明るさ」／「コントラスト」／「色」の順に選択する

②画像を調整する

③ （完了）を押す

画像にフレームを付ける場合は

①「フレーム」を選択する

② でフレームを選択する

③ （完了）を押す

画像にスタンプを付ける場合は

①「スタンプ」を選択する

②スタンプを選択する

③必要に応じてメニューから「サイズ」を選択し、 でスタンプのサイズを調整する

④必要に応じてメニューから「回転」を選択し、 でスタンプを回転する

⑤必要に応じてメニューから「移動」を選択し、 でスタンプを移動する

⑥ （完了）を押す

画像にテキストを追加する場合は（320×240サイズ以上の静止画のみ）

①「テキストスタンプ」を選択する

②テキストを入力する

③必要に応じてメニューから「サイズ」を選択し、 でテキストのサイズを調整する

④必要に応じてメニューから「回転」を選択し、 でテキストを回転する

⑤必要に応じてメニューから「文字サイズ」→「大」〜「小」のいずれかの順に選択する

⑥必要に応じてメニューから「色」を選択し、 でテキストの色を調整する

⑦ （完了）を押す

画像を回転させる場合は

①「回転」を選択する

②「右90度回転」または「左90度回転」を選択する

③ （完了）を押す

画像を反転させる場合は

①「反転」を選択する

②「上下反転」または「左右反転」を選択する

③ （完了）を押す

画像をトリミングする場合は

①「切り取り」を選択する

②必要に応じてメニューから「サイズ」を選択し、 でトリミングのサイズを調整する

③必要に応じてメニューから「形状」を選択し、 でトリミングの形状を切り替える

④必要に応じてメニューから「移動」を選択し、 でトリミング位置を調整する

⑤メニューから「切り取り」を選択する
⑥[✉]（完了）を押す

5 [●]（保存）を押す

6 画像名を入力する

動画の編集

データフォルダに保存された動画を編集します。

1 [●]を押し、「データフォルダ」を選択してファイルの保存場所を選択する

2 ファイルを反転表示し、メニューから「動画編集」を選択する

3 メニューを使って編集操作をする

動画を切り出す場合は

①「切り取り」を選択する
②[●]（再生）を押す
③切り出し開始位置で[✉]（開始）を押す
④切り出し終了位置で[✉]（終了）を押す
⑤切り出しをやり直す場合は[Y!]（リセット）を押し、②～④を繰り返す
⑥[✉]（完了）を押す

複数の動画を結合する場合は

①「合成」を選択する
②結合するファイルをチェックありにする（最大10ファイル）
③メモリカードのファイルを選択する場合は[Y!]（メモリカード）を押し、結合するファイルをチェックありにする
④②、③を繰り返して対象のファイルをすべてチェックありにする
⑤[✉]（完了）を押す
⑥[●]（合成）を押す

音声を他の動画の音声／サウンドに置き替える場合は

①「サウンド上書き」→「他のムービー検索」または「他のサウンド検索」の順に選択する
②ファイルを選択し、[✉]（完了）を押す

4 [●]（保存）を押す

5 ファイル名を入力する

7
カメラ

補足

- **編集前に動画を確認するには**
  ［メール］（プレビュー）を押します。
- **結合するファイルを追加するには**
  ①操作3の「複数の動画を1つに結合する場合は」の⑤のあと、メニューから「追加」を選択する
  ②操作3の「複数の動画を結合する場合は」の②～⑤を行う
- **結合するファイルを削除するには**
  ①操作3の「複数の動画を1つに結合する場合は」の⑤のあと、［十字キー］で削除するファイルを反転表示する
  ②メニューから「削除」を選択し、「はい」を選択する
- **結合するファイルの順番を変更するには**
  ①操作3の「複数の動画を1つに結合する場合は」の⑤のあと、［十字キー］で移動するファイルを反転表示する
  ②メニューから「順序変更」を選択する
  ③［十字キー］で移動先のファイルを反転表示し、［●］（OK）を押す

Flash® の作成

データフォルダのピクチャーフォルダに保存されている静止画やその他ファイルフォルダに保存されているFlash®画像、撮影直後の静止画を利用して、Flash®画像を作成します。作成したFlash®画像は、データフォルダのその他ファイルフォルダに保存されます。

1 **［●］を押し、「カメラ」→「ダイナミックエフェクトリスト」の順に選択する**

2 **ファイルを選択する**

3 **作成操作をする**

画像にフレームを付ける場合は
①［アイコン］（フレーム）を選択する
②フレームを選択する

画像にアイコンを付ける場合は
①［アイコン］（アイコン）を選択する
②アイコンを選択する
③必要に応じてメニューから「サイズ」を選択し、［十字キー］でサイズを調節して［メール］（完了）を押す
④必要に応じてメニューから「回転」を選択し、［十字キー］で回転の角度を調節して［メール］（完了）を押す

7 カメラ

⑤必要に応じてメニューから「反転」を選択し、 で向きを調節して（完了）を押す
⑥必要に応じてメニューから「透過」を選択し、 で透過度を調節して（完了）を押す
⑦で位置を調節し、（完了）を押す
⑧スタンプを追加する場合は①～⑤を繰り返す

画像に自作のバルーンを付ける場合は

①（バルーン）を選択する
②「ノーマル」を選択する
③バルーンを選択する
④テキストを入力する
⑤必要に応じてメニューから「文字サイズ」を選択し、でテキストのサイズを調節して（完了）を押す
⑥必要に応じてメニューから「文字色」を選択し、でテキストの色を調節して（完了）を押す
⑦必要に応じてメニューから「アクションテキスト」を選択し、でテキストのアクションを選択して（完了）を押す
⑧必要に応じてメニューから「反転」を選択し、 で向きを調節して（完了）を押す
⑨で位置を調節し、（完了）を押す
⑩自作のバルーンを追加する場合は（バルーン）を選択し、（挿入）を押して②～⑨を繰り返す

画像にプリインストールのバルーンを付ける場合は

①（バルーン）を選択する
②「既製」を選択する
③バルーンを選択する
④で位置を調節し、（完了）を押す
⑤プリインストールのバルーンを追加する場合は（バルーン）を選択し、（挿入）を押して②～④を繰り返す

画像に時計を付ける場合は

①（ウォッチ）を選択する
②時計を選択する
③（完了）を押す

編集中の画像を元に戻す場合は

①（リセット）を選択する
②「はい」を選択する

4 （保存）を押す

5 画像名を入力する

補足

- **画像に追加したフレーム／時計を削除するには**
  ①操作２のあと、（フレーム）または（ウォッチ）を選択する
  ②（削除）を押す
- **画像に追加したアイコン／バルーンを削除するには**
  ①操作２のあと、（アイコン）または（バルーン）を選択する
  ②複数追加されている場合は で削除するアイコンまたはバルーンを反転表示する
  ③（削除）を押す
  ④（完了）を押す
- **アイコン／バルーンの追加について**
  追加できるアイコンやバルーンの数は5件までです。
- **データフォルダの画像からFlash® を作成するには**
  ①データフォルダの画像を反転表示して、メニューから「ダイナミックエフェクト」を選択する
  ②「Flash® の作成」の操作3～5（➲P.7-17）を行う

注意

- **作成したFlash® 画像はメールに添付できません。**

メール添付

静止画や動画を撮影後すぐにメールに添付して送信できます。

ただし、動画の場合は「S!メール添付用」（➲P.7-13）で撮影したファイルのみ添付することができます。

1 撮影終了後、（送信）→「メール」の順に選択する

動画を送信する場合は

撮影終了後のメニューから「送信」→「メール」の順に選択する

2 メール作成画面で宛先、件名、本文などを入力して送信する

補足

- **Bluetooth® で静止画や動画を送信するには**
  操作1で「Bluetooth」を選択します（➲P.12-5）。

ディスプレイの設定

待受画面の設定

ディスプレイの壁紙を設定する

お買い上げ時 ■データフォルダ

保存されている静止画やアニメーションを表示させる「データフォルダ」、静止画を次々に表示させる「フォトスライド」または「サイクリング」を設定できます。静止画を表示しないように設定することもできます。

1 ●を押し、「設定」→「ディスプレイ設定」→「壁紙設定」の順に選択する

2 設定操作をする

設定を変更する場合は

「データフォルダ」「フォトスライド」「サイクリング」「なし」のいずれかを選択する

データフォルダの画像を変更する場合は

①「データフォルダ」を反転表示し、✉（編集）を押す
②ファイルの保存場所を選択してファイルを選択する
③●（設定）を押す

フォトスライドを設定／編集する場合は

①「フォトスライド」を選択し、✉（編集）を押す
②「フォトスライドを設定する」の操作2～4（➔P.8-2）または「フォトスライドを編集する」の操作2～3（➔P.8-3）を行う

3 ●（保存）を押す

フォトスライドを設定する

1 ●を押し、「ツール」→「フォトスライド」の順に選択する

2 ●（追加）を押す

3 ファイルの保存場所を選択し、設定する画像をチェックありにして✉（完了）を押す

プレビューを見る場合は

①✉（プレビュー）を押し、「はい」（左右をトリミング）または「いいえ」（もとの縦横比率で表示）を選択する
②プレビューを終了するときはClearを押す

効果を設定する場合は

①◎で効果欄を反転表示する
②◎で設定を切り替える

静止画1枚あたりの再生時間を変更する場合は

①◎で切替時間欄を反転表示する
②◎で設定を切り替える

ディスプレイの設定

8

4 ●（設定）を押し、「はい」（左右をトリミング）または「いいえ」（もとの縦横比率で表示）を選択する

補足

- **フォトスライドのサイズ調整について**
  ディスプレイに大きく表示するには、操作4で「はい」を選択します。もとの縦横比率のまま全体を表示するには、「いいえ」を選択します。

フォトスライドを編集する

1 ●を押し、「ツール」→「フォトスライド」の順に選択する

2 編集操作をする

静止画を変更する場合は

①メニューから「画像変更」を選択する

②設定する静止画をチェックありにし、✉（完了）を押す

静止画の順序を変更する場合は

①順序を変更する静止画を反転表示し、メニューから「順序変更」を選択する

②✥で順序を変更し、●（保存）を押す

静止画を削除する場合は

削除する静止画を反転表示し、メニューから「削除」を選択して「はい」を選択する

静止画を追加する場合は

①静止画を設定していない箇所を反転表示し、Y!（追加）を押す

②追加する静止画をチェックありにし、✉（完了）を押す

3 ●（設定）を押し、「はい」または「いいえ」を選択する

補足

- **フォトスライドのサイズ調整について**
  ディスプレイに大きく表示するには、操作3で「はい」を選択します。もとの縦横比率のまま全体を表示するには、「いいえ」を選択します。

時計表示を設定する

お買い上げ時 ■デジタル時計（デジタル時計7）

待受画面の時計表示を、デジタル時計、デュアルクロック、またはカレンダーから選択して表示できます。時計を表示しないように設定することもできます。

1 [●]を押し、「設定」→「ディスプレイ設定」→「時計／カレンダー表示」の順に選択する

2 設定を選択する

デジタル時計を表示する場合は

①「デジタル時計」を選択する
②[✉]（編集）を押し、[◎]で時計の種類を切り替える
③[●]（OK）を押す

デュアルクロックを表示する場合は

①「デュアルクロック」を選択する
②[✉]（編集）を押す
③「タイムゾーンを変更する」の操作3（➔P.1-17）を行う

カレンダーを表示する場合は

「カレンダー」を選択する

時計を表示しない場合は

「OFF」を選択する

3 [●]（保存）を押す

補足

- **「デュアルクロック」に設定すると**
  待受画面に2つの時計が表示されます。上側には「日付・時刻の設定」（➔P.1-16）で設定した地域の時計が表示され、下側には「デュアルクロックを表示する場合は」で設定した地域の時計が表示されます。
- **「カレンダー」に設定したときの表示について**
  「カレンダー」の「週の始まり」（➔P.14-5）で設定した表示形式で表示されます。

ディスプレイの設定
8

事業者名を表示させる

お買い上げ時 ■OFF

待受画面にご利用の事業者名を表示するかどうかを設定します。

1 [●]を押し、「設定」→「ディスプレイ設定」→「事業者名表示」の順に選択する

2 設定を選択し、[●]（保存）を押す

表示するフォントの設定

お買い上げ時 ■フォント1

表示するフォントを変更できます。

1 [●]を押し、「設定」→「ディスプレイ設定」→「フォント」→「フォントタイプ」の順に選択する

2 設定を選択し、[●]（保存）を押す

メニュー表示の設定

メニュースタイルを設定する

お買い上げ時 ■ブラック

メニュー画面（Yahoo!ケータイメニューを除く）の表示タイプを変更できます。

1 [●]を押し、「設定」→「ディスプレイ設定」→「メインメニュースタイル」の順に選択する

2 設定を選択し、[✉]（保存）を押す

ポップアップメニューを設定する

お買い上げ時 ■OFF

メニューの中項目を反転表示したときに、小項目を吹き出しで表示するかどうかを設定します。

1 [●]を押し、「設定」→「ディスプレイ設定」→「ポップアップメニュー」の順に選択する

2 設定を選択し、[●]（保存）を押す

補足

- **小項目がない中項目を反転表示したときは**
  吹き出しが表示されません。ツールメニューの「アラーム」も吹き出しが表示されません。

メニューの文字サイズを設定する

お買い上げ時 ■大

メニューの中項目の文字サイズを変更できます。

1 ●を押し、「設定」→「ディスプレイ設定」→「フォント」→「メニュー文字サイズ」の順に選択する

2 設定を反転表示し、●（保存）を押す

明るさと点灯時間の設定

ディスプレイの明るさを調整する

1 ●を押し、「設定」→「ディスプレイ設定」→「明るさ」の順に選択する

2 ✥で明るさを調整し、●（保存）を押す

バックライト点灯時間を設定する

お買い上げ時 ■点灯時間：15秒 ■省電力設定：5秒

ディスプレイのバックライト点灯時間や表示の設定をします。「点灯時間」で設定した時間を経過すると画面が暗くなり、さらに「省電力設定」で設定した時間を経過するとディスプレイが消灯します。

1 ●を押し、「設定」→「ディスプレイ設定」→「バックライト」の順に選択する

2 項目を選択し、設定操作をする

明るく点灯させる時間を設定する場合は
①点灯時間欄を選択する
②時間を選択し、●（OK）を押す

消灯までの時間を設定する場合は
①省電力設定欄を選択する
②時間を選択し、●（OK）を押す

3 ✉（保存）を押す

ダイヤル表示の設定

お買い上げ時 ■文字タイプ：標準2

待受中にダイヤル入力したときの表示を変更できます。文字タイプで「標準」または「標準2」を設定したときは、文字のサイズや色、背景色も変更できます。

1 **[●]を押し、「設定」→「ディスプレイ設定」→「ダイヤル表示スタイル」の順に選択する**

2 **項目を選択し、設定操作をする**

文字タイプを設定する場合は

①「文字タイプ」を選択する

②[◎]で文字タイプを切り替える

文字サイズを設定する場合は

①「文字サイズ」を選択する

②[◎]でサイズを切り替える

文字色を設定する場合は

①「文字色」を選択する

②[◎]で設定を切り替える

③[◎]で色の選択欄にカーソルを移動し、[◎]で色を切り替える（「単色」の場合のみ）

背景色を設定する場合は

①「背景色」を選択する

②[◎]で色を切り替える

3 **[●]（保存）を押す**

表示言語の切り替え

お買い上げ時 ■日本語

ディスプレイの表示言語を、日本語、英語、韓国語から選択できます。

1 **[●]を押し、「設定」→「一般設定」→「Language」または「言語選択」の順に選択する**

2 **設定を選択し、[●]（保存／Save／저장）を押す**

音の設定

各モードの設定内容を変更する

各モードの音声電話やTVコール、メールを受けたときの着信設定を変更できます。

運転中モードでは、電話がかかってきたときの応答方法も変更できます。

1 待受画面で[*]を1秒以上押す

2 モードを反転表示して[✉]（編集）を押す

着信音の音量を設定する場合は

①「着信音量」を選択し、設定する項目を選択する
②[◀▶]で音量を調節する
③[✉]（再生）を押して音量を確認し、[●]（OK）を押す
④[✉]（保存）を押す

音声電話やTVコールの着信音を設定する場合は

①「着信音」を選択し、「音声通話」または「TVコール」を選択する
②ファイルの保存場所を選択する
③メロディを反転表示し、メニューから「再生」を選択する
④[Y!]（選択）を押す
⑤[✉]（保存）を押す

S!メールやSMSの着信音を設定する場合は

①「着信音」を選択し、「メール」を選択する
②設定を選択する
③[✉]（再生）を押して着信音を確認し、[●]（OK）を押す
④[✉]（保存）を押す

バイブレータを設定する場合は

①「バイブ」を選択し、設定する項目を選択する
②設定を選択し、[●]（保存）を押す

S!メールやSMSの着信音の鳴動時間を設定する場合は

①「メール着信鳴動時間」を選択し、「メール」を選択する
②時間を入力し、[●]（OK）を押す

効果音やキー操作音の音量を設定する場合は

①「効果音・キー操作音量」を選択する
②[◀▶]で音量を調節し、[●]（保存）を押す

効果音を設定する場合は

①「効果音設定」を選択する
②設定する項目をチェックありにし、[✉]（保存）を押す

キー操作音を設定する場合は

①「キー操作音」を選択する
②設定を選択し、[●]（保存）を押す

応答方法を設定する場合は（運転中モードのみ）

①「着信応答モード」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

補足

- **着信音量について**
「≜」を選択すると音量がステップアップに設定され、着信音の音量がだんだん大きくなります。

- **アコースティックショック調整について（➲P.15-5）**
「ON」にすると、音声通話やTVコールの着信音量が大きな音で設定されていても、レベル1の音量で2秒間呼び出し、その後に設定されている音量で呼び出します。

- **運転中モードの着信応答モードについて（➲P.9-2）**
「エニーキー」に設定すると、[✉]、[Y!]、[☎]、サイドキー[▮][▮]を除くどのボタンでも応答できます。

- **運転中モードの自動応答までの秒数を設定するには**
操作2の「応答方法を設定する場合は」の①のあと、「自動」を選択して[✉]（編集）を押し、設定を選択して[●]（OK）を押します。

- **ボイスレコーダー（➲P.14-13）で録音したamrファイルを着信音として設定するには**
操作2の「音声電話やTVコールの着信音を設定する場合は」の②のあとでamrファイルを選択する

- **着信中に音量を調節するには**
着信中にサイドキー[▮]または[▮]を押します。

- **音やバイブレータでのお知らせをしないように設定するには（ミュート）**
着信時やメール受信時のお知らせをミュート（表示のみ）にするには、「着信音量」を「OFF」にし、「バイブ」を「OFF」にします。ミュートにしているときは、ディスプレイに[ミュートアイコン]が表示されます。

- **S!メールやSMSの着信音のデータフォルダの曲目を変更するには**
①操作2の「S!メールやSMSの着信音を設定する場合は」の②のあとで、「データフォルダ」を反転表示して[Y!]（変更）を押す
②ファイルの保存場所を選択する
③メロディを反転表示し、メニューから「再生」を選択する
④[Y!]（選択）を押す
⑤[✉]（保存）を押す

- **待受画面でボタン確認音量を調節するには**
待受中にサイドキー[▮]または[▮]を押します。

設定メニューの「サウンド設定」について

「設定」メニューの「サウンド設定」は、通常モードの設定内容を変更するためのメニューです。他のモードの内容は変更できません。

各モードの設定内容について

モードによって、設定できない項目があります。お買い上げ時には次のように設定されています。

－：設定不可

設定項目＼モード		通常	マナー	運転中	ミーティング	アクティブ
着信音量						
	音声通話	レベル4	－	レベル4	OFF	レベル5
	TVコール	レベル4	－	レベル4	OFF	レベル5
	メール	レベル4	－	レベル4	OFF	レベル5
着信音						
	音声通話	Tripping.mmf	－	Tripping.mmf	Tripping.mmf	Tripping.mmf
	TVコール	Secret Life.mmf	－	Secret Life.mmf	Secret Life.mmf	Secret Life.mmf
	メール	ピュア	－	ピュア	ピュア	ピュア
バイブ						
	音声通話	ON	ON	ON	ON	ON
	TVコール	ON	ON	ON	ON	ON
	メール	ON	ON	ON	ON	ON
メール着信鳴動時間						
	メール	5秒	－	5秒	5秒	5秒
効果音・キー操作音量		レベル2	－	レベル4	OFF	レベル5
効果音設定		複数ON	通話中イベント通知	複数ON	通話中イベント通知	複数ON
キー操作音		木琴	－	木琴	木琴	木琴
着信応答モード		－	－	通常	－	－
簡易留守録		－	ON	－	－	－

効果音設定の設定項目について

モードによって設定できない項目があります。これらの音量は、効果音・キー操作音量の設定に従います。

設定項目	内　容
全てON/OFF	効果音設定の項目すべてをチェックありまたはなしにします。
ポップアップ音	確認や警告のメッセージが表示されたときに音が鳴ります。
通話時間通知（毎分）	通話中に約1分たつごとに音が鳴ります。
呼び出し開始音	電話をかけたとき、相手の着信音が鳴る前に、電話が接続されこれから相手を呼び出すことをお知らせする音が鳴ります。
通話終了音	通話終了時に音が鳴ります。
ウェイクアップ音	電源を入れたときに音が鳴ります。
通話中イベント通知	通話中にアラームの設定時刻になったときやメールを受信したときに音が鳴ります。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーをご利用になる前に

メディアプレイヤーでは、データフォルダに保存されているメロディや動画ファイルを再生できます。動画コンテンツなどのデータを読み込みながらリアルタイムで再生できるストリーミングも楽しめます。

- ミュージックのメニュー「ミュージックダウンロード」やムービーのメニュー「ムービーダウンロード」からは、Yahoo!ケータイへ直接アクセスし、音楽や動画をダウンロードできます。
- 再生音はスピーカーからだけでなく、ステレオイヤホンマイクを利用して聴くことができます。下の図を参考に差し込んでください。また、スピーカー再生するときは、ステレオイヤホンマイクを本体から外します。

- ステレオイヤホンマイクは音楽再生だけでなく、通話にもお使いいただけます。ステレオイヤホンマイクを取り付けて再生している場合に、電話をかけてきた相手と通話するときは、ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押すと通話できます。

メディアプレイヤーで再生できるファイル

プレイヤー	ファイル（拡張子）
ミュージック	MPEG4 Audio（mp4、3gp（音声のみ））
ムービー	MPEG4（mp4、3gp）

補足

- **その他のファイルの再生について**
  データフォルダのメロディ＆ミュージックフォルダに保存されている上記以外のファイルは、メディアプレイヤーでは再生できません。再生する場合は、メロディ＆ミュージックフォルダからファイルを選択して再生してください。

音楽を再生する

1 ［文字キー］を押す

2 ファイルの選択操作をする

すべてのファイルの一覧から選択する場合は

「全てのミュージック」を選択し、ファイルを反転表示する

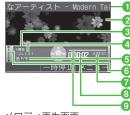
最近再生したファイルの一覧から選択する場合は

「最近聴いた曲」を選択し、ファイルを反転表示する

よく聴くファイルの一覧から選択する場合は

「よく聴く曲」を選択し、ファイルを反転表示する

プレイリストを再生する場合は（➔P.10-6）

3 ［●］（再生）を押す

メロディ再生画面

①アーティスト名と曲名（曲名情報がない場合はファイル名）

②スキン

③状態：再生／一時停止／停止

④リピートモード
［アイコン］（OFF）／［アイコン］（1ファイルリピート）／［アイコン］（ランダム）／［アイコン］（オールリピート）

⑤ファイル番号／総ファイル数

⑥再生音量

⑦総再生時間

⑧再生経過時間

⑨プログレスバー

補足

- **再生を終了して一覧画面に戻るには**
  Clearを押します。ただし、メニュー表示中またはメニュー操作中にClearを押した場合は、メニューを閉じるか1つ前の画面に戻ります。
- **再生中に電話がかかってきたときは**
  再生が一時停止され、着信音が鳴ります。通話終了後も、一時停止中のままです。
- **再生中にメールを受信したときは**
  ディスプレイ最上段にまたはが表示され、バイブレータでお知らせします。
- **再生中にアラームの設定時刻になったときは**
  再生が一時停止され、アラーム音と表示でお知らせします。いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まり、再生を開始します。もう一度押すと表示が消えます。
- **メロディファイルを着信音に設定するには**
  一覧画面でファイルを反転表示するか、再生を一時停止または停止した状態で✉（設定）を押し、設定操作をします（➲P.11-11）。ただし、着信音に設定できないファイルの場合は操作できません。
- **音楽を聴きながら同時に別の機能を使うには**
  スイッチバーを使います（➲P.1-20）。
- **最後に聴いていたメロディを簡単に再生するには**
  待受画面で文字を1秒以上押すと、自動的に再生します。
- **メモリカードに保存されているファイルの表示について**
  メモリカードを取り付けている場合は、「全てのミュージック」の一覧画面にメモリカードに保存されているファイルも表示されます。該当するファイルにはが表示されます。

「全てのミュージック」について

メディアプレイヤーの「ミュージック」で再生できるすべてのファイルを一覧で表示します。最大9999件のファイルを表示できます。

「ミュージックダウンロード」について

ダウンロードサイトへのショートカットです。選択すると、インターネット上のダウンロードサイトに接続できます。

「ミュージックサーチ」について

メディアプレイヤーの「ミュージックサーチ」は音楽検索サイト「Music Search」へのショートカットです。楽曲種別やキーワードで音楽を検索できます。

「最近聴いた曲」「よく聴く曲」について

「最近聴いた曲」には最近再生したファイルの履歴が記録され、最後に再生されたファイルが一番上に表示されます。「よく聴く曲」には再生回数の多いファイルの履歴が表示され、最も再生回数が多いファイルが一番上に表示されます。それぞれ最大100件の履歴が記録されます。

再生画面／一覧画面のメニュー操作

表示されるメニューはファイルの種類、状況によって異なります。

メニュー	内　容
送信	ファイルを送信します。「メール」を選択すると、ファイルを添付したメールを作成できます（➔P.17-5）。「Bluetooth」を選択すると、Bluetooth® 通信の相手を選択して送信できます（➔P.12-5）。
追加	ファイルをプレイリストに追加します。「プレイリスト」を選択すると、プレイリストに含まれるファイルすべてをプレイリストに追加します。「ファイル」を選択すると、ファイルを選択してプレイリストに追加できます。
移動	プレイリスト内のファイルの順序を変更できます。
ブックマーク表示	ブックマークに登録したストリーミング再生のリンクがある情報画面にアクセスします。
履歴表示	以前に利用したストリーミング再生のリンクがある情報画面にアクセスします。

メニュー	内　容
プレイリストに追加	「全てのミュージック」内のファイルをプレイリストに追加します。「選択したファイル」を選択すると、反転表示しているファイルをプレイリストに追加します。「複数のファイル」を選択すると、一度に複数のファイルをプレイリストに追加できます。
検索＆再生	アルバム、アーティスト、ジャンルごとに検索し、再生します。
削除	ファイルを削除します（➔P.11-18）。
ファイル名変更	ファイル名を変更できます。
保護／保護解除	保護すると、ファイル名の変更や削除などが制限されます。
詳細	ファイルの詳細を確認します。
停止	再生を停止します。
再生	音楽を再生します。再生画面の場合は、「本体」を選択すると再生音をスピーカーから鳴らします。「AVヘッドフォン」を選択すると、再生音を本体スピーカーやBluetooth® 対応のステレオヘッドフォンなどから鳴らします（➔P.12-5）。
AV ヘッドフォンで聴く／本体で聴く	再生音を鳴らす位置をBluetooth® 対応のステレオヘッドフォンなどに切り替えます（➔P.12-5）。
コンテンツ・キー再取得	著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得します。

メニュー	内　容
プレイリスト作成	プレイリストを作成します（➔P.10-6）。
名前変更	プレイリストの名前を変更します。
プレイリスト表示	プレイリストを呼び出します。
プレイヤー設定	音楽再生に関する設定を変更します（➔P.10-7）。

補足

- **「AVヘッドフォンで聴く」に設定すると**
  708SCでの音量調節はできません。AVヘッドフォン側で調節してください。

プレイリストを使って再生する

プレイリストを作成する

プレイリストは最大20件作成でき、1件のプレイリストには最大100件のファイルを登録できます。

1 [文字]を押し、メニューから「プレイリスト作成」を選択する

2 プレイリスト名を入力する

3 作成したプレイリストを選択する

4 メニューから「追加」→「ファイル」の順に選択する

5 登録するファイルをチェックありにし、[✉]（保存）を押す

補足

- **既存のプレイリストの曲をすべて選択してプレイリストを作成するには**
  ①「プレイリストを作成する」の操作1～3を行う
  ②メニューから「追加」→「プレイリスト」の順に選択する
  ③全曲追加する再生リストを選択する
- **プレイリストの名前を変更するには**
  ①プレイリストを反転表示し、メニューから「名前変更」を選択する
  ②プレイリスト名を入力する
- **プレイリストを1件削除するには**
  ①プレイリストを反転表示し、メニューから「削除」→「1件」の順に選択する
  ②「はい」を選択する
- **プレイリストを全件削除するには**
  ①プレイリストを反転表示し、メニューから「削除」→「全件」の順に選択する
  ②暗証番号を入力し、[●]（確認）を押す
  ③「はい」を選択する

プレイリストを再生する

1 [文字]を押して再生するプレイリストを選択し、「再生」を選択する

音楽再生のプレイヤー設定を変更する

リピートモードを設定する

お買い上げ時 ■OFF

1曲を繰り返し再生したり、すべてのミュージックやプレイリスト内のすべてのファイルをランダム再生したり繰り返し再生するように設定できます。

1 [文字]を押し、メニューから「プレイヤー設定」を選択する

2 「リピートモード」を選択する

3 項目を選択し、[●]（保存）を押す

再生中の音量を設定する

1 [文字]を押し、メニューから「プレイヤー設定」を選択する

2 「再生音量」を選択する

3 [十字キー]で音量を調節し、[●]（保存）を押す

オーディオスキンを設定する

お買い上げ時 ■レインボーウェーブ

再生中のディスプレイに表示する画像を２種類の中から設定します。

1 [文字]を押し、メニューから「プレイヤー設定」を選択する

2 「オーディオスキン」を選択する

3 設定を選択し、[●]（保存）を押す

ビジュアルを設定する

ビジュアルのON／OFFを切り替える

お買い上げ時 ■ON

MPEG4のオーディオコーデックがAACまたはAAC+の音楽を再生中のディスプレイに、「ビジュアル設定」で設定したスキンの表示、コントローラーの表示／非表示、バックライトの照明設定を有効にするかどうかを設定します。

1 [文字]を押し、メニューから「プレイヤー設定」を選択する

2 「ビジュアル設定」を選択する

3 「設定ON／OFF」を選択する

4 設定を選択し、[●]（保存）を押す

ビジュアルの詳細を設定する

お買い上げ時 ■スキン：フラワー
■コントローラー表示：表示
■バックライト：標準

メロディファイル再生中に表示するスキンを10種類の中から選択できます。このスキンを画面全体に表示させるには、コントローラー表示を「非表示」に設定します。バックライトを「常時ON」に設定すると、音楽を聴きながらスキンを楽しめます。

1 [文字]を押し、メニューから「プレイヤー設定」を選択する

2 「ビジュアル設定」を選択する

3 「スキン」「コントローラー表示」「バックライト」のいずれかを選択する

4 設定を選択し、[●]（保存）を押す

動画を再生する

1 [●]を押し、「メディアプレイヤー」→「ムービー」の順に選択する

2 ファイルの選択操作をする

すべてのファイルの一覧から選択する場合は

「全てのムービー」を選択し、ファイルを反転表示する

最近再生したファイルの一覧から選択する場合は

「最近見たムービー」を選択し、ファイルを反転表示する

よく見るファイルの一覧から選択する場合は

「よく見るムービー」を選択し、ファイルを反転表示する

プレイリストを再生する場合は（➲P.10-6）

3 [●]（再生）を押す

動画再生画面

❶アーティスト名とビデオタイトル（ビデオタイトルがない場合はファイル名）

❷状態：再生／一時停止／停止

❸プログレスバー

❹再生音量

❺総再生時間

❻再生経過時間

補足

- **動画ファイルを着信音に設定するには**
  一覧画面でファイルを反転表示するか、再生を停止した状態で[✉]（設定）を押し、設定操作をします（➲P.11-11）。ただし、着信音に設定できないファイルの場合は操作できません。
- **プレイリストを作るには**
  ①操作1のあと、メニューから「プレイリスト作成」を選択する
  ②「プレイリストを作成する」の操作2～5（➲P.10-6）を行う
- **メモリカードに保存されているファイルの表示について**
  メモリカードを取り付けている場合は、「全てのムービー」の一覧画面にメモリカードに保存されているファイルも表示されます。該当するファイルには[SD]が表示されます。

「全てのムービー」について

メディアプレイヤーの「ムービー」で再生できるすべてのファイルが表示されます。最大9999件のファイルを表示できます。

「ムービーダウンロード」について

ダウンロードサイトへのショートカットです。選択すると、インターネット上のダウンロードサイトに接続できます。

「最近見たムービー」「よく見るムービー」について

「最近見たムービー」には最近再生したファイルの履歴が記録され、最後に再生されたファイルがいちばん上に表示されます。「よく見るムービー」には再生回数の多いファイルの履歴が表示され、最も再生回数が多いファイルがいちばん上に表示されます。それぞれ最大100件の履歴が記録されます。

再生画面／一覧画面のメニュー操作

再生画面や一覧画面のメニューから、次の操作ができます。表示されるメニューは、ファイルの種類によって異なります。

メニュー	内　容
全画面表示	画面全体に動画を表示します。
追加	ファイルをプレイリストに追加します。「プレイリスト」を選択すると、プレイリストに含まれるファイルすべてをプレイリストに追加します。「ファイル」を選択すると、ファイルを選択してプレイリストに追加できます。
移動	プレイリスト内のファイルの順序を変更できます。
停止	再生中の動画を停止します。
編集	動画を編集できます（➔P.7-16）。
拡大・縮小	表示サイズを変更できます。
送信	ファイルを送信します。「メール」を選択すると、ファイルを添付したメールを作成できます（➔P.17-5）。「Bluetooth」を選択すると、Bluetooth® 通信の相手を選択して送信できます（➔P.12-5）。
ブックマーク表示	ブックマークに登録したストリーミング再生のリンクがある情報画面にアクセスします。
履歴表示	以前に利用したストリーミング再生のリンクがある情報画面にアクセスします。
プレイリストに追加	「全てのムービー」内のファイルをプレイリストに追加します。「選択したファイル」を選択すると、反転表示しているファイルをプレイリストに追加します。「複数のファイル」を選択すると、一度に複数のファイルをプレイリストに追加できます。
削除	ファイルを削除します（➔P.11-18）。
ファイル名変更	ファイル名を変更できます。
保護／保護解除	保護すると、ファイル名の変更や削除などが制限されます。
詳細	ファイルサイズや再生時間などを確認します。

メニュー	内　容
再生	音楽を再生します。再生画面の場合は、「本体」を選択すると再生音をスピーカーから鳴らします。「AVヘッドフォン」を選択すると、再生音を本体スピーカーやBluetooth® 対応のステレオヘッドフォンなどから鳴らします（➔P.12-5）。
AVヘッドフォンで聴く／本体で聴く	再生音を鳴らす位置をBluetooth® 対応のステレオヘッドフォンなどに切り替えます（➔P.12-5）。
プレイリスト作成	プレイリストを作成します（➔P.10-6）。
名前変更	プレイリストの名前を変更します。
プレイヤー設定	動画再生に関する設定を変更します（➔P.10-11）。

動画再生のプレイヤー設定を変更する

リピートモードを設定する

お買い上げ時 ■OFF

1つのファイルを繰り返し再生したり、フォルダのすべてのファイルをランダム再生や繰り返し再生するように設定できます。

1. **[●]を押し、「メディアプレイヤー」→「ムービー」の順に選択する**
2. **一覧画面でファイルを反転表示し、[●]（再生）を押す**
3. **メニューから「プレイヤー設定」を選択する**
4. **「リピートモード」を選択する**
5. **設定を選択し、[●]（保存）を押す**

再生中の音量を設定する

1 [●]を押し、「メディアプレイヤー」→「ムービー」の順に選択する
2 一覧画面でファイルを反転表示し、[●]（再生）を押す
3 メニューから「プレイヤー設定」を選択する
4 「再生音量」を選択する
5 [◆]で音量を調節し、[●]（保存）を押す

表示サイズを設定する

再生中や一時停止中のメインディスプレイに表示される動画のサイズを設定します。

1 [●]を押し、「メディアプレイヤー」→「ムービー」の順に選択する
2 一覧画面でファイルを反転表示し、[●]（再生）を押す
3 メニューから「拡大・縮小」を選択し、サイズを選択する

データ管理
（データフォルダ）

データフォルダについて

データフォルダは、いろいろなデータを一括管理する機能です。

データフォルダの構成

あらかじめ4つの種別フォルダが用意されています。各機能でデータを作成したりBluetooth® 通信やウェブ、メールなどからデータを入手すると、ファイル形式に応じた種別フォルダに保存されます（右記参照）。

あらかじめ用意されている種別フォルダやサブフォルダのほかに、種別フォルダ内にサブフォルダを作成することもできます。

データフォルダ
- ピクチャー※
- ムービー※
- メロディ＆ミュージック※
- その他ファイル※
- メモリ容量確認

（ピクチャー～その他ファイル：あらかじめ用意されている種別フォルダ）

※ 中にサブフォルダ「プリインストール」（あらかじめ登録されているファイルを保存）が用意されています。

フォルダ	概　要	保存されるファイル※
ピクチャー	708SCで撮影した静止画などの画像ファイルを保存	JPEG、BMP、GIF、WBMP、PNG、Animation GIF
ムービー	708SCで撮影した動画などのファイルを保存	MPEG4（3GP、MP4）
メロディ＆ミュージック	ダウンロードしたメロディや、ボイスレコーダーで録音した音声などのファイルを保存	SMAF／MIDI／SP-MIDI、MPEG4 Audio、AMR
その他ファイル	表示の際にファイルビューアが必要なドキュメント、グラフィックスのほか、Flash® ファイルやvファイルなどを保存	SWF、SVG、vCard、vCalendar、PDF、XLS、DOC、PPT、TXT、非サポートファイル

※ ファイル形式に応じて振り分けられたファイルは、コピーや移動の操作により別のフォルダにも保存できます。

補足

- **種別フォルダに保存できるファイル／フォルダの件数について**
  1件の種別フォルダ内には、フォルダとファイルを合わせて最大999件保存できます。

「メモリ容量確認」について

「メモリ容量確認」を選択すると、データフォルダのフォルダごとのメモリ使用状況を確認できます。
同様の確認操作は、設定メニューからもできます（➔P.15-8）。

ダウンロードサイトへのショートカットについて

種別フォルダ内に表示される は、ダウンロードサイトへのショートカットです。選択すると、インターネット上のダウンロードサイトに接続できます。

メモリカードを取り付けているときは

データフォルダで（メモリカード）を押すと、メモリカードのデータフォルダに切り替わり、が表示されます。メモリカードのデータフォルダの構成は、708SC本体のデータフォルダと異なります。（本体）を押すと、708SC本体のデータフォルダに戻ります。

ファイルの確認

ファイルを確認する

1 を押し、「データフォルダ」を選択する
2 ファイルの保存場所を選択する
3 一覧画面でファイルを反転表示し、（表示／再生／選択）を押す

補足

- **画像を自動的に切り替えながら確認するには**
  同一フォルダ内の画像を、スライドのように次々に表示させることができます。
  ① 操作1～3を行い、画像を表示させる
  ② メニューから「スライドショー」を選択する

- **画像を拡大／縮小して確認するには**
  ① 操作1～3を行い、画像を表示させる
  ② メニューから「ズーム」を選択する
  ③ （）、（）やで画像を拡大、縮小、スクロールする
  ④ もとの表示に戻るときはClearを押す

- **画像を拡大／縮小したときの操作について**
  前項の「画像を拡大／縮小して確認するには」の②を行ったあとに[Y!]（🔍）を押すと、ファイルの一覧画面が表示されます。[Y!]（🔍）を押すごとに一覧画面の表示形式が切り替わり、ファイルを選択すると他のファイルを確認できます。

- **ファイルの一覧に表示されるアイコンについて**
  アイコンの内容は次のとおりです。
  ：転送不可
  ：転送不可かつ利用不可
  ：保護あり
  ：著作権保護ファイル（転送可、コンテンツ・キー有効）
  ：著作権保護ファイル（転送可、コンテンツ・キー期限切れ）
  ：著作権保護ファイル（転送不可、コンテンツ・キー有効）
  ：著作権保護ファイル（転送不可、コンテンツ・キー期限切れ）
  ：壁紙の設定あり（➔P.11-10）
  ：着信音の設定あり（➔P.11-11）

- **他のUSIMカードを取り付けた場合は**
  プリインストール以外の転送不可ファイルと著作権保護ファイルは利用できません。

- **表示中の画像をディスプレイ全体に表示するには**
  操作3のあと、メニューから「全画面表示」を選択します。もとの表示に戻るときは[Clear]を押します。

- **ファイルの詳細を確認するには**
  メニューから「詳細」を選択します。

注意

- **ファイルのサイズが 3M バイトを超えるファイルや、解像度が1600×1200を超えるファイルは、編集およびズームの操作ができません。また、1.3Mバイトを超えるファイルは着信画像や代替画像に設定できません。**

データフォルダからのカメラ／ボイスレコーダー起動について

ピクチャーフォルダを反転表示するか、708SCで撮影した画像ファイルを反転表示してメニューから「カメラ起動」を選択すると、静止画撮影モードのカメラが起動します。

同様に、ムービーフォルダを反転表示するか、708SCで撮影した動画ファイルを反転表示してメニューから「ビデオカメラ起動」を選択すると、動画撮影モードのカメラが起動します。

メロディ＆ミュージックフォルダを反転表示するか、708SCで録音した音声ファイルを反転表示してメニューから「ボイスレコーダー」を選択したときは、ボイスレコーダーが起動します。

ファイルビューアでドキュメントを確認する

データフォルダ内のドキュメント（PDF、XLS、DOC、PPT、TXTの各ファイル）を確認できます。データフォルダの一覧画面でこれらのファイルを選択すると、自動的にファイルビューアが起動します。

ドキュメントは、標準表示または全画面表示で確認できます。どちらの表示でも、メニューやショートカット（ボタン操作）を使って画面を操作できます。

標準表示

全画面表示

1 [●]を押し、「データフォルダ」を選択する

2 ファイルの保存場所を選択し、ファイルを選択する

3 メニューやショートカットを使って画面を操作する

画面をスクロールする場合は

[十字キー]を押す

全画面表示／標準表示に切り替える場合は

メニューから「全画面表示」または「標準表示」を選択する

画面を拡大／縮小する場合は

①メニューから「ズーム」を選択する

②「イン」または「アウト」を押して拡大／縮小する

ドキュメントの幅や高さに合わせた表示に切り替える場合は

メニューから「表示方法」を選択し、設定を選択する

ページを移動する場合は

メニューから「移動」を選択し、項目を選択する

ページ数を指定してページを移動する場合は

①メニューから「移動」を選択し、「ページ全体」を選択する

②ページ数を入力する

画面をキャプチャする場合は

メニューから「画面撮影」を選択する

画面を時計まわりに90度回転する場合は

①メニューから「回転」を選択する

②元に戻すときは、再度メニューから「回転」を選択する

ページ内の文字列を検索する場合は

①メニューから「検索」を選択する

②検索語を入力する

③続けて同じ検索語を文末に向かって検索するときは[3]、文頭に向かって検索するときは[1]を押す

ボタンに割り当てられたショートカットを確認する場合は

メニューから「ショートカット表示」を選択する

補足

- **画面をキャプチャすると**
  708SC本体のデータフォルダの「その他ファイル」フォルダにJPEG形式で保存されます。

ファイルビューアの設定を変更する

お買い上げ時 ■スクロール：10 ピクセル ■再流し込み：OFF ■マップする：ON ■コントローラ：ON ■名前：Capture

1 [●]を押し、「データフォルダ」を選択する

2 ファイルの保存場所を選択し、ファイルを選択する

3 メニューから「設定」を選択する

4 設定操作をする

[方向キー]を1回押したときのスクロール範囲を設定する場合は

①「スクロール」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

ファイルを画面幅に合わせて表示する場合は

①「再流し込み」を選択する

②「ON」を選択し、[●]（保存）を押す

表示エリアを示すマップの表示／非表示を設定する場合は

①「マップする」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

全画面表示のショートカットガイドの表示／非表示を設定する場合は

①メニューから「設定」を選択し、「コントローラ」を選択する

②設定を選択し、[●]（保存）を押す

保存時に付けられるファイル名を変更する場合は

①「名前」を選択する

②名称を入力する

補足

- **「再流し込み」を「ON」に設定すると**
  文字情報のファイル（docやtxt）をディスプレイの横幅に合わせて表示し直します。画面を上下にスクロールするだけで内容を確認できます。
- **「マップする」を「ON」に設定すると**
  画面の右下に、表示中のエリアがページ全体のどの位置になるかを示すマップが表示されます。表示中のエリアはマップ上では赤色で示されます。

ショートカットを使った画面操作について

ボタンを押すことにより、画面を操作できます。

ボタン	内　容
サイドキー[▲]	ズームイン
サイドキー[▼]	ズームアウト
[2]	最初のページに移動
[4]	前のページに移動
[5]	時計まわりに90度回転／元に戻す
[6]	次のページに移動
[8]	最後のページに移動
[*]	全画面表示／標準表示に切り替え

一覧画面や確認画面のメニュー操作について

画面操作用のメニュー以外の各項目については、「データフォルダのメニュー操作」（➲P.11-13）を参照してください。

注意

- **ページ数の多いドキュメントや複雑なデザインを含むドキュメントなどでは、ファイルをすべて表示できない場合があります。**
- **日本語や英語以外の言語がファイルに含まれている場合、正しく表示できない場合があります。**

SVG-T/Flash® ビューアでグラフィックス／アニメーションを確認する

データフォルダ内のSVG、SVGZ、SWF形式のファイルを確認できます。データフォルダの一覧画面でこれらのファイルを選択すると、自動的にSVG-T/Flash® ビューアが起動します。

グラフィックスやアニメーションは、標準表示または全画面表示で確認できます。どちらの表示でも、メニューやショートカット（ボタン操作）を使って画面を操作できます。

標準表示

全画面表示

1 ●を押し、「データフォルダ」を選択する

2 ファイルの保存場所を選択し、ファイルを選択する

3 メニューやショートカットを使って画面を操作する

全画面表示／標準表示に切り替える場合は
メニューから「全画面表示」または「標準表示」を選択する

画面を拡大／縮小する場合は
①メニューから「ズーム」を選択する
②✉（🔍+）、Y!（🔍−）を押して拡大／縮小する
③スクロールするときは✣を押す
④もとの画面に戻るときは、●を押す

Flash® 画像を一時停止／再開する場合は
メニューから「一時停止」または「再開」を選択する

画質を切り替える場合は
メニューから「画質」を選択し、項目を選択する

画面を左右に90度回転する場合は
メニューから「回転」を選択し、項目を選択する

補足

- **画像を壁紙に設定するには**
  標準表示で✉（設定）を押すか、全画面表示のメニューから「設定」を選択し、「壁紙（メインディスプレイ）」を選択します。

一覧画面や確認画面のメニュー操作について
画面操作用のメニュー以外の各項目については、「データフォルダのメニュー操作」（➔P.11-13）を参照してください。

ファイルを並べ替える

一覧画面の表示内容を、いろいろな方法で並べ替えることができます。

1 **一覧画面で、メニューから「並べ替え」を選択する**

2 **項目を選択する**

日付の新しい順に並べ替える場合は
「日付」を選択する

ファイル形式別に分けて並べ替える場合は
「ファイルタイプ」を選択する

ファイル名で並べ替える場合は
「名前」を選択する

ファイルのサイズの小さい順に並べ替える場合は
「サイズ」を選択する

コンテンツ・キーの状態を基準に並べ替える場合は
「コンテンツ・キー状態」を選択する

補足

- **一覧にフォルダが含まれているときは**
  どの基準で並べたときも、先頭にフォルダが表示されます。
- **「ファイルタイプ」を選択したときの並び順は**
  拡張子のアルファベット順で表示されます。
- **「名前」を選択したときの並び順は**
  数字→英字→日本語の順で表示されます。
- **「コンテンツ・キー状態」を選択したときの並び順は**
  著作権保護や転送の制限のないファイル→転送不可のファイル→著作権保護ファイル（コンテンツ・キー有効）→著作権保護ファイル（コンテンツ・キー期限切れ）→転送不可かつ利用不可のファイルの順に表示されます。

ファイルの利用

画像ファイルを各種の画面に設定する

画像ファイルをディスプレイの壁紙に設定したり、電話帳の着信画像やTVコールで使用する代替画像に設定したりできます。

1 一覧画面でファイルを反転表示し、[✉]（設定）を押す

画像を確認してから設定する場合は

一覧画面でファイルを反転表示して[●]（表示）を押し、[✉]（設定）を押す

2 設定操作をする

ディスプレイの壁紙に設定する場合は

「壁紙（メインディスプレイ）」を選択してプレビューを確認し、[●]（設定）を押す

電話帳の着信画像に設定する場合は

①「個別着信画像」を選択する

②設定する電話帳を検索して選択し、[●]（設定）を押す

代替画像に設定する場合は

①「TVコール代替画像」を選択する

②[●]（保存）を押す

補足

- **メモリカードに保存されているファイルを設定すると**
  ファイルを708SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認画面が表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- **静止画を編集するには（➲P.7-14）**
- **モバイルポストカードを作成するには（➲P.7-6）**
- **静止画を印刷するには（➲P.12-10）**

サウンドファイルを着信音に設定する

次の設定操作をすると、通常モード（➔P.3-2）の着信音の設定が変更されます。

1 ●を押し､｢データフォルダ｣を選択してファイルの保存場所を選択する

2 一覧画面でファイルを反転表示し、✉（設定）を押す

3 設定操作をする

音声電話の着信音に設定する場合は
「音声電話着信音」を選択する

TVコールの着信音に設定する場合は
「TVコール着信音」を選択する

電話帳の着信音に設定する場合は
①「発信者指定着信音」を選択する
②設定する電話帳を検索して選択する

S!メールやSMSの着信音に設定する場合は
「メール着信音」を選択する

補足

- **メモリカードに保存されているファイルを設定すると**
ファイルを708SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認画面が表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。
- **設定の制限について**
MP3、WAVファイルは著作権保護ファイルのみ設定できます。MPEG4 ファイルはオーディオコーデックが AAC、AAC+、Enhanced AAC+の場合、著作権保護ファイルのみ設定できます。

動画ファイルを着信音に設定する

次の操作をすると、通常モード（➔P.3-2）の着信音の設定が変更されます。

1 ●を押し､｢データフォルダ｣を選択してファイルの保存場所を選択する

2 一覧画面でファイルを反転表示し、✉（設定）を押す

3 設定操作をする

音声電話の着信音に設定する場合は

「音声電話着信音」を選択する

TVコールの着信音に設定する場合は

「TVコール着信音」を選択する

電話帳の着信音に設定する場合は

「発信者指定着信音」を選択する

補足

- **設定の制限について**
  MPEG4(mp4、3gp)ファイルのオーディオコーデックがAAC、AAC+、Enhanced AAC+の場合は、著作権保護ファイルのみ設定できます。

Flash® ファイルを壁紙に設定する

1 [●]を押し、「データフォルダ」→「その他ファイル」の順に選択する

Flash® 画像を確認してから設定する場合は

一覧画面でファイルを反転表示して[●](表示)を押し、[✉](設定)を押す

2 一覧画面でファイルを反転表示し、[✉](設定)を押す

3 「壁紙(メインディスプレイ)」を選択する

4 プレビューを確認し、[●](設定)を押す

vファイルを各機能に取り込む

vファイルとは、電話帳などの情報をインターネット経由で交換するためのファイル形式の規格です。708SCでは、電話帳の情報を交換するためのvCard(拡張子:vcf)と、スケジュール/ToDoの情報を交換するためのvCalendar(拡張子:vcs)のファイル形式を利用できます。

データフォルダに保存されているvファイルを、電話帳やカレンダーに登録します。

1 [●]を押し、「データフォルダ」を選択してファイルの保存場所を選択する

2 一覧画面でファイルを選択し、[●](登録)を押す

データフォルダのメニュー操作

一覧画面や確認中の画面のメニューから、次の操作ができます。表示されるメニューは、ファイルやフォルダの種類によって異なります。

ファイルビューアおよびSVG-T/Flash® ビューアの画面操作に使用するメニューについては、「ファイルビューアでドキュメントを確認する」(➔P.11-5)、「SVG-T/Flash® ビューアでグラフィックス/アニメーションを確認する」(➔P.11-8)を参照してください。

メニュー	内　容
画像編集/動画編集	静止画や動画を編集できます(➔P.7-14、7-16)。
ダイナミックエフェクト/ダイナミックエフェクトリスト	静止画を利用してFlash® 画像を作成します(➔P.7-17)。
全画面表示	静止画をディスプレイ全体に表示します(➔P.11-4)。
再生	ファイルを再生します。再生画面の場合は、「本体」を選択すると再生音をスピーカーから鳴らします。「AVヘッドフォン」を選択すると、再生音をBluetooth® 対応のステレオヘッドフォンなどから鳴らします(➔P.12-5)。
AVヘッドフォンで聴く	ファイルの再生音を鳴らす位置をBluetooth® 対応のステレオヘッドフォンなどに切り替えます(➔P.12-5)。
電話帳登録	vCardファイルを電話帳に取り込みます(➔P.11-12)。
カレンダーに登録	vCalendarファイルをカレンダーに取り込みます(➔P.11-12)。
送信	ファイルを送信します。「メール」を選択すると、ファイルを添付したメールを作成できます(➔P.17-5)。「Bluetooth」を選択すると、Bluetooth® 通信の相手を選択して送信できます(➔P.12-5)。
mPostカード	静止画を使って、モバイルポストカードを作成できます(➔P.7-6)。
ズーム	確認中の静止画を、拡大/縮小できます(➔P.11-3)。
メモリカード/本体	メモリカードを取り付けているときに、表示をメモリカード/708SC本体に切り替えます。
並べ替え	一覧画面の表示順を並べ替えます(➔P.11-9)。
移動	ファイルを708SC本体の別のフォルダ内やフォルダの外、またはメモリカードに移動します。
コピー	ファイルのコピーを作成し、708SC本体の別のフォルダ内やフォルダの外、またはメモリカードに貼り付けます。

メニュー	内　容
優先メモリ設定	メモリカードを取り付けたとき、静止画、動画、ダウンロードしたデータなどが保存されるメモリを設定します。「毎回確認」を設定したときは、保存するたびに保存先を選択します。
プレイリストに追加	ファイルをプレイリストに追加します。
削除	ファイルを削除します（➔P.11-18）。
フォルダ削除	フォルダを削除します（➔P.11-18）。
カメラ起動	静止画撮影モードのカメラを起動します（➔P.11-4）。
ビデオカメラ起動	動画撮影モードのカメラを起動します（➔P.11-4）。
ボイスレコーダー	ボイスレコーダーを起動します（➔P.11-4）。
ファイル名変更	ファイル名を変更します（➔P.11-15）。
フォルダ名変更	フォルダ名を変更します（➔P.11-15）。
ファイル名非表示／ファイル名表示	ピクチャーフォルダの一覧画面をサムネイル表示にしているとき、フォルダやファイルを反転表示してフォルダ名やファイル名を表示させるかどうかを設定できます。
表示形式	ピクチャーフォルダの一覧画面の表示方法を切り替えます。「一覧」を選択すると、フォルダやファイルをリスト表示にできます。「サムネイル表示」を選択すると、サムネイル表示にできます。
フォルダ作成	新しいフォルダを作成します（➔P.11-15）。

メニュー	内　容
印刷	静止画をUSB接続またはBluetooth® 通信で接続したプリンタで印刷します（➔P.12-6、12-10）。
保護／保護解除	保護すると、ファイル名の変更やファイルの移動、削除などが制限されます。
コンテンツ・キー再取得	著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得します。
詳細	ファイルやフォルダの詳細を確認できます。
メモリカード設定	メモリカードを取り付けてメモリカードのデータフォルダを表示している場合は、メモリカードの詳細情報確認、フォーマット（初期化）、表示名変更ができます（➔P.11-22、11-22、11-22）。
コンテンツ・キー情報	データフォルダ内のファイルのコンテンツ・キー一覧を呼び出して管理できます。「削除」を選択すると、コンテンツ・キーを削除できます（➔P.11-19）。「詳細」を選択すると、各コンテンツ・キーの詳細を確認できます。

ファイル／フォルダの管理

フォルダを作成する

種別フォルダ内にサブフォルダを作成できます。

1 ●を押し、「データフォルダ」を選択する

2 サブフォルダを作成したい種別フォルダを選択する

3 メニューから「フォルダ作成」を選択する

4 名前を入力する

ファイル名／フォルダ名を変更する

ファイル名や自分で作成したサブフォルダの名前を変更できます。

1 ●を押し、「データフォルダ」を選択する

2 種別フォルダを選択し、名前を変更したいサブフォルダまたはファイルを反転表示する

3 メニューから「フォルダ名変更」または「ファイル名変更」を選択する

4 名前を入力する

補足

- **ファイルが保護されていると**
  ファイル名を変更できません。

ファイル／フォルダを移動する

ファイルやフォルダを移動できます。メモリカードを取り付けている場合は、708SC本体とメモリカードの間でも移動操作ができます。

1 [●]を押し、「データフォルダ」を選択する

2 種別フォルダを選択し、移動したいサブフォルダまたはファイルを反転表示する

3 メニューから「移動」を選択する

4 移動の操作をする

1件または同一フォルダ内の全ファイル／自分で作成したすべてのサブフォルダを移動する場合は

「1件」または「全件」を選択する

複数のファイル／自分で作成したサブフォルダを選択して移動する場合は

①「複数」を選択する

②移動するファイルまたは自分で作成したサブフォルダをチェックありにし、[✉]（移動）を押す

5 移動先のフォルダを選択し、「ここに移動」を選択する

メモリカードを取り付けている場合は

①「本体」または「メモリカード」を選択する

②移動先のフォルダを選択し、「ここに移動」を選択する

補足

- **まとめて「チェックあり」／「チェックなし」にするには**
  すべてのファイルやフォルダをチェックあり、またはチェックなしにしたいときは、[Y!]（全チェック）または[Y!]（チェック全解除）を押します。
- **ファイルが保護されていると**
  移動できません。
- **移動先にすでに同名のファイル／フォルダがあったときは**
  移動するファイルまたはフォルダの名前を変える必要があります。表示された文字入力画面に新しい名前を入力してください。
- **ファイルが画面表示や着信音に設定されているときは**
  1件のファイルをメモリカードへ移動するときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると移動が完了し、設定は解除されます。
  複数または全件のファイルをメモリカードに移動するときは、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると移動が完了し、設定は解除されます。「いいえ」を選択すると、画面表示や着信音に設定されているファイル以外を移動します。このため、設定は解除されません。移動を中止するときは[Clear]を押します。

注意

- 708SCでダウンロードしたファイルは、他の携帯電話に移動したときや708SCに異なるUSIMカードを挿入したときには、表示や再生ができない場合があります。
- 転送不可かつ利用不可ファイル（ ）、保護ありファイル（ ）、転送不可の著作権保護ファイル（ 、 ）はメモリカードに移動できません。
- 転送不可ファイル（ ）はメモリカードに移動すると転送不可の著作権保護ファイル（ ）として保存されます。

ファイル／フォルダをコピーする

コピーを作成して、別のフォルダ内またはフォルダの外に貼り付けることができます。メモリカードを取り付けている場合は、708SCとメモリカードの間でも貼り付け操作ができます。

1 ● を押し、「データフォルダ」を選択する

2 コピーしたいフォルダまたはファイルを反転表示し、メニューから「コピー」を選択する

3 コピー対象の指定と貼り付けの操作をする

1件または同一フォルダ内の全ファイル／全フォルダをコピーする場合は

「1件」または「全件」を選択する

複数のファイル／フォルダを選択してコピーする場合は

①「複数」を選択する

②移動するファイルまたはフォルダをチェックありにし、 ✉ （コピー）を押す

4 コピー先のフォルダを選択し、「ここにコピー」を選択する

メモリカードを取り付けている場合は

①「本体」または「メモリカード」を選択する

②コピー先のフォルダを選択し、「ここにコピー」を選択する

補足

- **まとめて「チェックあり」／「チェックなし」にするには**
  （➲P.11-16）
- **ファイル／フォルダのコピーをコピー元と同じ場所に貼り付けると**
  貼り付けたファイルまたはフォルダに、自動的に「_001」などが付き、別名で保存されます。
- **貼り付け先にすでに同名のファイル／フォルダがあったときは**
  貼り付けるファイルまたはフォルダの名前を変える必要があります。表示された文字入力画面に新しい名前を入力してください。

注意

- 転送不可のファイルはコピーできません。

ファイル／フォルダを削除する

ファイルを削除する

1 ●を押し、「データフォルダ」を選択する

2 一覧画面でファイルを反転表示し、メニューから「削除」を選択する

3 削除対象の指定と削除の操作をする

1件のファイルを削除する場合は

「1件」を選択し、「はい」を選択する

同一フォルダ内の全ファイルを削除する場合は

①「全件」を選択する

②暗証番号を入力して●（確認）を押し、「はい」を選択する

複数のファイルを選択して削除する場合は

①「複数」を選択する

②削除するファイルをチェックありにして ✉（削除）を押す

③暗証番号を入力して●（確認）を押す（すべてチェックありにした場合のみ）

④「はい」を選択する

補足

- **まとめて「チェックあり」／「チェックなし」にするには**（➲P.11-16）
- **ファイルが壁紙や着信音などに設定されている／保護されているときは**
  確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、削除が実行されます。複数または全件削除する場合は、「いいえ」を選択すると設定や保護のないファイルのみが削除されます。
- **ファイルにコンテンツ・キーがあるときは**
  コンテンツ・キーがあるファイルを削除すると、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、コンテンツ・キーも削除されます。

自分で作成したサブフォルダを削除する

1 ●を押し、「データフォルダ」を選択する

2 種別フォルダを選択し、削除したい自分で作成したサブフォルダを反転表示し、メニューから「フォルダ削除」を選択する

3 暗証番号を入力して●（確認）を押し、「はい」を選択する

サブフォルダにファイルが保存されていない場合は

暗証番号を入力する必要はありません。

補足

- **フォルダ内に壁紙や着信音などに設定されている／保護されているファイル／著作権保護ファイルが含まれているときは**
  確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、フォルダの削除が実行されます。「いいえ」を選択すると、設定や保護のないファイルのみが削除され、フォルダは削除されません。
- **フォルダ内のファイルにコンテンツ・キーがあるときは**
  確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、コンテンツ・キーも削除されます。

コンテンツ・キーを削除する

1 [●]を押し、「データフォルダ」を選択する

2 メニューから「コンテンツ・キー情報」を選択する

3 削除操作をする

1件のコンテンツ・キーを削除する場合は
「1件」を選択する

すべてのコンテンツ・キーを削除する場合は
「全件」を選択する

メモリカードの利用

708SCはmicroSD™メモリカードに対応しています。メモリカードを利用する場合は、市販のmicroSD™メモリカードを購入してください。

注意

- **大切なデータを失わないために**
  メモリカードに登録した内容は、事故や故障などにより消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **microSD™ メモリカードには、ライトプロテクトがありません。データの消去や上書きなどにご注意ください。**

補足

- **利用できるメモリカードについて**
  708SCで利用するmicroSD™メモリカードは、64Mバイト、128Mバイト、256Mバイト、512Mバイト、1Gバイトのメモリカードを推奨します。

メモリカードの取り扱いについて

次の点にご注意ください。

- 推奨のものを使用してください。推奨以外のメモリカードを使用すると、正しく動作しないことがあります。
- ラベルやシールなどを貼り付けないでください。メモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラベルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 分解や改造などをしないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水にぬらすなどしないでください。
- 端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる所、湿度が高い所、ほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- 火気に近づける、火の中に投げ込むなどしないでください。
- メモリカードには寿命があります。長期間使用するとデータが書き込めなくなることがあります。

メモリカードを取り付ける／取り外す

取り付けや取り外しをするときは、必ず電源を切ってください。

取り付ける

1 メモリカードスロットのカバーを開く

2 メモリカードの端子部分を上にしてメモリカードスロットに差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込む

3 メモリカードスロットのカバーを閉じる

取り外す

1 メモリカードスロットのカバーを開き、「カチッ」と音がするまでメモリカードを軽く押し込む

2 メモリカードを離し、メモリカードが少し飛び出したら取り出す

3 メモリカードスロットのカバーを閉じる

補足

- **操作中にメモリカードを取り外すと**
  データフォルダを表示中に取り外すと、708SC本体のデータフォルダに表示が切り替わります。
- メモリカードにデータをバックアップするには（➔P.11-16、11-17）

注意

- 無理に取り付けたり取り外したりすると、メモリカードや708SCが破損することがありますのでご注意ください。
- 取り外したメモリカードは、紛失しないようご注意ください。
- メモリカードの取り付けや取り外しを行うときは、端子部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。
- データの読み込み中や書き込み中は絶対にメモリカードや電池パックを取り外さないでください。メモリカードや708SCが破損することがあります。

メモリカードの表示名を変更する

メモリカードの詳細情報を表示したときに表示される名前を変更できます。

1 ● を押し、「設定」→「メモリ設定」→「メモリカード」→「メモリカード名変更」の順に選択する

2 名前を入力する

メモリカードの詳細情報を表示する

メモリカードの名前、メモリ容量、メモリ残量を確認できます。

1 ● を押し、「設定」→「メモリ設定」→「メモリカード」→「メモリカードの詳細」の順に選択する

メモリカードをフォーマット（初期化）する

1 ● を押し、「設定」→「メモリ設定」→「メモリカード」→「メモリカードのフォーマット」の順に選択する

2 暗証番号を入力し、●（確認）を押して「はい」を選択する

外部接続

外部接続について

Bluetooth® 対応機器との間でケーブル不要の送受信ができます。708SC とパソコンをUSB ケーブルで接続してデータを送受信したり、プリンタと接続して静止画を印刷したりすることもできます。

Bluetooth®

708SCなどBluetooth® 対応の携帯電話や他のBluetooth® 対応機器と無線で接続し、データの送受信ができます。ハンズフリー機器と接続すれば、708SCを手もとで操作することなく通話できます。ダイヤルアップ接続機器と接続して、インターネットなどにアクセスすることもできます。

Bluetooth® 通信をご利用になる前に

Bluetooth® 通信を利用するには、相手機器もBluetooth® 対応機器であり、同じプロファイルに対応している必要があります。

708SCのBluetooth® の仕様は次のとおりです。

項　目	仕　様
通信方式	Bluetooth® 標準規格Ver.1.2
対応プロファイル	Headset Profile Hands-Free Profile Serial Port Profile Dialup Networking Profile File Transfer Profile Object Push Profile Advanced Audio Distribute Profile Audio/Video Remote Control Profile Basic Imaging Profile[1] Basic Printing Profile
出力	Bluetooth® Power Class2
見通し通信距離[2]	約10 m以内
使用周波数帯	2.4 GHz

1　プリント機能にのみ対応するプロファイルです。
2　相手機器との間の障害物や電波状況などによって変化します。

Bluetooth® 利用時のご注意

- 708SCはすべてのBluetooth® 機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。
- 相手機器がBluetooth® 標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、操作方法や表示、動作などが異なったり、データの送受信ができなかったりすることがあります。

- Bluetooth® 対応機器が使用する電波帯（2.4GHz）は、いろいろな機器が共有して使用する電波帯です。このため、他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下したり、通信が切断されることがあります。
- ワイヤレス通話やハンズフリー通話をするときに、接続機器や通信環境により、雑音が入ることがあります。
- Bluetooth®対応のステレオヘッドフォンやヘッドセットに接続しているときは、他の機器に接続することはできません。
- USB機能とBluetooth® 機能は同時に利用できません。
- 708SCにUSBケーブルを接続するときは、Bluetooth® 機能をOFFにする必要があります。

補足

- **利用できるBluetooth® の機能を確認するには**
  ①[●]を押し、「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「Bluetoothサービス説明」の順に選択する
  ②項目を選択し、内容を確認する
- **708SCの機器アドレスを確認するには**
  [●]を押し、「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「マイデバイス設定」の順に選択します。

データを送受信する

電話帳、オーナー情報、スケジュール、ToDo、静止画、動画、音声ファイル、vファイルなどを送受信できます。

Bluetooth® 機能をON／OFFする

お買い上げ時 ■OFF

「ON」にするとBluetooth® 対応機器と接続できるようになり、ディスプレイの最上段に[Bluetoothアイコン]が表示されます。

1 [●]を押し、「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「ON／OFF設定」の順に選択する

2 設定を選択する

Bluetooth® 対応機器を検索して登録する

接続したいBluetooth® 対応機器を周辺デバイスリストに登録します。最大10件登録できます。登録時には、708SCと相手機器とで同じパスキーを入力する必要があります。

あらかじめ、相手機器のBluetooth® 機能を有効にしてから操作してください。

1 [●]を押し、「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「周辺デバイス」の順に選択する

2 「周辺デバイス検索」を選択する

3 検索に応答した機器が表示されたら、登録する機器を選択する

4 パスキー（4～16桁）を入力し、[●]（OK）を押す

5 相手機器側で30秒以内に同じパスキーを入力する

補足

- **パスキーとは**
  Bluetooth® 対応機器どうしが接続するためのパスワードです。相手がハンズフリー機器などの場合は、ハンズフリー機器側で決められているパスキーを入力します。一度登録した機器は、次回からはパスキーの入力が不要になります。
- **相手機器との認証が正常に行われなかったときは**
  もう一度認証を行うかどうかの確認メッセージが表示されます。行うときは、「はい」を選択して操作4からやり直してください。
- **周辺デバイスがすでに10件登録されているときは**
  登録済みのデバイスがいっぱいである旨のメッセージが表示されます。
- **利用できるBluetooth® の機能をデバイスごとに確認するには**
  ① [●]を押し、「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「周辺デバイス」の順に選択する
  ② デバイスを反転表示し、メニューから「サービスリスト」を選択する
  ③ 項目を反転表示し、メニューから「ヘルプ」を選択して内容を確認する
- **周辺デバイスの登録名を変更するには**
  ① [●]を押し、「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「周辺デバイス」の順に選択する
  ② デバイスを反転表示し、メニューから「デバイス名変更」を選択する
  ③ 名前を入力する
- **周辺デバイスから削除するには**
  ① [●]を押し、「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「周辺デバイス」の順に選択する
  ② デバイスを反転表示し、メニューから「削除」→「1 件」または「全件」の順に選択する
  ③ 暗証番号を入力して[●]（確認）を押し（「全件」の場合のみ）、「はい」を選択する
- **他のBluetooth® 機器から検索／登録できるようにするには**
  （➲P.12-8）

周辺デバイスリストに表示されるアイコンについて

デバイス名の前には、次のようなアイコンが表示されます。

：パソコン　：携帯電話

：ハンズフリー機器／ヘッドセット

：PDA　：プリンタ　：その他

他のBluetooth® 対応機器からの接続要求について

他のBluetooth® 機器からの接続要求がある旨のメッセージが表示されたときは、「はい」を選択し、30秒以内に相手側と同じパスキーを入力します。

すでに登録済みのハンズフリー機器などから接続要求があったときは、自動的に接続されます。

ファイルを送信する

各機能の画面から、メニューを使って送信します。受信側が通信を承認すると、送信が始まります。

1 送信操作をする

データフォルダからファイルを送信する場合は

①一覧画面でメニューから「送信」→「Bluetooth」の順に選択する

②送信するファイルをチェックありにし、✉（送信）を押す

データフォルダ以外から送信する場合は

①各機能の一覧画面で送信するデータを反転表示する

②メニューから「送信」→「Bluetooth」の順に選択する

2 送信先のデバイスを選択する

送信先が登録されていない場合は

「周辺デバイス検索」を選択して検索し、登録する（➲P.12-3）

補足

- **内容を確認してから送信するには**
  機能によっては、詳細画面や再生画面のメニューからも送信できます。

ファイルを1件受信する

送信側からの接続を承認するとファイルの受信が開始され、データフォルダに保存されます。

1 確認画面が表示されたら「はい」を選択する

ステレオヘッドフォンなどで音楽を聴く

メディアプレイヤーの再生音をBluetooth® 対応のステレオヘッドフォンやヘッドセットに接続して聴くことができます。

1 メディアプレイヤーでメロディまたは動画を再生する（➲P.10-3、10-9）

2 メニューから「AVヘッドフォンで聴く」を選択する

3 接続先のデバイスを選択する

接続先が登録されていない場合は

「周辺デバイス検索」を選択して検索し、登録する（➲P.12-3）

補足

- **メロディを停止中に操作するには**
  ①メロディ再生画面で、メニューから「再生」→「Bluetooth」の順に選択する
  ②接続先のデバイスを選択し、接続先が登録されていない場合は「周辺デバイス検索」を選択して登録する（➲P.12-3）

データフォルダ内の静止画やvファイルを印刷する

Bluetooth® 対応のプリンタに接続し、708SCからの操作でデータフォルダ内の静止画やvファイルを直接印刷できます。用紙や印刷枚数なども708SCで設定できます。

プリンタ側の操作や用紙のセット方法については、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

1 データフォルダの一覧画面でメニューから「印刷」→「Bluetooth」の順に選択する

2 印刷するファイルをチェックありにし、✉（印刷）を押す

3 送信先のデバイスを選択する

送信先が登録されていない場合は

「周辺デバイス検索」を選択して検索し、登録する（➲P.12-3）

4 設定操作をする

用紙サイズを設定する場合は

「用紙サイズ」を選択し、設定を選択する

印刷枚数を設定する場合は

「印刷部数」を選択し、枚数（1～99）を入力して●（OK）を押す

1枚の用紙に何面印刷するかを設定する場合は

①「ページ形式」を選択し、設定を選択する

②①で「控え」を選択した場合は「割り付けページ数」を選択し、設定（1～16up）を選択する

日付を印刷するかどうかを設定する場合は

「日付の印刷」を選択し、設定を選択する

フチのあり／なしを設定する場合は

「境界線」を選択し、設定を選択する

印刷品質を設定する場合は

「印刷品質」を選択し、設定を選択する

5 ●（Preview）を押す

6 プレビュー画面を確認し、●（印刷）を押す

接続したデバイスのデータを参照する

相手デバイスの共有フォルダや共有ファイルを参照できます。参照している側からの操作で、データを受信したり削除したりすることもできます。

1 ●を押し、「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「周辺デバイス」の順に選択する

2 デバイスを選択する

3 参照される側で接続の承認操作をする

補足

- **参照しているファイルを受信するには**
  操作3のあと、受信するファイルを選択します。

受信したファイルの保存場所について

受信したファイルは、自動的にデータフォルダに保存されます。JPEGファイルやBMPファイルはピクチャーフォルダ、vファイルは「その他ファイル」フォルダに保存されるなど、保存先となる種別フォルダはファイル形式によって異なります。

ハンズフリー機器などを接続する

あらかじめ、「Bluetooth® 対応機器を検索して登録する」(➔P.12-3)の操作をしてハンズフリー機器を登録してください。

接続要求待機状態にする

次の操作をすると、ハンズフリー機器と接続要求待機状態になります。

1 ●を押し、「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「周辺デバイス」の順に選択する

2 ハンズフリー対応機器を選択する

パスキーの入力画面が表示された場合は

708SCとハンズフリー機器とで、同じパスキーを入力する

着信時の応答方法を設定する

お買い上げ時 ■通常

電話がかかってきたときに708SCでボタン操作をしなくても応答できるようにするには、「自動応答」に設定します。

1 ●を押し、「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「着信応答モード」の順に選択する

2 設定を選択する

補足

- **自動的に着信するまでの秒数を設定するには**
  操作1のあと、「自動応答」を選択し、秒数を選択します。

ハンズフリーモードを設定する

お買い上げ時 ■ハンズフリーモード

ハンズフリー機器を接続した場合の、通話の開始方法を設定します。

1 ●を押し、「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「ハンズフリー設定」の順に選択する

2 設定を選択する

補足

- **プライベートモード設定時は**
  708SCで発着信した場合は、708SCで通話します。ハンズフリー機器から発着信した場合は、ハンズフリー機器で通話します。
- **ハンズフリーモード設定時は**
  すべてハンズフリー機器で通話します。

Bluetooth® の設定を変更する

他のBluetooth® 機器から検索／登録できるようにする

お買い上げ時 ■ON

相手のBluetooth® 機器側から検索と登録をする場合は「ON」に設定し、お客様の708SCを公開する必要があります。

1 ●を押し、「設定」→「外部接続」→「Bluetooth」→「公開設定」の順に選択する

2 設定を選択する

708SCの表示名を変更する

お買い上げ時 ■708SC

相手機器に表示されるお客様の708SCの名前を変更できます。

1 [●]を押し､｢設定｣→｢外部接続｣→｢Bluetooth｣→「マイデバイス設定」の順に選択する

2 「デバイス名称」を選択する

3 名前を修正し、[●]（OK）を押す

データ転送時の認証を設定する

お買い上げ時 ■ON

「ON」に設定すると、データを送信するときに確認のメッセージが表示されます。

1 [●]を押し､｢設定｣→｢外部接続｣→｢Bluetooth｣→「データ転送認証」の順に選択する

2 設定を選択する

USB接続

708SCをUSBケーブルでパソコンと接続し、データを送受信することができます。プリンタと接続して静止画を印刷することもできます。

パソコンに接続する

次のような操作ができます。

- パソコン側からの操作で708SCのデータフォルダのファイルを転送する
- パソコン側から送信されたファイルを受信し､データフォルダに保存する
- パケット通信をする

USB接続をご利用になる前に

708SCをUSBケーブルでパソコンと接続する前に、USBドライバとSamsung PC Studioをインストールする必要があります。インストール手順やご利用いただけるパソコンの動作環境などについては付属のCD-ROMのユーザーズガイドを参照してください。

プリンタに接続する

USB ケーブルで PictBridge 対応のプリンタに接続し、708SCからの操作でデータフォルダ内の静止画を直接印刷できます。用紙や印刷枚数なども708SCで設定できます。

プリンタ側の操作や用紙のセット方法については、プリンタに付属の取扱説明書を参照してください。

データフォルダ内の静止画を印刷する

1 データフォルダの一覧画面で静止画ファイルを反転表示する

2 メニューから「印刷」→「USB」の順に選択する

3 708SCとプリンタをUSBケーブルで接続する

4 設定操作をする

用紙サイズを設定する場合は

「用紙サイズ」を選択し、設定を選択する

印刷枚数を設定する場合は

「印刷部数」を選択し、枚数（1～99）を入力して[●]（OK）を押す

1枚の用紙に何面印刷するかを設定する場合は

①「ページ形式」を選択し、設定を選択する

②①で「控え」を選択した場合は「割り付けページ数」を選択し、設定（1～16up）を選択する

日付を印刷するかどうかを設定する場合は

「日付の印刷」を選択し、設定を選択する

フチのあり／なしを設定する場合は

「境界線」を選択し、設定を選択する

印刷品質を設定する場合は

「印刷品質」を選択し、設定を選択する

5 [●]（OK）を押す

6 プレビュー画面を確認し、[●]（印刷）を押す

注意

- 印刷中は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。

12 外部接続

マストレージ

メモリカードを取り付けた状態で708SCとパソコンをUSBケーブルで接続することで、パソコンからメモリカードにアクセスしてデータの読み書きができます。

パソコンに接続する

1 ● を押し、「設定」→「外部接続」→「マストレージ」の順に選択する

2 暗証番号を入力し、● （確認）を押す

3 708SCとパソコンをUSBケーブルで接続する

4 パソコンからデータの読み書きを行う

補足

- **マストレージでの利用中は**
  オフラインモードになります。

パソコンから取り外す

1 接続中に Y! （終了）を押す

2 パソコンからハードウェアデバイスの取り外し操作を行う

3 USBケーブルを取り外す

注意

- 取り外しの操作を行うまでは、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。

12

外部接続

セキュリティ

暗証番号の変更

お買い上げ時 ■9999

1 ●を押し、「設定」→「セキュリティ設定」→「暗証番号変更」の順に選択する

2 現在の暗証番号を入力し、●（確認）を押す

3 新しい暗証番号（4桁）を入力し、●（確認）を押す

4 もう一度、新しい暗証番号を入力し、●（確認）を押す

PINコードの設定

PINコードはUSIMカードの暗証番号です。詳しくは「USIMカードのお取り扱い」（➲P.1-2）を参照してください。

PIN／PIN2コードを変更する

1 ●を押し、「設定」→「セキュリティ設定」→「PINコード変更」または「PIN2コード変更」の順に選択する

2 現在のPINコードまたはPIN2コードを入力し、●（確認）を押す

3 新しいPINコードまたはPIN2コード（4～8桁）を入力し、●（確認）を押す

4 もう一度、新しいPINコードまたはPIN2コードを入力し、●（確認）を押す

注意

- 起動時PIN認証（➲P.13-3）が「無効」に設定されていると、PINコードを変更できません。

起動時PIN認証

お買い上げ時 ■有効

電源を入れるたびにPINコードによる認証をするようにしたい場合は、「有効」に設定してください。

1 [●]を押し、「設定」→「セキュリティ設定」→「起動時PIN 認証」の順に選択する

2 設定を選択し、[●]（保存）を押す

3 PINコードを入力し、[●]（確認）を押す

PINロックを解除する

PINコードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違えると、PINロックまたはPIN2ロックが設定され、708SCの使用が制限されます。PINロックまたはPIN2ロックを解除するときは、次の操作を行います。

1 PINロック解除コード（PUKコード）の入力画面が表示されている状態で、PUKコードを入力し、[●]（確認）を押す

2 新しいPINコードまたはPIN2コード（4〜8桁）を入力し、[●]を押す

3 もう一度、新しいPINコードまたはPIN2コードを入力し、[●]を押す

注意

- PINロック解除コードまたはPIN2ロック解除コード（PUK／PUK2コード）については、お問い合わせ先（➲P.26-23）までご連絡ください。
- PINロック解除コードを10回続けて間違えると、USIMカードがロックされます（途中で電源を切っても連続として数えます）。
- USIMカードがロックされた場合、ロックを解除する方法はありません。お問い合わせ先（➲P.26-23）までご連絡ください。

USIM照合

お買い上げ時 ■無効

お客様の708SCに他のUSIMカードが取り付けられたとき、USIMパスワードを入力しないと使用できないように設定できます。

1 ●を押し、「設定」→「セキュリティ設定」→「USIM照合」の順に選択する

2 設定を選択し、●（保存）を押す

3 USIMパスワード（4～8桁の任意の番号）を入力し、●（確認）を押す

「無効」に設定する場合は

設定が保存され、操作が終了する

「有効」に設定する場合は

操作4に進む

4 もう一度、USIMパスワードを入力し、●（確認）を押す

補足

- **USIMパスワードとは**
  USIMカードの認証に使用する専用のパスワードです。USIMパスワードが一致すれば、他のUSIMカードでも708SCを使用できます。
  USIMパスワードは、USIM照合を「有効」に設定するたびに変えられます。
- **USIMパスワードを忘れたときは**
  USIM照合を「有効」に設定した際のUSIMカードを708SCに取り付けて、オールリセット（➔P.13-10）を行ってください。

無断で利用されたくないとき

簡易ロック

お買い上げ時 ■無効

「有効」に設定すると、電源を入れるごとに暗証番号の入力が必要になります。

1 ●を押し、「設定」→「セキュリティ設定」→「簡易ロック」の順に選択する

2 設定を選択し、●（保存）を押す

3 暗証番号を入力し、●（確認）を押す

パスワードロック

お買い上げ時 ■無効

「有効」に設定すると、待受画面にソフトキーが表示されなくなります。いずれかのボタンを押すと暗証番号の入力画面が表示され、暗証番号を入力するとパスワードロックが解除されて708SCを操作できます。

1 [●]を押し、「設定」→「セキュリティ設定」→「パスワードロック」の順に選択する

2 設定を選択し、[●]（保存）を押す

3 暗証番号を入力し、[●]（確認）を押す

補足

- **パスワードロックを解除すると**
  パスワードロックは自動的に「無効」になります。

プライバシーロック

お買い上げ時 ■ロックされていません

プライバシーロックを設定すると、メール、データフォルダ、電話帳、通話履歴、カレンダーの各機能を呼び出すごとに暗証番号の入力が必要になります。

1 [●]を押し、「設定」→「セキュリティ設定」→「プライバシーロック」の順に選択する

2 ロックする機能をチェックありにし、[✉]（保存）を押す

3 暗証番号を入力し、[●]（確認）を押す

シークレットモード設定

お買い上げ時 ■非表示

「非表示」に設定すると、電話帳の一覧画面を表示したときに、シークレットモードを「ON」に設定した登録内容が表示されなくなります。

1 ●を押し、「設定」→「セキュリティ設定」→「シークレットモード設定」の順に選択する

2 暗証番号を入力し、●（確認）を押す

3 設定を選択し、●（保存）を押す

補足

- 「シークレットモード設定」を「表示」に設定しても、708SCの電源を入れ直すと「非表示」に設定されます。

モバイルトラッカー

お買い上げ時 ■OFF

「ON」に設定すると、設定したときと異なるUSIMカードが取り付けられたとき、指定した宛先にSMSを送信してお知らせします。宛先は2件まで指定できます。

1 ●を押し、「設定」→「セキュリティ設定」→「モバイルトラッカー」の順に選択する

2 暗証番号を入力し、●（確認）を押す

3 設定欄を選択する

4 「ON」を選択し、●（選択）を押す

5 宛先欄を選択し、宛先の入力操作をする

電話帳から宛先を選択する場合は

①To欄を反転表示してメニューから「電話帳」を選択する

②電話帳を検索し、選択する（➲P.5-8）

③電話番号を反転表示し、●（選択）を押す

電話番号を直接入力する場合は

①To欄を反転表示してメニューから「直接入力」を選択する

②電話番号を入力する

6 ✉（完了）を押す

7 送信者欄を選択し、送信者名を入力する

8 ✉（保存）を押す

9 表示内容を確認して✉（許可）を押す

補足

- **宛先を削除するには**
  操作5のあと、宛先を反転表示し、メニューから「削除」を選択します。

異なるUSIMカードが取り付けられると

USIMカードを差し替えて電源を入れると、起動中に、指定した宛先にSMSが送信されます。USIMカードを差し替えた相手には気づかれません。モバイルトラッカーを「OFF」に設定するときに暗証番号を3回続けて間違えた場合も、SMSが送信されます。

番号通知のない着信／迷惑電話を拒否する（着信拒否）

発信者番号を通知してこない着信や、発信者番号を通知できない着信を拒否できます。また、迷惑電話などは、その電話番号を着信拒否リストに登録することにより、着信拒否できます。

非通知着信の許可／拒否を設定する

お買い上げ時 ■OFF

1. ●を押し、「設定」→「通話設定」→「音声・TVコール共通」→「着信拒否」の順に選択する
2. 非通知着信拒否欄を選択する
3. 設定を選択し、●（OK）を押す
4. ✉（保存）を押す

電話番号が通知不可能な着信の許可／拒否を設定する

お買い上げ時 ■OFF

海外からの国際電話や、一般電話から転送電話サービスなどを経由してかかってきた電話など、発信者番号の通知が不可能な電話の着信を許可／拒否します。

1 [●]を押し、「設定」→「通話設定」→「音声・TVコール共通」→「着信拒否」の順に選択する

2 拒否利用不可欄を選択する

3 設定を選択し、[●]（OK）を押す

4 [✉]（保存）を押す

着信拒否する電話番号を登録する

1 [●]を押し、「設定」→「通話設定」→「音声・TVコール共通」→「着信拒否」の順に選択する

2 「着信拒否リスト」を選択する

3 電話番号を登録する

電話番号を直接入力する場合は

①メニューから「追加」→「直接入力」の順に選択する
②電話番号を入力する

電話帳から電話番号を選択する場合は

①メニューから「追加」→「電話帳」の順に選択する
②電話帳を検索し、選択する（➔P.5-8）
③電話番号を選択する

通話履歴を利用して電話番号を入力する場合は

①メニューから「追加」→「通話履歴」の順に選択する
②履歴を選択する

4 [Clear]を押し、[✉]（保存）を押す

補足

- **着信拒否リストから電話番号を削除するには**
  ①操作1～2を行う
  ②削除する電話番号を反転表示し、メニューから「削除」→「1件」または「全件」の順に選択し、「はい」を選択する

13 セキュリティ

着信拒否リストからの着信の許可／拒否を設定する

1 [●]を押し、「設定」→「通話設定」→「音声・TVコール共通」→「着信拒否」の順に選択する
2 指定着信拒否欄を選択する
3 設定を選択し、[●]（OK）を押す
4 [✉]（保存）を押す

着信拒否の電話番号からかかってきたときの動作について
相手には話中音を流し、電話を受けません。待受画面には「不在着信」と表示してお知らせします。[✉]（表示）を押すと不在着信履歴を確認できます。

お買い上げ時の状態に戻す

本体の登録内容を消去する（メモリ消去）

データフォルダ、メール、708SC本体の電話帳、カレンダーの登録内容を消去できます。すべてまとめて消去することもできます。

1 [●]を押し、「設定」→「メモリ設定」→「本体メモリ」→「メモリ消去」の順に選択する
2 消去する項目をチェックありにし、[✉]（OK）を押す
3 暗証番号を入力し、[●]（確認）を押して「はい」を選択する

各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す（リセット）

各機能の設定をリセットする（設定リセット）

設定メニューの登録・設定内容、およびツールメニューの「アラーム」の登録・設定内容がお買い上げ時の状態に戻ります。

ただし、次の内容はリセットされません。

設定メニュー	リセットされない内容
一般設定	「日時設定」の時間欄および日付欄の設定内容
ディスプレイ設定	「明るさ」の設定内容
通話設定	「音声・TVコール共通」→「着信拒否」→「着信拒否リスト」の登録内容 「音声通話」／「TVコール」→「転送電話」の登録・設定内容 「音声通話」→「割込通話」の設定内容 「発着信規制」の設定内容 「留守番電話」の設定内容
電話帳設定	「オーナー情報」、「グループ設定」の登録・設定内容
外部接続	「優先事業者リスト」
セキュリティ設定	「USIM照合」「起動時PIN認証」「PINコード変更」「PIN2コード変更」

1 ● を押し、「設定」→「メモリ設定」→「本体メモリ」→「リセット」→「設定リセット」の順に選択する

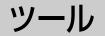
2 暗証番号を入力し、●（確認）を押して「はい」を選択する

登録内容や設定をリセットする(オールリセット)

708SC本体の電話帳、メール、データフォルダの登録内容および各機能の設定を消去し、お買い上げ時の状態に戻します。ただし、お買い上げ時にあらかじめ保存されているデータフォルダ内のファイルは、消去されません。

1 ● を押し、「設定」→「メモリ設定」→「本体メモリ」→「リセット」→「オールリセット」の順に選択する

2 暗証番号を入力し、●（確認）を押して「はい」を選択する

ツール

アラーム

目覚まし／アラームを登録／設定する

目覚まし（1件）と、起動時に表示させるアラーム名を編集できるアラーム（4件）を登録できます。時刻などを登録しておけば、「アラーム設定」を「ON」または「OFF」に切り替えるだけでセットや解除ができます。1回限りの起動だけでなく、特定の曜日や毎日の起動を登録することもできます。

1 **●を押し、「ツール」→「アラーム」の順に選択する**

2 **「目覚ましアラーム」〜「アラーム4」のいずれかを選択する**

3 **アラーム設定欄を選択する**

4 **「ON」を選択し、●（OK）を押す**

5 **項目を選択し、設定操作をする**

設定名を編集する場合は（「目覚ましアラーム」は編集不可）

①アラーム名欄を選択する
②設定名を入力する

起動時刻を設定する場合は

アラーム時刻欄を反転表示し、時刻を入力する

アラーム音を設定する場合は

①アラーム音欄を選択する
②ファイルの保存場所を選択してアラーム音を選択し、●（OK）を押す

バイブレータを設定する場合は

①バイブ欄を選択する
②設定を選択し、●（OK）を押す

アラーム音量を調節する場合は

①音量欄を選択する
②◎で音量を調節する
③✉（再生）を押して音量を確認し、●（保存）を押す

毎日または1回のみの起動を設定する場合は

①繰り返し欄を選択する
②「毎日」または「1回のみ」を選択し、●（OK）を押す

起動する曜日を設定する場合は

①繰り返し欄を選択する
②「曜日選択」を選択し、●（編集）を押す
③設定する項目をチェックありにし、✉（OK）を押す

スヌーズを設定する場合は

①スヌーズ欄を選択する

②設定を選択し、[●]（OK）を押す

目覚まし／アラームを今すぐセットしない場合は

①アラーム設定欄を選択する

②「OFF」を選択し、[●]（OK）を押す

6 [✉]（保存）を押す

補足

- **目覚まし／アラームが設定されているときのディスプレイは**
  🔔が表示されます。
- **複数の目覚まし／アラームに同じ起動時刻が登録されているときは**
  「アラーム1」～「アラーム4」よりも目覚ましが優先されます。アラームの中では、あとから設定した内容が優先されます。
- **音量の設定について**
  「⏏」を選択すると音量がステップアップに設定され、アラーム音の音量がだんだん大きくなります。
- **メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると**
  ファイルを708SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認画面が表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

目覚まし／アラームの設定時刻になると

アラーム音と表示でお知らせします（音をミュート（➔P.9-3）にしている場合は、操作5でバイブレータを「ON」に設定していなくてもバイブレータでお知らせします）。バイブレータを「ON」に設定しているときはバイブレータでもお知らせします。いずれかのボタンを押すとアラーム音とバイブレータが止まります。もう一度押すと表示が消えます。

スヌーズを「OFF」以外に設定しているときは

スヌーズを解除するまで、設定した時間の間隔で約1分間のアラーム通知を行います。通知は最大6回繰り返されます。
アラーム通知中にボタン操作を行わなかったとき、または[終話]、[Y!]（終了）以外のいずれかのボタンを押したときは、アラーム音が止まり、設定した時間が経過するとアラーム通知を行うようにセットされます。
スヌーズを解除するには、[終話]または[Y!]（終了）を押します。

通話中または発信中だったときは

通話中または接続中（「呼び出し中…」と表示）は短い通知音と表示でお知らせします。発信中（「ダイヤル中…」と表示）だったときは、接続中に切り替わると同時にお知らせします。ただし、効果音設定の通話中イベント通知がチェックなしに設定されている場合は、通話中や接続中も表示のみでお知らせします。表示は、いずれかのボタンを2回押すと消えます。スヌーズを「ON」に設定しているときは、[Y!]（終了）を押すと消えます。

動画撮影中または音声録音中だったときは

撮影または録音の終了と同時に、アラーム音と表示でお知らせします。

アラーム起動時の自動電源ONを設定する

お買い上げ時 ■OFF

「ON」に設定していると、電源を切っていても目覚ましやアラームの設定時刻になると自動的に電源が入ります。

1 [●]を押し、「ツール」→「アラーム」→「自動電源ON」の順に選択する

2 設定を選択し、[●]（保存）を押す

注意

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近く、航空機内、病院など、使用を禁止された区域では、自動電源ONの設定を解除してください。

目覚まし／アラームの設定時刻になると
自動的に電源が入ります。アラーム音の止めかたや表示の消しかた、スヌーズの解除方法は、通常の場合と同じです（P.14-3）。アラーム音を止め、表示を消すと待受画面が表示され、電源は入ったままになります。

カレンダー

カレンダーを表示する

1 [●]を押し、「ツール」→「カレンダー」の順に選択する

カレンダーの見かた

3通りの表示モードがあります。1ヶ月表示画面または1週間表示画面で日付を選択すると、その日の1日表示画面になります。

1ヶ月表示画面

1週間表示画面

□：反転表示位置
■（水色の日付）：今日
赤色の日付：日曜日、休日

（黄色）：記念日登録あり
（青色）：スケジュール登録あり
（緑色）：メモ登録あり
（赤色）：ToDo登録あり

1日表示画面

：スケジュール
：記念日
：休日
：メモ
：ToDo
高 中 低 ：優先度
：アラームの設定あり
：繰り返しの設定あり

補足

- **1ヶ月表示画面を前後の月に切り替えるには**
  ／または年月欄を反転表示してを押します。
- **1週間表示画面を前後の週に切り替えるには**
  ／または年月欄を反転表示してを押します。
- **1日表示画面を前後の日に切り替えるには**
  または／を押します。
- **確認したい月や週に表示を切り替えるには**
  1ヶ月表示画面または1週間表示画面のときには、次のように年月日を指定して表示を切り替えることができます。
  ①カレンダー画面でメニューから「ジャンプ」→「日付指定」を選択するか、～を押す
  ②年月日を入力して（OK）を押す
  操作①でメニューから「ジャンプ」→「今日」を選択すると、今月または今週の画面上で今日の日付が反転表示されます。

カレンダーの表示形式を設定する

お買い上げ時 ■週の始まり：日曜日 ■基本表示モード：1ヶ月表示

カレンダーの先頭を日曜または月曜のどちらかに設定できます。また、カレンダーを起動したときの画面表示を設定できます。

1 **を押し、「ツール」→「カレンダー」の順に選択する**

2 **メニューから「設定」を選択する**

3 **設定操作をする**

先頭の曜日を設定する場合は
①「週の始まり」を選択する
②設定を選択し、（保存）を押す

起動時の表示画面を設定する場合は
①「基本表示モード」を選択する
②設定を選択し、（保存）を押す

補足

- **「週の始まり」の設定を変更すると**
  「時計表示」(➔P.8-4)を「カレンダー」に設定している場合、待受画面に表示されるカレンダーの表示形式も変更されます。
- **設定を変更すると**
  「週の始まり」の変更は、すぐに反映されます。「基本表示モード」の設定変更は、カレンダーを終了し、次に起動したときから適用されます。
- **表示モードを一時的に切り替えるには**
  カレンダー画面でメニューから「表示モード」を選択し、表示方法を選択します。

カレンダーに新規登録する

スケジュールを登録する

最大100件登録できます。

1 **[●]を押し、「ツール」→「カレンダー」の順に選択する**

2 **メニューから「新規登録」→「スケジュール」の順に選択する**

3 **項目を選択し、設定操作をする**

タイトルを設定する場合は
タイトル欄を選択し、タイトルを入力する

詳細を設定する場合は
詳細欄を選択し、内容を入力する

開始日を設定する場合は
開始日欄を反転表示し、年月日を入力する

開始時間を設定する場合は
開始時間欄を反転表示し、時刻を入力する

終了日を設定する場合は
終了日欄を反転表示し、年月日を入力する

終了時間を設定する場合は
終了時間欄を反転表示し、時刻を入力する

場所を設定する場合は
場所欄を選択し、内容を入力する

アラームを設定する場合は
①アラーム欄をチェックありにする
②事前通知欄を反転表示して数値を入力し、単位の欄を反転表示して[◀◯▶]で単位を切り替える
③アラーム音欄を選択し、ファイルの保存場所を選択してアラーム音を選択する

アラーム通知の繰り返しを設定する場合は
①繰り返し欄をチェックありにする
②周期の欄を反転表示して[◀◯▶]で周期の単位を切り替える

③周期の数値の欄を反転表示して数値を入力する
④繰り返し終了日欄を反転表示し、年月日を入力する

カレンダーからの削除期限を設定する場合は

自動削除期限欄を反転表示し、[キー]で期限を切り替える

4 [キー]（保存）を押す

補足

- **開始日や終了日を入力する手間を省くには**
操作2の前に、カレンダー画面で目的の日付にカーソルを合わせておけば、開始日や終了日にその日付が表示されます。
- **自動削除期限を過ぎると**
カレンダーから自動的に削除されます。たとえば表示期限が「1年」の場合、アラームの繰り返しを設定していないときは、終了日から1年経過すると削除されます。繰り返しを設定しているときは、繰り返しの最終日から1年で削除されます。自動的に削除されないようにするには、自動削除期限を「なし」に設定します。
- **メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると**
ファイルを708SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認画面が表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

記念日／休日を登録する

記念日や休日を、それぞれ最大50件登録できます。

1 [●]を押し、「ツール」→「カレンダー」の順に選択する

2 メニューから「新規登録」→「記念日」または「休日」の順に選択する

3 項目を選択し、設定操作をする

内容を設定する場合は

①内容欄を選択する
②内容を入力する

日付を設定する場合は

日付欄を反転表示し、年月日を入力する

アラームを設定する場合は（記念日のみ）

①アラーム欄をチェックありにする
②事前通知欄を反転表示して数値を入力し、単位の欄を反転表示して[キー]で単位を切り替える
③アラーム時刻欄を反転表示し、時刻を入力する
④アラーム音欄を選択し、ファイルの保存場所を選択してアラーム音を選択する

毎年の繰り返しを設定する場合は

毎年繰り返し欄をチェックありにする

4 ✉（保存）を押す

補足

- **日付を入力する手間を省くには**
  操作2の前に、カレンダー画面で目的の日付にカーソルを合わせておけば、日付欄にその日付が表示されます。
- **メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると**
  ファイルを708SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認画面が表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

メモを登録する

最大20件のメモを登録できます。メモは通話中にも登録できます（➲P.2-8、6-5）。

1 ●を押し、「ツール」→「カレンダー」の順に選択する

2 メニューから「新規登録」→「メモ」の順に選択する

3 メモ欄を選択し、内容を入力する

日付を設定する場合は

日付欄を選択し、年月日を入力する

4 ✉（保存）を押す

補足

- **日付を入力する手間を省くには（➲P.14-8）**

ToDoを登録する

期限の決まったToDoを最大100件登録して、リストで管理できます。

1 ●を押し、「ツール」→「カレンダー」の順に選択する

2 メニューから「新規登録」→「ToDo」の順に選択する

3 項目を選択し、設定操作をする

タイトルを設定する場合は

①タイトル欄を選択する
②タイトルを入力する

ToDoの内容を設定する場合は

①ToDo欄を選択する
②内容を入力する

開始日を設定する場合は

開始日欄を反転表示し、年月日を入力する

14
ツール

締め切りを設定する場合は

期限日欄を反転表示し、年月日を入力する

アラームを設定する場合は

①アラーム欄をチェックありにする

②事前通知欄を反転表示して数値を入力し、単位欄を反転表示して[◀●▶]で単位を切り替える

③アラーム時刻欄を反転表示し、時刻を入力する

④アラーム音欄を選択し、ファイルの保存場所を選択してアラーム音を選択する

優先度を設定する場合は

優先度欄を反転表示し、[◀●▶]で設定を切り替える

4 [✉]（保存）を押す

補足

- **開始日や期限日を入力する手間を省くには**
  操作2の前に、カレンダー画面で目的の日付にカーソルを合わせておけば、開始日欄や期限日欄にその日付が表示されます。
- **メモリカードに保存されているファイルをアラーム音に設定すると**
  ファイルを708SC本体にコピーしてから設定するかどうかの確認画面が表示されます。著作権保護ファイルの場合は、移動してから設定するかどうかの確認画面が表示されます。「はい」を選択すると設定が完了します。

アラーム音の音量について

音量は「着信音量」の「音声通話」、バイブレータは「バイブ」の「音声通話」の設定に従います。

アラームの設定時刻になると

アラーム音と表示でお知らせします。いずれかのボタンを押すとアラーム音が止まります。[●]（OK）を押すと表示が消えます。アラームを停止しなかったときは、未確認のアラームがある旨をお知らせするメッセージが表示されます。[✉]（表示）を押すと、内容を確認できます。

発信中や通話中だったときは

通話中または接続中（「呼び出し中…」と表示）は短い通知音と表示でお知らせします。発信中（「ダイヤル中…」と表示）だったときは表示のみでお知らせします。ただし、効果音設定の通話中イベント通知がチェックなしに設定されている場合は、通話中や接続中も表示のみでお知らせします。表示は、[●]（OK）を押すと消えます。

登録内容を確認する

1 ● を押し、「ツール」→「カレンダー」の順に選択する

2 登録内容の一覧画面を呼び出す

1日の登録内容を確認する場合は
1ヶ月表示または1週間表示で日付を選択するか、1日表示の日付を ◀▶ で切り替える

種別ごとの登録内容を確認する場合は
メニューから「イベントリスト」を選択し、種別を選択する

アラーム通知時に停止操作をしなかった登録内容を確認する場合は
メニューから「未確認イベントアラーム」を選択する

3 登録内容を選択し、詳細を確認する

補足

- **カレンダーの登録状況を確認するには**
カレンダー画面または登録内容の一覧画面で、メニューから「メモリ容量確認」を選択すると、種別ごとの登録件数を確認できます。

登録内容を編集する

編集して新規登録／上書きする

内容を編集して更新するだけでなく、既存の登録内容を編集して新規の内容として登録することもできます。

1 ● を押し、「ツール」→「カレンダー」の順に選択する

2 登録内容の一覧画面を呼び出す

1日の登録内容一覧を呼び出す場合は
1ヶ月表示または1週間表示で日付を選択するか、1日表示の日付を ◀▶ で切り替える

種別ごとの登録内容一覧を呼び出す場合は
メニューから「イベントリスト」を選択し、種別を選択する

3 編集する登録内容を選択する

4 ●（編集）を押す

5 登録時と同様に、編集操作をする

6 ✉（保存）を押し、「新規」または「上書き」を選択する

14 ツール

ToDoに完了のマークを付ける

1 [●]を押し、「ツール」→「カレンダー」の順に選択する

2 メニューから「イベントリスト」→「ToDo」の順に選択する

3 完了にするToDoを反転表示し、メニューから「完了にする」を選択する

完了のマークを消す場合は
メニューから「未完了にする」を選択する

補足

- **ToDoを並べ替えるには**
ToDoの一覧画面で、メニューから「並べ替え」を選択し、並べ替えの基準を選択します。完了と未完了に分けたり、期限日や優先度の順に並べ替えることができます。

登録内容を削除する

1 カレンダー画面または登録内容の一覧画面のメニューから「削除」を選択する

2 削除操作をする

反転表示中の登録内容だけを削除する場合は
「1件」を選択し、「はい」を選択する

表示中の月または週の登録内容を削除する場合は
「今月」または「今週」を選択し、「はい」を選択する

特定の期間の登録内容だけを削除する場合は
①「期間指定」を選択する
②開始と終了の年月日を入力する
③[●]（削除）を押し、「はい」を選択する

すべての登録内容、または反転表示中の日付より前の全登録内容を削除する場合は
①「全件」または「選択日より前」を選択する
②暗証番号を入力して[●]（確認）を押し、「はい」を選択する

補足

- **複数の登録内容をまとめて削除するには**
種別ごとの一覧から不要な登録内容を選択し、まとめて削除できます。
① [●]を押し、「ツール」→「カレンダー」の順に選択する
② メニューから「イベントリスト」を選択し、種別を選択する
③ メニューから「削除」→「複数」の順に選択する
④ 削除する登録内容をチェックありにして[✉]（削除）を押し、「はい」を選択する

カレンダーのメニュー操作

登録内容の一覧画面のメニューから、次の操作ができます。

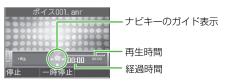
メニュー	内　容
新規登録	カレンダーに各種の内容を登録します（➲P.14-6）。
送信	vファイルに変換した登録内容を送信します。「メール」を選択すると、vファイルを添付したメールを作成できます（➲P.17-5）。「Bluetooth」を選択すると、Bluetooth® 通信の相手を選択して送信できます（➲P.12-5）。
表示モード	表示モードを切り替えます（➲P.14-6）。
ジャンプ	確認したい月や週に表示を切り替えます（➲P.14-5）。
イベントリスト	種別ごとの登録内容を確認できます（➲P.14-10）。
削除	登録内容を削除します（➲P.14-11）。
完了にする／未完了にする	ToDoの完了マークを設定または解除します（➲P.14-11）。
並べ替え	ToDoを並べ替えます（➲P.14-11）。
データフォルダに保存	vファイルを作成して保存します。「本体」を選択すると、「その他ファイル」フォルダに保存します。「メモリカード」を選択すると、メモリカードに保存します。
設定	カレンダーの表示形式を設定します（➲P.14-5）。
未確認イベントアラーム	アラームを停止しなかった登録内容を確認します（➲P.14-10）。
Bluetooth経由で印刷	反転表示したスケジュールまたはToDoの内容をBluetooth® 対応のプリンタで印刷します。
メモリ容量確認	カレンダーの登録状況を確認できます（➲P.14-10）。

ボイスレコーダー

音声を最長60分間録音できます。ボイスレコーダーは、ツールメニューのほか、通話中やデータフォルダ、メール作成画面のメニューからも起動できます。

ディスプレイの表示

ソフトキーの表示や、ナビキーのガイド表示に従って操作します。

録音中の画面

再生中の画面

音声を録音する

録音した音声は、データフォルダのメロディ＆ミュージックフォルダに保存されます。

1 [●]を押し、「ツール」→「ボイスレコーダー」の順に選択する

録音時間を変更する場合は（➲P.14-15）

2 [●]（録音）を押す

3 [✉]（停止）を押すか、時間いっぱいまで録音して録音を終了する

4 必要に応じて[●]（再生）を押して音声を再生する

再生を一時停止する場合は

[●]（一時停止）を押す

続けて録音する場合は

メニューから「録音」を選択する

メニューを使って録音した音声を操作する場合は（➲P.14-14）

音声を再生する

データフォルダに保存されている音声ファイルを再生します。

1 ●を押し、「ツール」→「ボイスレコーダー」の順に選択する

2 メニューから「データフォルダ」を選択する

3 ファイルを反転表示して●（再生）を押す

ボイスレコーダーのメニュー操作

録音の前後のメニューから、次の操作ができます。表示されるメニューや選択できる項目は、状況によって異なります。メニュー「データフォルダ」選択後のメニューについては、「データフォルダのメニュー操作」（➲P.11-13）を参照してください。

メニュー	内　容
録音	録音を開始します。
データフォルダ	メロディ＆ミュージックフォルダに保存されている音声ファイルのリスト画面を呼び出します。
送信	ファイルを送信します。「メール」を選択すると、ファイルを添付したメールを作成できます（➲P.17-5）。 「Bluetooth」を選択すると、Bluetooth® 通信の相手を選択して送信できます（➲P.12-5）。
設定	録音した音声ファイルを着信音などに設定します。
削除	録音した音声ファイルを削除します。
ファイル名変更	ファイル名を編集します。
保護／保護解除	保護すると、ファイル名の変更や削除などが制限されます。
詳細	録音した音声ファイルの詳細情報を確認できます。
録音設定	自動的に付けられるファイル名や録音時間の変更をします（➲P.14-15）。

ボイスレコーダーの設定を変更する

保存時に付けられるファイル名を変更する

お買い上げ時 ■Voice

ボイスレコーダーで録音した音声は、「Voice001」などの名前で保存されます。「Voice」の部分を他の名称に変更できます。

1 ●を押し、「ツール」→「ボイスレコーダー」の順に選択する

2 メニューから「録音設定」→「初期ファイル名」の順に選択する

3 名称を入力する

補足

- **初期ファイル名を変更すると**
  名前付けの規則は、次の録音から適用されます。

録音時間を変更する

お買い上げ時 ■5分

1 ●を押し、「ツール」→「ボイスレコーダー」の順に選択する

2 メニューから「録音設定」→「録音時間」の順に選択する

3 設定を選択し、●（保存）を押す

ファイルの保存先を変更する

メモリカードを取り付けているとき、録音した音声の保存先を708SC本体またはメモリカードのどちらにするかを設定できます。

お買い上げ時 ■本体

1 ●を押し、「ツール」→「ボイスレコーダー」の順に選択する

2 メニューから「録音設定」→「優先メモリ設定」の順に選択する

3 設定を選択し、●（保存）を押す

世界時計

世界各国の都市の現在時刻を確認できます。

世界時計を見る

1 ● を押し、「ツール」→「世界時計」の順に選択する

地域を登録する

お買い上げ時 ■2か所ともに「東京、ソウル」

よく確認する地域を登録しておくと、世界時計を呼び出すだけで簡単に表示できます。

1 ● を押し、「ツール」→「世界時計」の順に選択する

2 で地域１欄または地域２欄を反転表示し、で目的の都市名に切り替える

サマータイムを設定する場合は

①（サマータイム）を押す

②サマータイムを設定する地域をチェックありにし、（完了）を押す

3 ●（保存）を押す

簡易電卓

13桁までの四則演算ができます。

1 ●を押し、「ツール」→「簡易電卓」の順に選択する

2 計算する

数字を入力する場合は

ダイヤルボタンを押す

「+」/「−」/「×」/「÷」を入力する場合は

◀/▶/▼/▲を押す

計算結果を表示させる場合は

●を押す

小数点、「(」「)」を入力する場合は

✉（.( )）を繰り返し押す

カーソルを左/右に移動する場合は

✱または#を押す

数式を1文字消す場合は

消す文字の後ろにカーソルを移動してClearを押す

数式と計算結果をまとめて消す場合は

Clearを1秒以上押す

通貨や単位の換算をする

金額を各国の通貨に換算できます。長さや重さなどを他の単位に換算することもできます。

通貨換算する

1 ●を押し、「ツール」→「通貨・単位換算」→「通貨」の順に選択する

2 もとの通貨欄を選択し、通貨を選択する

もとの通貨と換算する通貨を入れ替える場合は

Y!（切替）を押す

3 もとの通貨での金額欄を反転表示し、金額を入力する

小数点を入力する場合は

✱を押す

4 換算する通貨欄を選択し、通貨を選択する

14 ツール

5 表示された金額を確認する

為替レートを確認する場合は

①基準にする通貨として上下いずれかの通貨欄を反転表示し、[✉]（レート表示）を押す

②もとの画面に戻るときは[Clear]を押す

為替レートを変更する場合は

①基準にする通貨として上下いずれかの通貨欄を反転表示し、[✉]（レート表示）を押す

②レートを変更する通貨を反転表示し、メニューから「編集」を選択する

③レートを入力し、[●]（保存）を押す

通貨単位を追加する場合は

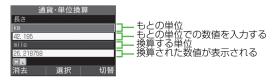
①[✉]（レート表示）を押す

②メニューから「レート追加」を選択する

③通貨単位とレートを入力し、[●]（保存）を押す

他の単位に換算する

1 [●]を押し、「ツール」→「通貨・単位換算」の順に選択する

2 「長さ」「重さ」「体積」「面積」「温度」のいずれかを選択する

3 もとの単位欄を選択し、単位を選択する

もとの単位と換算する単位を入れ替える場合は

[Y!]（切替）を押す

4 もとの単位での数値欄を反転表示し、数値を入力する

小数点を入力する場合は

[*]を押す

温度を換算するときに「－」を入力／削除する場合は

[#]を押す

5 換算する単位欄を選択し、単位を選択する

14 ツール

6 表示された数値を確認する

数値を消去する場合は

[⊠]（消去）を押す

ストップウォッチ

708SCをストップウォッチとして使えます。最大10回のラップタイムと合計タイムも計れます。

1 [●]を押し、「ツール」→「ストップウォッチ」の順に選択する

2 [●]（スタート）を押す

3 ラップタイムを計るときは[●]（ラップ）を、計測をストップするときは[⊠]（停止）を押す

辞典

日本語の単語の英語訳や、英単語の日本語訳を調べることができます。

1 [●]を押し、「ツール」→「辞典」の順に選択する

2 テキスト入力欄を選択し、単語を入力する

3 [Y!]（英→和／和→英）を押す

補足

- **訳として一覧表示された単語をさらに調べるには**
  操作3のあと、一覧表示された単語をさらに調べることができます。
  英単語を反転表示して[Y!]（英→和）：日本語訳を検索
  英単語を反転表示して[⊠]（英→英）：先頭が一致する単語を検索
  日本語の単語を反転表示して[●]（和→英）：英語訳を検索
- **単語の一部から目的の英単語を検索するには**
  たとえば「go」の2文字から、「go-ahead」「goal」など「go」で始まる単語を検索できます。検索後、一覧表示された単語の日本語訳も確認できます。
  ① [●]を押し、「ツール」→「辞典」の順に選択する
  ② テキスト入力欄を選択し、単語の先頭の数文字を入力する
  ③ [⊠]（英→英）を押す
  このあと表示された単語の一覧で単語を反転表示し、[Y!]（英→和）を押すと、日本語訳を確認できます。

14 ツール

その他の機能

発信時の便利な機能

お話し中だった相手に自動的にリダイヤルする

お買い上げ時 ■OFF

音声電話やTVコールをかけた相手がお話し中だったときに、自動的に電話を切り、すぐにリダイヤルを開始するように設定できます。オートリダイヤルは、[終話キー]を押すまで最大10回繰り返されます。

1 **[●]を押し、「設定」→「通話設定」→「音声・TVコール共通」→「オートリダイヤル」の順に選択する**

2 **設定を選択し、[●]（保存）を押す**

補足

- **TVコールの再発信方法を設定しているときは**
  オートリダイヤルの設定が優先されます。
- **相手が転送電話サービスや留守番電話サービスを設定しているときは**
  電話が転送され、オートリダイヤルは行われません。

国際コード／国番号を付加して電話をかける

国際コードを登録する

お買い上げ時 ■010

国際電話をかけるときによく利用する国際コードを設定できます。

1 **[●]を押し、「設定」→「通話設定」→「音声通話」→「国際発信」→「国際コード」の順に選択する**

2 **国際コードを入力する**

15 その他の機能

国番号を追加／変更／削除する

お買い上げ時 ■1：日本　2：韓国　3：イギリス
4：イタリア　5：スイス　6：スペイン
7：ドイツ　8：ポルトガル　9：オランダ
10：フランス　11：モナコ
12：アメリカ　13：スウェーデン
14：オーストラリア　15：中国　16：香港
17：台湾　18〜20：空白

国番号を追加したり、不要な国番号を削除したりできます。

1 **[●]を押し、「設定」→「通話設定」→「音声通話」→「国際発信」→「国番号リスト」の順に選択する**

2 **追加／変更／削除操作をする**

追加／変更する場合は

①追加登録先または変更する項目を反転表示して[●]（変更）を押す
②国名欄を選択し、国名を入力する
③国番号欄を反転表示し、国番号を入力して[✉]（保存）を押す

削除する場合は

削除する項目を反転表示して[✉]（削除）を押し、「はい」を選択する

イヤホン通話

お買い上げ時 ■イヤホン通話を使う：OFF
■電話番号指定：登録なし

ステレオイヤホンマイクのスイッチを1秒以上押して、指定した電話番号に電話をかけられるように設定できます。

1 **[●]を押し、「設定」→「通話設定」→「音声通話」→「イヤホン通話」の順に選択する**

2 **「イヤホン通話を使う」を選択する**

3 **設定を選択する**

4 **「電話番号指定」を反転表示し、電話番号の登録操作をする**

電話番号を直接入力する場合は

①[●]（選択）を押し、「直接入力」を選択する
②電話番号を入力する

電話帳から電話番号を選択する場合は

①[●]（選択）を押し、「電話帳」を選択する
②電話帳を検索し、選択する（➔P.5-8）
③電話番号を反転表示し、[●]（選択）を押す

通話履歴を利用して電話番号を入力する場合は

①[●]（選択）を押し、「通話履歴」を選択する
②履歴を選択する

5 ✉（保存）を押す

補足

- **電話番号を削除するには**
  ①操作1を行う
  ②●（選択）を押し、「直接入力」を選択する
  ③Clearを1秒以上押し、●（OK）を押す
- **電話番号を変更するには**
  ①操作1を行う
  ②操作4を行う
  ③●（保存）を押す

着信時の便利な機能

エニーキーアンサー

お買い上げ時 ■OFF

●（通話）や📞以外のボタンでも、音声電話に応答できるように設定できます。

1 ●を押し、「設定」→「一般設定」→「エニーキーアンサー」の順に選択する

2 設定を選択し、●（保存）を押す

補足

- 「ON」設定時に音声電話を受けられるボタンは（➲P.2-3）

アコースティックショック調整

お買い上げ時 ■ON

音声通話やTVコールの着信音量が大きな音で設定されている場合、着信時にいきなり大きな音で呼び出すことを防ぐために、レベル1の音量で2秒間呼び出し、その後に設定されている音量で呼び出します。

1 **[●]を押し、「設定」→「通話設定」→「音声・TVコール共通」→「アコースティックショック調整」の順に選択する**

2 **設定を選択し、[●]（保存）を押す**

サイドキー操作で着信音を消す／応答拒否する

お買い上げ時 ■着信音サイレント

着信中にサイドキー[▮]または[▮]を1秒以上押したときの動作を設定します。着信音を消す「着信音サイレント」または電話を切る「応答拒否」から選択します。

1 **[●]を押し、「設定」→「一般設定」→「サイドキー設定」の順に選択する**

2 **設定を選択し、[●]（保存）を押す**

15

その他の機能

スピード検索を利用するかどうかを設定する

お買い上げ時 ■OFF

「ON」に設定すると、待受画面で数字を入力すると、その数字に対応する「ヨミガナ」を先頭にもつ電話番号を電話帳から検索して表示します。

1 [●]を押し、「設定」→「一般設定」→「スピード検索設定」の順に選択する

2 設定を選択し、[●]（保存）を押す

補足

- スピード検索を利用して電話をかけるには（➲P.5-9）

キーロックについて設定する

お買い上げ時 ■OFF

1 [●]を押し、「設定」→「一般設定」→「自動キーパッドロック」を選択する

2 設定を選択し、[●]（保存）を押す

補足

- **「ON」に設定すると**
  ディスプレイのバックライトが消灯すると自動的にキーロックが設定されます。ボタン操作するとガイダンスが表示され、[●]を１秒以上押すとキーロックが一時的に解除されます。
- **「OFF」に設定すると**
  キーロックが自動的に設定されません。
- **手動でキーロックを設定するには**
  待受画面で[●]を１秒以上押します。解除するときも、待受画面で[●]を１秒以上押します。

ショートカット

頻繁に利用する機能を８機能まで登録でき、自分だけのメニューを作成できます。ショートカットは、待受画面で[キー]を押すだけで呼び出せます。

1 [キー]を押す

2 未登録のボックスを反転表示し、[●]（登録）を押す

3 機能を選択する

4 操作2〜3を繰り返して機能を登録する

補足

- **機能を変更するには**
  ①操作2で機能を反転表示し、メニューから「登録」を選択する
  ②「はい」を選択し、機能を選択する
- **機能を並べ替えるには**
  ①操作2で機能を反転表示し、メニューから「並び替え」を選択する
  ②[十字キー]で移動先のボックスを反転表示し、[●]（選択）を押す
- **機能を削除するには**
  ①操作2で機能を反転表示し、メニューから「削除」を選択する
  ②「はい」を選択する
- **お買い上げ時の状態に戻すには**
  ①操作2で、メニューから「リセット」を選択する
  ②「はい」を選択する

データの保存先を708SC本体／メモリカードに指定する

お買い上げ時 ■本体

メモリカードを取り付けているとき、データの保存先を708SC本体またはメモリカードのどちらにするかを設定できます。画像編集時、S!メールの添付ファイル保存時、情報画面からのファイルダウンロード時、Bluetooth® 経由でのデータ受信時などのデータが対象になります。

1 ● を押し、「設定」→「メモリ設定」→「優先メモリに設定」の順に選択する

2 設定を選択し、●（保存）を押す

補足

- **メモリカードが取り付けられていないときは**
  「メモリカード」または「毎回確認」に設定している場合は、保存先は自動的に708SC本体になります。

メモリ容量確認

次の情報を確認できます。

- 共有メモリの空き状況
- SMSおよびS!メールのメールボックスの使用状況
- データフォルダのメモリ使用状況
- カレンダーの種別の登録状況の確認
- 電話帳（本体およびUSIMカード）の登録状況

登録内容やファイルなどの削除もできます。

1 ● を押し、「設定」→「メモリ設定」→「メモリ容量確認」の順に選択する

2 確認する項目を選択する

補足

- **内容を削除するには**
  メールボックスやデータフォルダ、カレンダー、電話帳の内容を削除するときは、次のように操作します。
  ① 操作1〜2を行う
  ② 項目を反転表示して[●]（整理）を押し、「はい」を選択して内容の一覧を呼び出す
  ③ 削除する内容をチェックありにして[✉]（削除）を押し、「はい」を選択する

- **内容を全件削除するときは**
  「内容を削除するには」の操作③のあと、暗証番号を入力して[●]（確認）を押し、「はい」を選択します。

- **まとめて「チェックあり」／「チェックなし」にするには**
  「内容を削除するには」の操作③でメニューから「全チェック」または「チェック全解除」を選択します。

- **チェックありにした内容に機能や保護が設定されている内容が含まれているときは**
  「内容を削除するには」の操作③または「内容を全件削除するときは」の操作のあと、確認メッセージが表示されます。「はい」を選択すると、削除が実行されます。「いいえ」を選択すると機能や保護の設定されていないファイルのみが削除されます。

オプションサービス

オプションサービスの種類

708SCでは、次のオプションサービスをご利用いただけます。

サービス	内　容
転送電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。
留守番電話サービス	電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。
割込通話サービス※	通話中の相手を保留にし、他の相手からの電話を受けます。相手を切り替えながら通話することもできます。
多者通話サービス※	通話中に他の相手に音声電話をかけ、最大6人同時に通話できます。相手を切り替えながら通話することもできます。
発着信規制サービス	電話をかけたり受けたりすることを、状況に合わせて制限できます。
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知にする設定ができます。

※　サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。

注意

- **電波の届かない場所では、708SCからは操作できません。一般電話からの操作、サービスの詳細については『サービスガイド(3G)』をご覧ください。**

転送電話サービス

下記の転送条件に従って、かかってきた電話を別の電話番号に転送します。転送は、着信種別（音声通話、TVコール）ごとに設定できます。

転送条件	内　容
呼び出しあり	設定した呼出時間内に電話に出なかったときや、通話中または圏外などのために電話がつながらないときに転送します。
呼び出しなし	着信音を鳴らさずに、すべての着信を転送します。不在着信も記録されません。

注意

- **転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。**
- **すでに留守番電話サービスを開始しているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。**
- **発着信規制サービスの「全発信規制」または「全着信規制」を設定中は、転送電話サービスはご利用になれません（発着信規制サービスが優先されます）。**

転送電話サービスを開始する

サービスを開始するときは転送先を指定します。

1 [●] を押し、「設定」→「通話設定」→「音声通話」または「TVコール」→「転送電話」の順に選択する

2 「呼び出しあり」または「呼び出しなし」を選択して現在の設定を確認する

設定を変更する必要がない場合は

確認後、[◀○]を押して前の画面に戻る

3 転送先欄を反転表示し、転送先電話番号を入力する

電話帳から電話番号を選択する場合は

①転送先欄を反転表示し、メニューから「電話帳」を選択する

②電話帳を選択し、電話番号を反転表示して [●]（選択）を押す

4 呼び出し時間欄を反転表示し、[◀○▶]で秒数を切り替える（「呼び出しあり」の場合のみ）

5 [●]（設定）を押す

補足

- **「呼び出しあり」で転送電話サービスを開始したときは**

  着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に[Y!]（転送）を押すと、すぐに転送できます。

転送電話サービスを停止する

転送条件にかかわらず、まとめて停止することができます。

1 [●] を押し、「設定」→「通話設定」→「音声通話」または「TVコール」→「転送電話」→「全て解除」の順に選択する

補足

- **転送条件ごとに転送電話サービスを停止するには**

  ①[●]を押し、「設定」→「通話設定」→「音声通話」または「TVコール」→「転送電話」の順に選択する

  ②「呼び出しあり」または「呼び出しなし」を選択する

  ③[✉]（解除）を押す

転送電話サービスの設定を確認する

1 ● を押し、「設定」→「通話設定」→「音声通話」または「TVコール」→「転送電話」→「設定確認」の順に選択する

留守番電話サービス

あらかじめ設定した転送条件（転送電話サービスと同様➔P.16-2）に従って、かかってきた音声電話を留守番電話センターに転送します。

注意

- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスを開始しているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。
- 発着信規制サービスの「全発信規制」または「全着信規制」を設定中は、留守番電話サービスはご利用になれません（発着信規制サービスが優先されます）。

留守番電話サービスを開始する

1 ● を押し、「設定」→「通話設定」→「留守番電話」の順に選択する

2 「呼び出しあり」または「呼び出しなし」を選択する

3 呼び出し時間欄を反転表示し、◐で秒数を切り替える（「呼び出しあり」の場合のみ）

4 ●（設定）を押す

補足

- 「呼び出しあり」で留守番電話サービスを開始したときは
  着信中（呼出時間の設定秒数内）に電話に出ると、そのまま通話できます。また、着信中に Y!（転送）を押すと、すぐに転送できます。

留守番電話サービスを停止する

転送条件にかかわらず、まとめて停止できます。

1 ● を押し、「設定」→「通話設定」→「留守番電話」→「全て解除」の順に選択する

補足

- **転送条件ごとに留守番電話サービスを停止するには**
  ①[●]を押し、「設定」→「通話設定」→「留守番電話」の順に選択する
  ②「呼び出しあり」または「呼び出しなし」を選択する
  ③[✉]（解除）を押す

留守番電話サービスの設定を確認する

1 [●]を押し、「設定」→「通話設定」→「留守番電話」→「設定確認」の順に選択する

留守番電話の伝言メッセージを聞く

留守番電話センターに伝言メッセージが録音されると、その旨をお知らせするメッセージが表示され、ディスプレイ最上段には、1416が表示されます。

アイコンとメッセージでお知らせする

メッセージが表示されているときの操作

お知らせのメッセージが表示されているときは、次のように操作すると留守番電話センターに接続できます。接続後はガイダンスに従って操作してください。

1 [✉]（再生）を押す

伝言メッセージの詳細情報を確認する場合は
メッセージの表示中に[●]を押す

補足

- **海外で伝言メッセージを聞くには**
  ①[0]を1秒以上押して「+」を入力する
  ②「819066514170」を入力し、[発信]を押す
- **伝言メッセージを聞かずにメッセージを消すには**
  [Y!]（終了）を押します。
- **ディスプレイ最上段の1416を消すには**
  708SCから伝言メッセージを聞くと、アイコンが消えます。

メッセージが表示されていないときの操作

1 「1416」を入力し、[発信]を押す

オプションサービス 16

着信お知らせ機能

留守番電話サービス開始中に、電波の届かない場所や電源が入っていなかったために受けられなかった着信があったときは、SMSでお知らせします。また、通話中に留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

着信お知らせ機能を設定する

1 「1414」を入力し、[発信]を押す（無料）

国内の固定電話から設定する場合は（無料）

「090-665-1414」を入力し、[発信]を押す

海外から設定する場合は（有料）

[0]を1秒以上押して「+」を入力し、「81-90-665-14191」を入力して[発信]を押す

2 ガイダンスに従って操作する

割込通話サービス

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。

このサービスは、音声通話でのみご利用になれます。

割込通話サービスを開始／停止する

1 [●]を押し、「設定」→「通話設定」→「音声通話」→「割込通話」の順に選択する

2 サービスの開始／停止操作をする

開始する場合は

[●]（設定）を押す

停止する場合は

[✉]（解除）を押す

割込通話を受ける

通話中に着信があったときは、専用の割り込み音と画面表示でお知らせします。通話中の電話を保留にして、あとからかかってきた電話を受けることができます。

1 割り込み音が聞こえたら、[●]（通話）を押す

2 「現在の通話を保留」を選択する

現在の通話を切って、あとからの電話に出る場合は
「現在の通話を終了」を選択する

3 相手を切り替えるときは、[✉]（切替）を押す

4 現在の通話を切るときは、[終話]を押す

保留中の通話を切る場合は
メニューから「終了相手選択」→「保留中の通話」の順に選択する

一度に両方（すべて）切る場合は
メニューから「終了相手選択」→「全ての通話」の順に選択する

補足

- **割込通話中に通話中の相手が電話を切ったときは**
[✉]（解除）を押すと、保留していた相手との通話になります。
- **転送電話サービスや留守番電話サービスを開始している場合は**
割り込みに応答しなかった場合は、転送先または留守番電話センターに転送されます。転送条件を「呼び出しなし」に設定していると、割込通話サービスをご利用になれません。

多者通話サービス

サービスのご利用には、別途お申し込みが必要です。

最大6人まで同時に通話できます。

通話中に別の相手に電話をかける

相手につながると、それまで通話していた相手は保留になります。

1 通話中にメニューから「発信」を選択し、電話番号を入力する

電話帳を使う場合は
①[●]（電話帳）を押し、電話帳を選択する
②電話番号を反転表示し、[●]（選択）を押す

履歴を使う場合は
[発信]を押して通話履歴を呼び出し、目的の履歴を反転表示する

2 [●]（発信）を押し、つながったら通話する

切替通話

1 通話中に別の相手に電話をかける（➲P.16-7）

2 話す相手と保留中の相手を切り替えるときは、通話中に［✉］（切替）を押す

補足

- **保留中の通話を切るには**
  通話中にメニューから「終了相手選択」→「保留中の通話」の順に選択します。
- **すべての通話を切るには**
  通話中にメニューから「終了相手選択」→「全ての通話」の順に選択します。
- **切替通話中に通話中の相手が電話を切ったときは**
  保留中の相手は保留状態のままです。切り替えて通話してください。

多者通話

1 通話中に別の相手に電話をかける（➲P.16-7）

2 通話中にメニューから「多者通話」を選択する

補足

- **1人だけ相手を選んで通話するには**
  通話中にメニューから「個別通話」を選択し、通話する相手を選択します。
- **特定の相手を選んで通話を切るには**
  通話中にメニューから「終了相手選択」→「相手を選択」の順に選択し、通話を切る相手をチェックありにして［✉］（終了）を押します。
- **すべての通話を切るには**
  通話中に［終話］を押します。
- **多者通話中に相手が電話を切ったときは**
  残された相手との通話になります。

発着信規制サービス

音声電話やTVコールの発着信、SMSの送受信を、次の規制内容で制限できます。

設定項目		内　容
発信規制	全発信規制	緊急通話以外、電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
	滞在国以外規制	滞在国以外へ電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
	日本／滞在国以外規制	滞在国と日本以外の国へ、国際電話をかけられない、またはSMSを送信できないようにします。
着信規制	全着信規制	すべての電話を受けられない、またはSMSを受信できないようにします。
	国際着信規制	日本以外では、すべての電話を受けられない、またはSMSを受信できないようにします。

設定時には、発着信規制用暗証番号（ご契約時にお決めいただいた発着信規制サービス専用の4桁の番号）の入力が必要です。

注意

- **発着信規制用暗証番号の入力を３回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定や解除ができなくなります。この場合は、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（➲P.26-23）までご連絡ください。**
- **転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときは、「全発信規制」および「全着信規制」はご利用になれません（転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます）。**

補足

- **発信規制中に電話をかけようとすると**
  発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。

発信規制／着信規制を設定する

発信規制および着信規制は、通話や通信の種別（音声電話、TVコール、SMS）ごとに設定できます。

1 **[●]を押し、「設定」→「通話設定」→「発着信規制」の順に選択する**

2 **「音声通話」「TVコール」「SMS」のいずれかを選択し、規制内容を選択する**

3 発着信規制用暗証番号を入力する

4 設定／解除操作をする

設定する場合は

[●]（設定）を押す

解除する場合は

[✉]（解除）を押す

補足

- **設定状況を確認するには**
  操作1～2を行います。設定状況を確認したら、[Clear]を押して前の画面に戻ります。

発着信規制の制限をすべて解除する

すべての解除は、通話や通信の種別（音声電話、TVコール、SMS）ごとにできます。

1 [●]を押し、「設定」→「通話設定」→「発着信規制」の順に選択する

2 「音声通話」「TVコール」「SMS」のいずれかを選択し、「全て解除」を選択する

3 発着信規制用暗証番号を入力し、[●]（OK）を押す

発着信規制用暗証番号を変更する

1 [●]を押し、「設定」→「通話設定」→「発着信規制」→「暗証番号変更」の順に選択する

2 現在欄に現在の発着信規制用暗証番号を入力し、新規欄と確認欄に新しい発着信規制用暗証番号（4桁）を入力して[●]（確認）を押す

発信者番号通知サービス

お客様の電話番号を相手に通知したり、非通知に設定するサービスです。

発信者番号の通知/非通知を設定する

お買い上げ時 ■ネットワーク設定に従う

1 [●]を押し、「設定」→「通話設定」→「音声・TVコール共通」→「発信者番号通知」の順に選択する

2 設定を選択し、[●](保存)を押す

補足

- 「ネットワーク設定に従う」に設定すると
  利用中のネットワークに従って発信者番号が通知/非通知になります。

発信者番号を通知して/非通知でかける

サービスの設定にかかわらず、電話をかけるときの操作でご自分の電話番号を相手に通知したり非通知にしたりできます。

1 発信者番号通知/非通知の番号を押す

電話番号を通知してかける場合は
[1][8][6]を押す

電話番号を通知しないでかける場合は
[1][8][4]を押す

2 相手の電話番号を入力する

3 [発信]を押す

TVコールをかける場合は
メニューから「TVコール」を選択する

オプションサービス
16

メール送受信

メールをご利用になる前に

S!メール

ソフトバンク携帯電話やE-mailを利用できるパソコンなどの機器との間で、長い文字メッセージや画像、サウンドなどを送受信できます。

S!メールの利用とE-mailの受信には、別途ご契約が必要です。

SMS

ソフトバンク携帯電話との間で、電話番号を宛先として短い文字メッセージを送受信できます。

> **補足**
>
> - **リトライ機能について**
>   リトライ機能とは、相手が電源を切っていたり、電波の届かないところにいたりしてメールを受信できない場合に、メールサーバーにメールが保管され、電波が届くようになると配信する機能です。

新着メールの確認

待受画面を表示中にメールを受信すると、受信の通知画面が表示され、受信件数と差出人、受信日時が表示されます。

受信の通知画面

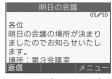
1 **✉（表示）を押す**

受信ボックスのメール一覧画面

受信の通知画面に複数の情報が表示されている場合は

◎を押して✉のタブを選択し、✉（表示）を押す

2 新着メールを選択する

SMSのメッセージ画面

S!メール（メッセージのみ）のメッセージ画面

補足

- **待受画面以外を表示中にメールを受信したときは**
  ディスプレイ最上段に または が表示されます。（➲P.1-8）。
- **受信の通知画面の受信件数表示について**
  未読メールがある場合は、新着メールと未読メールの合計が表示されます。
- **受信の通知画面の差出人表示について**
  電話番号またはE-mailアドレスが表示されます。差出人が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録した名前が表示されます。電話帳に着信画像が登録されている場合や、グループに着信画像が設定されている場合は、画像が同時に表示されます。シークレットモード設定が「非表示」のとき、電話帳のシークレットモードが「ON」に設定されている相手からメールを受信した場合は、名前や画像は表示されません。

SMSのメッセージ画面での操作について

SMSのメッセージ画面を表示中にサイドキーを押すと、本文の文字サイズを大きくしたり小さくしたりできます。また、やを１秒以上押すとメッセージ画面が自動スクロールします。自動スクロールを停止させるにはいずれかのボタンを押します。自動スクロール中にまたはを押すとスクロールの速度を調節できます。

メッセージ画面のデルモジ表示（➲P.20-5）について

お買い上げ時は、新着または未読のメール（スライド表示が2ページ以上のS!メール、またはファイルが添付されているS!メールは除く）を確認すると、メッセージがデルモジ表示されます。デルモジ表示が終了するか、デルモジ表示中に（停止）を押すと、メッセージ画面が表示されます。各種操作を行う場合は、メッセージ画面が表示されてから操作してください。

メールの続きを受信する

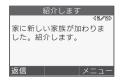
「国内ネットワーク」（➲P.20-3）または「ローミングネットワーク」（➲P.20-3）を「手動受信」に設定している場合は、受信S!メールがメールサーバーに一時保存され、メッセージの一部が受信通知としてお客様の708SCに送信されます。続きはメールサーバーから受信する必要があります。

1 を押し、「受信ボックス」を選択する

2 続きがあるメールを選択する

受信通知画面

3 ●（受信）を押す

4 続きを受信したメールを選択する

メッセージ画面

補足

- **受信ボックスのメール一覧画面に表示される受信通知のアイコンについて**
  - ：未読の受信通知（優先度：高）
  - ：未読の受信通知（優先度：標準）
  - ：未読の受信通知（優先度：低）
  - ：既読の受信通知（優先度：高）
  - ：既読の受信通知（優先度：標準）
  - ：既読の受信通知（優先度：低）
- **メールリストからメールの続きを受信するには（➡P.19-2）**

ファイルが添付されているS!メールのメッセージ画面について

1ページ目に添付ファイルのファイル名が表示され、2ページ目以降にメッセージが表示されます。メッセージを表示する場合は を押すか、メニューから「スライド再生」を選択します。

スライド表示が2ページ以上のS!メールのメッセージ画面について

メニューから「スライド再生」を選択すると、スライドが再生されます。再生中に●（ポーズ）を押すと一時停止、（停止）を押すと停止します。を押すと、手動でページの切り替えができます。

ファイルが挿入（➡P.17-14、17-15）されている S!メールのメッセージ画面について

画像が挿入されている場合は、メッセージとともに画像が表示されます。

サウンドが挿入されている場合は、メニューから「スライド再生」を選択すると再生されます。スライド表示が2ページ以上ある場合は、サウンドが挿入されているページが表示されたときに再生されます。
動画が挿入されている場合は、メニューから「スライド再生」を選択して Y! (ムービー)を押すと再生されます。スライド表示が2ページ以上ある場合は、動画が挿入されているページが表示されると右下に「ムービー」が表示され、Y! (ムービー)を押すと再生されます。

コンテンツ・キーの購入/取得が必要なファイルが挿入されているメッセージ画面について
ファイルが挿入されているページに が表示され、表示/再生されません。表示/再生する場合は、メニューから「キーのアクティブ化」を選択します。

受信したメールを利用する

確認中のメールの差出人に返信できます。

1 メッセージ画面で ✉ (返信)を押す

2 メールを作成し、✉ (送信)を押す

補足

- **S!メールの件名表示について**
  返信するS!メールの件名には「RE:」が自動的に付きます。

メールの作成

708SCでは、S!メールとSMSの2種類のメールを利用できます。メールの種類により、送信できる文字数や入力項目が次のように異なります。

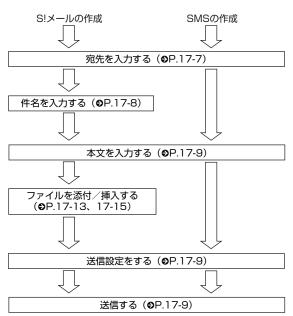
		S!メール	SMS
送信可能な文字数		全角/半角で約10,000文字[1] スライド表示の1ページに約10,000 文字[2] (最大294Kバイト[3])	全角/半角カタカナで最大70文字 半角英数字の場合は最大160文字 (最大140バイト)
入力項目	宛先	○	○
	件名	○	×
	添付ファイル	○	×
	本文	○	○

○ 入力可能
× 入力不可能
1 添付ファイルのサイズなどにより、送信可能な文字数は変わります。
2 メール1通に最大20ページのスライド表示を設定できます。
3 宛先や件名、メッセージ、添付ファイルなどを含めたメールサイズの合計です(返信または転送するメールも同様)。

メールアート機能を利用すると
S!メールのメッセージ画面を表示したときに、文字メッセージや画像などをスライドのように切り替えながら表示させたり、背景に色を付けたりできます(➔P.17-10、17-13、17-15)。

操作手順

メールの作成は次の手順で行います。

宛先以外の項目は必要に応じて入力、設定します。

補足

- **送信設定をあらかじめ設定するには（➲P.20-2、20-4）**

メールの種類の自動変更について

メールの作成を開始したとき、メールの種類はSMSで作成されますが、次の操作を行った場合は自動的にS!メールに変更されます。

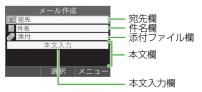
- ・宛先にE-mailアドレスを入力する
- ・件名を入力する
- ・SMSで送信できる文字数を超える文字を入力する
- ・スライド表示を設定する
- ・ファイルを添付または挿入する
- ・宛先の種類を「Cc」「Bcc」に変更する

添付／挿入したファイルを削除したり、件名を削除したりしてSMSで送信できる状態になると、自動的にSMSに変更されます。

メールの作成状況によっては、メールの種類が自動的に変更されない場合があります。メールの種類が変更されない場合は、手動で変更してください（➲P.17-9）。

宛先を入力する

S!メールの宛先には電話番号またはE-mailアドレス、SMSの宛先には電話番号を入力します。入力できる宛先の件数は最大20件です。

1 ✉を押し、「メール作成」を選択する

メール作成画面

2 宛先の入力操作をする

電話帳から宛先を選択する場合は

①宛先欄を選択し、「電話帳検索」を選択する

②電話帳を検索し、選択する（➲P.5-8）

③電話番号またはE-mailアドレスを反転表示し、●（選択）を押す

宛先を直接入力する場合は

①宛先欄を選択し、「直接入力」を選択する

②電話番号またはE-mailアドレスを入力する

履歴を利用して宛先を入力する場合は

宛先欄を選択し、表示されている履歴を選択する

電話帳のグループから宛先を選択する場合は

①宛先欄を選択し、「グループ検索」を選択する

②グループを選択し、宛先の選択画面が表示された場合は入力する宛先を反転表示して●（選択）を押す

3 他の宛先を入力する場合は追加操作をする

宛先を直接入力する場合は

①宛先欄を選択する

②入力欄を選択し、「直接入力」を選択する

③電話番号またはE-mailアドレスを入力し、✉（完了）を押す

電話帳から宛先を選択する場合は

①メニューから「宛先追加」→「電話帳検索」の順に選択する

②電話帳を検索し、選択する（➲P.5-8）

③電話番号またはE-mailアドレスを反転表示し、●（選択）を押す

電話帳のグループから宛先を選択する場合は

①メニューから「宛先追加」→「グループ検索」の順に選択する

②グループを選択し、宛先の選択画面が表示された場合は入力する宛先を反転表示して●（選択）を押す

補足

- **定型文を利用してメールを作成するには（➲P.17-12）**
- **入力した宛先を確認するには**
  操作3で、メニューから「宛先リスト」を選択します。
- **入力した宛先を確認してから宛先を追加するには**
  ①操作3で、メニューから「宛先リスト」を選択する
  ②入力欄を選択し、操作2と同様に操作する
  ③[✉]（完了）を押す
- **入力した宛先を確認してからメールを送信するには**
  ①操作3で、メニューから「宛先リスト」を選択する
  ②メニューから「送信」を選択する
- **宛先の種類をTo／Cc／Bccに変更するには**
  ①操作3で、メニューから「宛先リスト」を選択する
  ②宛先を反転表示し、メニューから「To／Cc／Bcc変更」を選択する
  ③「To」「Cc」「Bcc」のいずれかを選択する
- **宛先を削除するには**
  ①操作3で、メニューから「宛先リスト」を選択する
  ②宛先を反転表示し、メニューから「削除」を選択する
- **文字のコピー／切り取り／貼り付けを行うには（➲P.4-9）**
- **宛先欄の表示について**
  複数の宛先が登録されている場合は、メール作成画面の宛先欄に👤と件数が表示されます。

注意

- 708SC本体の共有メモリ（➲P.26-13）の空き容量が464Kバイトより少ない場合は、メールの作成ができません。メールの作成を行う場合は、不要なメールまたはデータフォルダの不要なファイルを削除してから操作してください。
- メールの作成中に708SC本体の共有メモリ（➲P.26-13）の空き容量がなくなった場合は、作成中のメールの送信や下書きへの保存ができなくなる場合があります。
- 708SCで作成したメールは、相手側の端末によっては708SCと同様に表示されない場合があります。
- 件名や本文をハングル文字で入力して送信した場合、相手側の端末によっては入力した文字が削除されたりスペースとして表示される場合があります。

件名を入力する

1 メール作成画面で件名欄を選択する

2 件名を入力する

補足

- **文字のコピー／切り取り／貼り付けを行うには（➲P.4-9）**
- **予測入力機能を設定／解除するには（➲P.4-11）**

本文を入力する

1 メール作成画面で本文欄を選択する

スライド表示を設定している場合は（➲P.17-10）
メッセージを入力する本文入力欄を選択する

2 メッセージを入力する

補足

- **文字のコピー／切り取り／貼り付けを行うには（➲P.4-9）**
- **SMS定型文や電話帳の内容を引用するには（➲P.4-8）**
- **入力中の文字のサイズを変更するには**
  ①操作2で、メニューから「文字サイズ」を選択する
  ②「小」「標準」「大」のいずれかを選択する
- **予測入力機能を設定／解除するには（➲P.4-11）**
- **スライド表示を設定するには（➲P.17-10）**
- **本文欄に画像などのファイルを挿入するには（➲P.17-13、17-15）**
- **送信前にデルモジ表示を確認するには**
  メール作成画面で本文欄を反転表示し、メニューから「デルモジ表示」を選択します。

送信する

1 メール作成画面で[✉]（送信）を押す

補足

- **作成中のメールの送信設定をするには**
  ①メール作成画面で、メニューから「送信設定」を選択する
  ②項目を選択し、設定操作をする（➲P.20-2、20-4）
  ③[✉]（適用）または[✉]（保存）を押す
- **メールの種類を変更するには**
  ①メール作成画面で宛先欄以外を反転表示する
  ②メニューから「S!メールに変更」または「SMSに変更」を選択する
  ③「はい」を選択する

スライド表示を設定する

S!メールのメッセージ画面を、スライドのように切り替えて表示できます。スライド表示の各ページには、画像、サウンド、動画（ムービー）、文字メッセージ（テキスト）を挿入できます。1通のメールには、最大20ページのスライド表示を設定できます。

1 メール作成画面で、メニューから「挿入」→「テキスト」の順に選択する

メール作成画面

2 本文入力欄を選択し、メッセージを入力する

3 スライド表示の本文入力欄を追加する場合は操作1〜2を繰り返す

補足

- **テキスト以外のファイルを挿入するには**
  「画像」「サウンド」「ムービー」を挿入するときは、「ファイルを挿入する」（➲P.17-12）を行います。また、同じページに他のファイルを挿入できます。ただし、画像とムービー、サウンドとムービーを同じページに表示することはできません。
- **本文入力欄を削除するには**
  ①メール作成画面で本文入力欄を反転表示する
  ②メニューから「削除」を選択する
  ③「はい」を選択する
- **送信前にスライド表示を確認するには**
  ①メール作成画面で宛先欄以外を反転表示する
  ②メニューから「プレビュー」を選択する
  ③メニューから「スライド再生」を選択する

本文欄のスタイルを編集する

文字の色やスタイル、スライド表示のページの表示時間、背景色などを設定できます。

1 メール作成画面で本文欄を反転表示する

2 設定操作をする

背景色を設定する場合は

①メニューから「スタイル編集」を選択する

②「ページ選択」を反転表示し、[key]を押して「全ページ」を表示する
③「背景色」を反転表示し、[key]を押して目的の色を反転表示する

ページの表示時間を設定する場合は

①設定する文字入力欄を反転表示する
②メニューから「スタイル編集」を選択する
③「スライド表示時間」を反転表示し、時間を入力する

文字色を設定する場合は

①メニューから「スタイル編集」を選択する
②「ページ選択」を反転表示し、[key]を押して「全ページ」を表示する
③「文字色」を反転表示し、[key]を押して目的の色を反転表示する

スライド表示のページごとに文字色を設定する場合は

①設定する文字入力欄を反転表示する
②メニューから「スタイル編集」を選択する
③「文字色」を反転表示し、[key]を押して目的の色を反転表示する

文字サイズを設定する場合は

①メニューから「スタイル編集」を選択する
②「ページ選択」を反転表示し、[key]を押して「全ページ」を表示する
③「文字サイズ」を反転表示し、[key]を押して目的のサイズを表示する

スライド表示のページごとに文字サイズを設定する場合は

①設定する文字入力欄を反転表示する
②メニューから「スタイル編集」を選択する
③「文字サイズ」を反転表示し、[key]を押して目的のサイズを表示する

文字と挿入した画像／動画の位置を変更する場合は

①メニューから「スタイル編集」を選択する
②「ページ選択」を反転表示し、[key]を押して「全ページ」を表示する
③「表示順変更」を反転表示し、[key]を押して「本文を上に表示」または「画像（ムービー）を上に」を表示する

3 [key]（保存）を押す

補足

- **送信前にスタイルを確認するには**
  ①メール作成画面で宛先欄以外を反転表示する
  ②メニューから「プレビュー」を選択する
  ③メニューから「スライド再生」を選択する

注意

- 作成中のメールの種類がSMSの場合は、メニューに「スタイル編集」や「プレビュー」は表示されません。

定型文を利用する

S!メール定型文やSMS定型文を利用して、メールの作成、送信ができます。

1 ✉を押し、「定型文」→「S!メール定型文」または「SMS定型文」の順に選択する

2 S!メール定型文またはSMS定型文を反転表示する

3 メニューから「送信」を選択する

4 メールを作成し、✉（送信）を押す

補足

- S!メール定型文を確認してから利用するには
  ①操作1～2を行う
  ②メニューから「表示」を選択する
  ③必要な場合はメニューから「スライド再生」を選択する
  ④メニューから「編集して送信」を選択する
- 定型文を登録するには（➲P.4-13、18-16）

ファイルの添付／挿入

S!メールに添付／挿入できるファイルのサイズは、宛先や件名、メッセージなどを含めて294Kバイトまでです。
1通のS!メールに添付できるファイルの数は20個までです。

補足

- 作成中のメールのサイズを確認するには
  作成中のメールの種類をS!メールにすると、メール作成画面の右上に表示されます。

注意

- メールを送信する相手によっては、添付または挿入したファイルを受信できない場合がありますのでご注意ください。ソフトバンク携帯電話が対応するファイルについては、『サービスガイド（3G）』を参照してください。
- S!メールで動画を添付／挿入するときは、「S!メール添付用」（➲P.7-13）で撮影したファイルを選択してください。送信できない動画を添付／挿入しようとした場合、添付できないという旨のメッセージが表示されます。

データフォルダなどからファイルを添付する／本文欄に挿入する

画像や動画、サウンドを選択して添付できるほか、電話帳やカレンダーの登録内容をvCard形式やvCalendar形式にして添付できます。本文欄にファイルを挿入すると、メッセージ画面を表示したときにファイルを表示／再生できます。

ファイルを添付する

1 メール作成画面で、添付ファイル欄を選択する

2 添付操作をする

メール作成画面
（ファイルを添付した場合）

ファイルを添付する場合は

①「データフォルダ」を選択する

②データフォルダからファイルを選択する

電話帳の登録内容をvCard形式で添付する場合は

①「電話帳データ」を選択する

②電話帳を検索し、選択する（➔P.5-8）

③[✉]（追加）を押す

カレンダーの登録内容をvCalendar形式で添付する場合は

①「カレンダーデータ」を選択する

②登録内容を選択する

補足

- **ファイルを追加するには**
  「ファイルを添付する」の操作1～2（➔P.17-13）を行います。
- **添付したファイルを確認するには**
  ①メール作成画面で添付ファイル欄を反転表示し、メニューから「添付ファイル表示」を選択する
  ②ファイルを選択する
- **ファイルを添付すると**
  添付ファイル表示画面にファイルの種別を示すアイコンとファイル名が表示されます。

：画像	：サウンド
：動画	：vCalendar
：vCard	：上記以外のファイル

- **ファイルを変更するには**
  ①メール作成画面で添付ファイル欄を反転表示し、メニューから「添付ファイル表示」を選択する
  ②ファイルを反転表示し、メニューから「上書き」を選択する
  ③「ファイルを添付する」の操作2（➲P.17-13）を行う
- **ファイルを削除するには**
  ①メール作成画面で添付ファイル欄を反転表示し、メニューから「添付ファイル表示」を選択する
  ②ファイルを反転表示し、メニューから「削除」を選択して「1件」を選択する
- **すべてのファイルを削除するには**
  ①メール作成画面で添付ファイル欄を反転表示し、メニューから「添付ファイル表示」を選択する
  ②メニューから「削除」を選択し、「全件」を選択して「はい」を選択する
- **メモリカードに保存されているファイルを添付すると**
  メモリカードを取り外すと、下書きに保存する旨のメッセージが表示されたあと、メールメニューに戻ります。S!メールは、添付したファイルが削除された状態で下書きに保存されます。

ファイルを挿入する

1 メール作成画面で、メニューから「挿入」を選択する

スライド表示を設定している状態でファイルを挿入する場合は（➲P.17-10）

①メール作成画面でファイルを挿入する本文入力欄を反転表示する
②メニューから「挿入」を選択する

2 挿入操作をする

挿入されたファイル名

メール作成画面
（ファイルを挿入した場合）

画像を挿入する場合は

①「画像」を選択する
②データフォルダから画像を選択する

サウンドを挿入する場合は

①「サウンド」を選択する
②データフォルダからサウンドを選択する

動画を挿入する場合は

①「ムービー」を選択する
②データフォルダから動画を選択する

補足

- **挿入したファイルを確認するには**
  ①メニューから「プレビュー」を選択する
  ②メニューから「スライド再生」を選択する

- **ファイルを挿入すると**
  メール作成画面の本文欄に、ファイルの種類を示すアイコンとファイル名、ファイルサイズが表示されます。表示の制限がない画像を挿入した場合は、アイコンの代わりに画像が縮小表示されます。
  ：コンテンツ・キー未購入または未取得で表示できない画像
  ：サウンド
  ：ムービー

- **ファイルを変更するには**
  ①メール作成画面で本文欄のファイルを反転表示する
  ②メニューから「上書き」を選択する
  ③ファイルを選択する

- **ファイルを削除するには**
  ①メール作成画面で本文欄のファイルを反転表示する
  ②メニューから「削除」を選択する
  ③「はい」を選択する

- **ファイルがすでに挿入されている状態で挿入操作をすると**
  スライド表示のページが自動的に追加され、ファイルが挿入されます。画像とサウンドの場合は、1ページに2つのファイルを挿入できます。

- **メモリカードに保存されているファイルを挿入すると**
  メモリカードを取り外すと、下書きに保存する旨のメッセージが表示されたあと、メールメニューに戻ります。S!メールは、挿入したファイルが削除された状態で下書きに保存されます。

ファイルを作成して本文欄に挿入する

メールの作成中に、ファイルを作成して挿入できます。本文欄に挿入したファイルは、メッセージ画面を表示したときに表示／再生されます。

1 メール作成画面で、メニューから「撮影＆録音」を選択する

スライド表示を設定している状態でファイルを挿入する場合は

①メール作成画面でファイルを挿入する本文入力欄を反転表示する
②メニューから「撮影＆録音」を選択する

2 作成方法を選択し、挿入する

写真を撮影する場合は

①「写真撮影」を選択する
②●（撮影）を押す
③●（追加）を押す

動画を録画する場合は

①「ムービー撮影」を選択する
②[●]（録画）を押す
③[●]（保存）を押す
④メニューから「メールに追加」を選択する

サウンドを録音する場合は

①「サウンド録音」を選択する
②[●]（録音）を押す
③[✉]（停止）を押す
④メニューから「メールに追加」を選択する

補足

- **ファイルを挿入すると**
  データフォルダから本文欄に挿入したファイルと同様に動作します（➲P.17-15）。
- **ファイルがすでに挿入されている状態で挿入操作をすると**
  データフォルダから本文欄に挿入したファイルと同様に動作します（➲P.17-15）。
- **ファイルを変更／削除するには**
  データフォルダから本文欄に挿入したファイルと同様に操作できます（➲P.17-15）。
- **静止画の撮影前後の操作について（➲P.7-5）**
- **動画の撮影前後の操作について（➲P.7-10）**
- **サウンドの録音前後の操作について（➲P.14-14）**

作成メールの保存

下書きに保存する

メールの作成を一時中断して他の操作をするときなどに、作成中のメールを下書きに保存できます。

1 メール作成画面で、メニューから「下書きに保存」を選択する

補足

- **メール作成画面で[Clear]／[終話]／[▶○]を押したときは**
  宛先、件名、本文のいずれかを入力した状態、またはファイルを添付／挿入した状態で[Clear]、[終話]または[▶○]を押すと、メール作成の終了を確認するメッセージが表示されます。「はい」を選択すると作成中のメールが下書きに保存されます。

注意

- **宛先、件名、本文のいずれかが入力されている、またはファイルが添付／挿入されている場合のみ、メニューに「下書きに保存」が表示されます。**

定型文に保存する

内容の決まったメールをS!メール定型文として保存することで、簡単にS!メールの作成、送信ができます。

1 メール作成画面で添付ファイル欄または本文欄を反転表示する

2 メニューから「定型文に保存」を選択する

注意

- 件名が入力されている場合、SMSで送信できる文字数以上の本文を入力している場合、またはファイルが挿入されている場合は、メニューに「定型文に保存」が表示されます。

メールボックス

メールの内容確認

708SCでは、メールの種類ごとに5種類のメールボックスが用意されています。

メールボックス	メールの種類
受信ボックス	受信したメールが保存されます。
下書き	作成途中で保存したメールが保存されます。
未送信ボックス	送信に失敗した、送信をキャンセルしたメール、送信待機中のメールが保存されます。
送信済みボックス	送信済みのメールが保存されます。
定型文	定型文として登録したS!メール定型文やSMS定型文が保存されます。

補足

- **メールの保存状況を確認するには**
  ① ✉ を押す
  ②「メモリ容量確認」を選択する
  ③「SMS」「S!メール（件数表示）」「S!メール（サイズ表示）」のいずれかを選択する
- **受信ボックス内に自作フォルダを作成するには（➲P.18-13）**

注意

- **下書きや未送信ボックス、送信済みボックスにSMSが最大数保存されている場合は、新しいSMSの保存時に古いSMSが自動的に削除されます。**

メール一覧から確認する

受信ボックスや未送信ボックスのメール一覧画面から、メッセージを確認できます。

1 ✉ を押す

2 「受信ボックス」または「未送信ボックス」を選択する

メール一覧画面
（受信ボックスの場合）

セキュリティをかけた自作フォルダから確認する場合は
フォルダを選択し、暗証番号を入力して ● （確認）を押す

3 メールを選択する

補足

- **メッセージ画面で[*]または[#]を押すと**
  前後のメールのメッセージ画面に切り替わります。
- **SMSのメッセージ画面でサイドキー[▲][▼]を押すと**
  サイドキー[▲]を押すごとに、文字サイズを2段階拡大できます。
  サイドキー[▼]を押すと、文字サイズを2段階縮小できます。
- **送信済みメールを確認するには**
  ①操作2で「送信済みボックス」を選択する
  ②メールを反転表示し、メニューから「表示」を選択する
- **S!メールの詳細情報を確認するには**
  操作3でS!メールを反転表示し、メニューから「詳細」を選択します。

メール一覧画面の表示

各メールボックスのメール一覧画面には、次の情報が表示されます。

メール一覧画面
（受信ボックスの場合）

補足

- **受信ボックスの一覧画面に表示されるアイコン**
  - ：未読のS!メール(優先度：高)
  - ：未読のS!メール(優先度：標準)
  - ：未読のS!メール(優先度：低)
  - ：未読のS!メール(優先度：高、動画やサウンドの挿入あり)
  - ：未読のS!メール(優先度：標準、動画やサウンドの挿入あり)
  - ：未読のS!メール(優先度：低、動画やサウンドの挿入あり)
  - ：既読のS!メール(優先度：高)
  - ：既読のS!メール(優先度：標準)
  - ：既読のS!メール(優先度：低)
  - ：既読のS!メール(優先度：高、動画やサウンドの挿入あり)
  - ：既読のS!メール(優先度：標準、動画やサウンドの挿入あり)
  - ：既読のS!メール(優先度：低、動画やサウンドの挿入あり)
  - ：未読の受信通知（優先度：高）
  - ：未読の受信通知（優先度：標準）
  - ：未読の受信通知（優先度：低）
  - ：既読の受信通知（優先度：高）
  - ：既読の受信通知（優先度：標準）
  - ：既読の受信通知（優先度：低）
  - ：未読のSMS
  - ：既読のSMS
  - ：未読のSMS（USIMカードに保存）
  - ：既読のSMS（USIMカードに保存）
  - ：未読のS!メール配信レポート
  - ：既読のS!メール配信レポート
  - ：未読のSMS配信レポート
  - ：既読のSMS配信レポート
  - ：S!メール受信中

- **下書きの一覧画面に表示されるアイコン**
  - ：S!メール（優先度：高）
  - ：S!メール（優先度：標準）
  - ：S!メール（優先度：低）
  - ：S!メール（優先度：高、動画やサウンドの挿入あり）
  - ：S!メール（優先度：標準、動画やサウンドの挿入あり）
  - ：S!メール（優先度：低、動画やサウンドの挿入あり）
  - ：SMS

- **未送信ボックスの一覧画面に表示されるアイコン**
  - ：S!メール
  - ：S!メール（動画やサウンドの挿入あり）
  - ：SMS
  - ：S!メール送信中

- **送信済みボックスの一覧画面に表示されるアイコン**
  - ：S!メール
  - ：S!メール（動画やサウンドの挿入あり）
  - ：SMS
  - ：SMS（USIMカードに保存）

- **著作権保護ファイルの情報アイコンについて**
  - ：転送可、コンテンツ・キー購入済みまたは取得済み
  - ：転送可、コンテンツ・キー未購入または未取得
  - ：転送不可、コンテンツ・キー購入済みまたは取得済み
  - ：転送不可、コンテンツ・キー未購入または未取得

- **シークレットモード設定が「非表示」のときは**
  電話帳のシークレットモードが「ON」の相手との送受信メールには、名前は表示されずに電話番号またはE-mailアドレスが表示されます。

メッセージ画面からの操作

電話帳に登録する

受信メールのメッセージ画面や、受信通知画面を表示中に、差出人の電話番号またはE-mailアドレスを電話帳に登録できます。

1 メッセージ画面で、メニューから「電話帳登録」→「本体」または「USIM」の順に選択する

2 登録方法を選択する

新しい電話帳に登録する場合は

「新規」を選択する

既存の電話帳に追加登録する場合は

①「追加」を選択する

②電話帳を検索し、選択する（➲P.5-8）

3 アイコンを選択する

4 各項目を登録する（➲P.5-3）

5 ✉（保存）を押す

注意

- メッセージ画面でアンダーラインの付いた電話番号やE-mailアドレス、URLを反転表示している場合は、メニューに「電話帳登録」は表示されません。

S!メール定型文に保存する

受信S!メールや送信済みS!メールを、S!メール定型文として保存できます。

1 メッセージ画面で、メニューから「S!メール定型文に保存」を選択する

補足

- ファイル名が重複する旨のメッセージが表示されたときは
  ①●（OK）を押す
  ②●（選択）を押し、名前を入力する
  ③✉（保存）を押す
- 名前の入力画面が表示されたときは
  ①●（選択）を押し、名前を入力する
  ②✉（保存）を押す

注意

- パソコンなどから送信されたS!メールのメッセージ画面を表示中は、メニューに「S!メール定型文に保存」は表示されません。

メッセージ画面のメニュー操作

メニュー	内　容
再生	スライド表示や、挿入されている動画やサウンドを再生します（➲P.17-4）。
続きを受信	受信通知のメールの続きを受信します。
返信	受信通知の差出人に返信します。
全員に返信	受信S!メールに入力されているすべての宛先へ返信します。
転送	他の宛先へ転送します。
キーのアクティブ化／コンテンツ･キー再取得	著作権保護ファイルのコンテンツ・キーを購入または取得します。
削除	表示中のメールを削除します。
S!メール定型文に保存	表示中のS!メールを定型文に登録します（➲P.18-5）。
アイテム保存	S!メールに添付または挿入されているファイルをデータフォルダに保存します（➲P.18-12）。
電話帳登録	差出人の電話番号またはE-mailアドレスを電話帳に登録します（➲P.18-5）。
詳細	S!メールの詳細情報を確認します。
デルモジ表示	メッセージをデルモジ表示します（➲P.20-5）。
本体へ移動／USIMへ移動	受信SMSや送信済みSMSを708SC本体またはUSIMカードに移動します（➲P.18-16）。

メールの返信

1 ✉を押し、「受信ボックス」を選択する

2 メールを反転表示し、メニューから「返信」を選択する

S!メールに入力されているすべての宛先へ返信する場合は

メールを反転表示し、メニューから「全員に返信」を選択する

3 メールを作成し、✉（送信）を押す

補足

- **メールの件名表示について**
  返信するS!メールの件名には「RE:」が自動的に付きます。
- **「引用返信」を「ON」に設定しているときは**
  本文入力欄に、2行改行して受信したメッセージを表示します。

注意

- **708SC本体の共有メモリ（➲P.26-13）の空き容量が464Kバイトより少ない場合はメールの返信ができません。メールの返信を行う場合は、不要なメールまたはデータフォルダの不要なファイルを削除してから操作してください。**

メールの転送

受信メールや送信済みメールを、他の宛先に転送できます。

1 ✉を押し、「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選択する

2 メールを反転表示し、メニューから「転送」を選択する

3 メールを作成し、✉（送信）を押す

補足

- メールの件名表示について
  転送するS!メールの件名には「FW:」が自動的に付きます。

注意

- 708SC本体の共有メモリ（➲P.26-13）の空き容量が464Kバイトより少ない場合はメールの転送ができません。メールの転送を行う場合は、不要なメールまたはデータフォルダの不要なファイルを削除してから操作してください。

下書きからのメール送信

1 ✉を押し、「下書き」を選択する

2 メールを反転表示し、✉（送信）を押す

「送信」が表示されない場合は

①●（編集）を押す

②宛先を入力し、✉（送信）を押す

未送信ボックスからのメール送信

未送信メールを再送信できます。

1 ✉を押し、「未送信ボックス」を選択する

2 メールを反転表示し、✉（送信）を押す

修正してから送信する場合は

①メールを反転表示し、メニューから「編集」を選択する

②メールを作成し、✉（送信）を押す

メールの削除

メールを指定して削除する

1件または複数件のメールを指定して削除できます。登録した定型文を指定して削除することもできます。

1 [✉]を押す

2 メールボックスを選択する

登録したS!メール定型文／SMS定型文を削除する場合は

「定型文」→「S!メール定型文」または「SMS定型文」の順に選択する

3 削除操作をする

1件のメール／定型文を削除する場合は

①メールまたは定型文を反転表示する
②メニューから「削除」→「1件」の順に選択し、「はい」を選択する

複数件のメール／定型文を削除する場合は

①メニューから「削除」→「複数」の順に選択する
②削除するメールまたは定型文をチェックありにする
③②を繰り返して対象のメールまたは定型文をすべてチェックありにする
④[✉]（削除）を押し、すべてをチェックありにしていない場合は⑥に進む
⑤暗証番号を入力し、[●]（確認）を押す
⑥「はい」を選択する

補足

- **複数件のメール／S!メール定型文を選択中に内容を表示して確認するには**
  ①操作1～2を行う
  ②メニューから「削除」→「複数」の順に選択する
  ③メールまたはS!メール定型文を反転表示し、メニューから「表示」を選択する
- **複数件のメール／S!メール定型文を選択中にまとめて選択／選択解除するには**
  ①操作1～2を行う
  ②メニューから「削除」→「複数」の順に選択する
  ③メニューから「全チェック」または「チェック全解除」を選択する
- **複数件のSMS定型文を選択中にまとめて選択／選択解除するには**
  ①操作1～2を行う
  ②メニューから「削除」→「複数」の順に選択する
  ③[Y!]（全チェック）または[Y!]（チェック全解除）を押す

注意

- お買い上げ時に登録されているS!メール定型文を反転表示している場合は、メニューに「削除」は表示されません。

メールボックスを指定して削除する

1. ✉を押し、「設定」→「全削除」の順に選択する
2. 削除するメールボックスをチェックありにする
3. 操作 2 を繰り返して対象のメールボックスをすべてチェックありにする
4. ✉（削除）を押す
5. 暗証番号を入力し、●（確認）を押して「はい」を選択する

メールボックス内のメールをすべて削除する

登録した定型文をまとめて削除することもできます。

1. ✉を押す
2. メールボックスを選択する

   登録したS!メール定型文／SMS定型文を削除する場合は

   「定型文」→「S!メール定型文」または「SMS定型文」の順に選択する
3. メニューから「削除」→「全件」の順に選択する
4. 暗証番号を入力し、●（確認）を押して「はい」を選択する

注意

- 自作フォルダは削除されません。ただし、「メール」→「設定」→「全削除」を行うと、自作フォルダも削除されます。
- お買い上げ時に登録されているS!メール定型文は削除できません。

メール内の電話番号／E-mailアドレス／URLの利用

メッセージ画面や受信通知画面にアンダーラインの付いた電話番号やE-mailアドレス、URLがある場合は、電話帳への登録や、電話の発信、メールの送信、ブックマークへの登録、インターネットへのアクセスができます。

リンク情報として認識できる最大文字数はS!メールの文字サイズの設定によって異なり、「標準」の場合は34行分（1054文字）、「大」の場合は41行分（1025文字）、「小」の場合は31行分（1054文字）となります。

電話帳に登録する

1 メッセージ画面で電話番号、E-mailアドレス、URLを選択し、「電話帳登録」→「本体」または「USIM」の順に選択する

2 登録方法を選択する

新しい電話帳に登録する場合は

「新規」を選択する

既存の電話帳に追加登録する場合は

①「更新」を選択する

②電話帳を検索し、選択する（➔P.5-8）

3 アイコンを選択する

4 各項目を登録する（➔P.5-3）

5 [✉]（保存）を押す

注意

- URLを選択した場合は、操作1で「USIM」を選択できません。

ブックマークに登録する

1 メッセージ画面でURLを選択し、「ブックマーク」を選択する

2 [●]（選択）を押し、タイトルを入力して[✉]（保存）を押す

電話発信／メール送信／インターネットアクセスを行う

メッセージ画面のメッセージや、受信通知画面に表示されている電話番号やE-mailアドレス、URLの情報を利用できます。

1 メッセージ画面で利用操作をする

音声電話をかける場合は
電話番号を選択し、「音声通話」を選択する

TVコールをかける場合は
電話番号を選択し、「TVコール」を選択する

メールを送信する場合は
①電話番号またはE-mailアドレスを選択し、「メール作成」を選択する
②メールを作成し、[✉]（送信）を押す

インターネットへアクセスする場合は
URLを選択し、「URLに接続」を選択する

補足

- **受信通知画面での操作について**
「From」（相手の電話番号）以外で電話番号などの情報がある場合に利用できます。

添付ファイルの利用

添付ファイルを確認する

S!メールに添付されている画像やサウンドなどのファイルを表示／再生して確認できます。vCardやvCalendarが添付されている場合は、詳細画面を表示して確認できます。

1 メッセージ画面でファイルを選択し、「ファイルを開く」を選択する

補足

- **確認前にファイルをデータフォルダに保存するには**
  メッセージ画面でファイルを選択し、「アイテム保存」を選択します。
- **確認前に vCard や vCalendar を電話帳／カレンダーに登録するには**
  メッセージ画面でファイルを選択し、「電話帳登録」または「カレンダーに登録」を選択します。
- **確認後に vCard や vCalendar を電話帳やカレンダーに登録するには**
  ①操作1を行う
  ②[●]（登録）を押す
- **コンテンツ・キーの購入／取得が必要なファイルが添付されているときは**
  操作1を行うとメッセージが表示され、ファイルを開けません。ファイルを確認する場合は、操作1で「アイテム保存」を選択してファイルを保存し、データフォルダからコンテンツ・キーを購入または取得すると確認できます。(➔P.11-14)。
- **回数制限があり 1 回だけ再生／表示できるファイルが添付されているときは**
  操作1を行うと、表示／再生回数が1回だけ残っていることをお知らせするメッセージが表示されます。

データフォルダに保存する

S!メールに添付／挿入されているファイルを708SCに保存できます。

1 メッセージ画面で、メニューから「アイテム保存」を選択する

2 ファイルの選択操作をする

1件のファイルを選択して保存する場合は

①ファイルを反転表示する
②[●]（選択）を押す、またはメニューから「1件」を選択する

複数件のファイルを選択して保存する場合は

①メニューから「複数」を選択する
②保存するファイルをチェックありにする
③②を繰り返して対象のファイルをすべてチェックありにする
④[✉]（保存）を押す

すべてのファイルを保存する場合は

メニューから「全件」を選択する

補足

- **複数件のファイルを選択中にまとめて選択／選択解除するには**
  ①操作2で、メニューから「複数」を選択する
  ②[Y!]（全チェック）または[Y!]（チェック全解除）を押す
- **保存時にファイル名が重複する旨のメッセージが表示されたときは**
  ①[●]（OK）を押す
  ②[●]（選択）を押し、ファイル名を修正する
  ③[✉]（保存）を押す

注意

- **メッセージ画面でファイルを反転表示している場合は、メニューに「アイテム保存」は表示されません。**

フォルダの管理

受信ボックス内に自作フォルダを作成して、メールの種類ごとにフォルダに保存して管理できます。自作フォルダにはセキュリティを設定することもできます。

フォルダを作成する

1 [✉]を押し、「受信ボックス」を選択する

2 メニューから「フォルダ作成」を選択する

3 名前を入力する

フォルダ名を変更する

自作フォルダの名前を変更できます。

1 [✉]を押し、「受信ボックス」を選択する

2 自作フォルダを反転表示し、メニューから「フォルダ名変更」を選択する

3 名前を入力する

セキュリティを設定／解除する

自作フォルダにセキュリティを設定すると、自作フォルダ内のメールを確認するときに暗証番号の入力が必要になります。

1 [✉]を押し、「受信ボックス」を選択する

2 自作フォルダを反転表示し、メニューから「セキュリティ ON／OFF」を選択する

3 暗証番号を入力し、[●]（確認）を押して「はい」を選択する

補足

- **セキュリティを設定したフォルダの表示について**
  フォルダの表示が[icon]に変わります。
- **セキュリティを設定すると**
  自作フォルダを選択すると暗証番号の入力画面が表示され、暗証番号を入力して[●]（OK）を押すと、自作フォルダ内のメール一覧が表示されます。

メールを移動する

1 [✉]を押し、「受信ボックス」を選択する

自作フォルダ内のメールを他の自作フォルダに移動する場合は
自作フォルダを選択する

2 メールを反転表示し、メニューから「移動」を選択する

3 移動先のフォルダを選択する

受信ボックス内へメールを戻す場合は
「受信ボックス」を選択する

フォルダを削除する

1 [✉]を押し、「受信ボックス」を選択する

2 自作フォルダを反転表示し、メニューから「フォルダ削除」を選択する

3 暗証番号を入力し、[●]（確認）を押す

4 「はい」を選択する

メール一覧画面からの操作

電話帳に登録する

1 [✉]を押し、「受信ボックス」「未送信ボックス」「送信済みボックス」のいずれかを選択する

2 メールを反転表示し、メニューから「電話帳登録」を選択する

3 電話番号またはE-mailアドレスを選択し、「本体」または「USIM」を選択する

4 登録方法を選択する

新しい電話帳に登録する場合は

「新規」を選択する

既存の電話帳に追加登録する場合は

①「追加」を選択する

②電話帳を検索し、選択する（➔P.5-8）

5 アイコンを選択する

6 各項目を登録する（➔P.5-3）

7 [✉]（保存）を押す

メールを並べ替える

表示するメールボックスのメール一覧画面により、選択できる並べ替えの方法は異なります。

1 メール一覧画面で、メニューから「並べ替え」を選択する

2 項目を選択する

日付の新しい順に並べ替える場合は

「日付順」を選択する

送信者の順に並べ替える場合は

「送信者順」を選択する

宛先の順に並べ替える場合は

「宛先」を選択する

既読のメールと未読のメールに分けて表示する場合は

「未読／既読順」または「既読／未読順」を選択する

メールの種類ごとに分けて表示する場合は

「メールタイプ順」を選択する

件名の順に並べ替える場合は

「件名順」を選択する

メールサイズの大きい順に並べ替える場合は

「サイズ順」を選択する

補足

- **「メールタイプ順」を選択したときの並び順について**
  「SMS→S!メール（受信通知を含む）→USIMカードに保存されているSMS」の順で表示されます。
- **「送信者順」「宛先」「件名順」を選択したときの並び順について**
  「半角記号→半角数字→半角英字→半角カタカナ→全角記号→全角ひらがな→全角カタカナ→漢字→全角数字→全角英字」の順で表示されます。ただし、「件名順」を選択したときは「件名なし」が優先されます。

SMSを708SC本体／USIMカードに移動する

受信SMSや送信済みSMSを移動できます。

USIMカードには、最大10通のSMSを保存できます。

1 ⊠を押し、「受信ボックス」または「送信済みボックス」を選択する

2 移動操作をする

USIMカードから708SC本体に移動する場合は

①USIMカードに保存されているSMSを反転表示する

②メニューから「本体へ移動」を選択する

708SC本体からUSIMカードに移動する場合は

①708SC本体に保存されているSMSを反転表示する

②メニューから「USIMへ移動」を選択する

補足

- **受信ボックス／送信済みボックスのメール一覧画面に表示されるSMSのアイコンについて**
  - ：未読の受信SMS
  - ：既読の受信SMS
  - ：未読の受信SMS（USIMカードに保存）
  - ：既読の受信SMS（USIMカードに保存）
  - ：送信済みSMS
  - ：送信済みSMS（USIMカードに保存）
- **自作フォルダにある受信SMSをUSIMカードに移動する場合は**
  確認メッセージが表示されます。「はい」を選択するとUSIMカードに移動されます。

S!メール定型文を登録する

SMS定型文の登録については、「SMS定型文の利用」を参照してください（➔P.4-13）。

1 ⊠を押し、「定型文」→「S!メール定型文」の順に選択する

2 メニューから「新規追加」を選択する

3 件名欄または本文欄を選択し、件名またはメッセージを入力する

4 ⊠（保存）を押す

補足

- **作成中のS!メール定型文を確認するには**
  操作3で、メニューから「プレビュー」を選択します。
- **登録したS!メール定型文を表示して確認するには**
  操作2でS!メール定型文を反転表示し、メニューから「表示」を選択します。
- **登録したS!メール定型文を修正するには**
  ①操作2で登録したS!メール定型文を選択し、修正操作をする
  ②[✉]（保存）を押す
- **登録したS!メール定型文を削除するには**
  メールと同様に操作します（➲P.18-8）。
- **文字のコピー／切り取り／貼り付けを行うには（➲P.4-9）**
- **SMS定型文や電話帳の内容を引用するには（➲P.4-8）**
- **入力中の文字のサイズを変更するには**
  ①操作３で本文欄を選択し、メニューから「文字サイズ」を選択する
  ②「小」「標準」「大」のいずれかを選択する
- **予測入力機能を設定／解除するには（➲P.4-11）**
- **スライド表示の設定操作やファイルの挿入操作について**
  ①操作３で、メニューから「挿入」または「撮影＆録音」を選択する
  ②設定、添付、または挿入操作をする（➲P.17-10、17-14、17-15）。
- **デルモジ表示を確認するには**
  操作3で本文欄を反転表示し、メニューから「デルモジ表示」を選択します。

メール一覧画面のメニュー操作

各メールボックスのメール一覧画面や定型文一覧画面のメニューから、次の操作ができます。

メニュー	内　容
全文受信	メールサーバーに保存されているメールの続きを受信します。
返信	受信メールの差出人に返信します（➲P.18-6）。
全員に返信	受信S!メールに入力されているすべての宛先へ返信します（➲P.18-6）。
転送	受信メールを他の宛先に送信します（➲P.18-7）。
移動	受信メールを自作フォルダに移動します（➲P.18-14）。
フォルダ作成	自作フォルダを作成します（➲P.18-13）。
フォルダ名変更	自作フォルダの名前を変更します（➲P.18-13）。
セキュリティ ON／OFF	セキュリティを設定すると、自作フォルダ内のメール確認時に暗証番号の入力が必要になります（➲P.18-13）。
フォルダ削除	自作フォルダを削除します（➲P.18-14）。

メニュー	内　容
表示	送信済みメールやS!メール定型文を表示して確認します（➔P.18-3、18-17）。
編集	未送信メールを修正して送信します（➔P.18-7）。
削除	メールや定型文を削除します（➔P.18-8、18-9）。
本体へ移動／USIMへ移動	受信SMSや送信済みSMSを708SC本体またはUSIMカードに移動します（➔P.18-16）。
並べ替え	メール一覧画面のメールの並び順を変更します（➔P.18-15）。
電話帳登録	差出人や宛先の電話番号またはE-mailアドレスを電話帳に登録します（➔P.18-14）。
詳細	自作フォルダ内のメールの保存状況やS!メールの詳細情報を確認します。
受信中止	メールサーバーからのメールの受信を中止します。
送信	S!メール定型文やSMS定型文を利用してメールを送信します（➔P.17-12）。
新規追加	S!メール定型文やSMS定型文を登録します（➔P.4-13、18-16）。

メールサーバー

メールリストの利用

メールサーバーに保存されているメールを一覧で確認できます。メールリストからメールの受信や転送、削除の操作ができます。

メールリストを取得する

1 ✉を押し、「サーバーメール操作」を選択する

2 「メールリスト更新」を選択する

3 画面の指示に従って操作する

補足

- **メールサーバーの使用状況を確認するには**
  ①操作2で「サーバーメール容量」を選択する
  ②最新の情報に更新する場合は●（更新）を押し、「はい」を選択する

メールリストからメールを受信する

1 ✉を押し、「サーバーメール操作」を選択する

2 「メールリスト」を選択する

3 メールを反転表示し、メニューから「全文受信」を選択する

補足

- **メールリストのすべてのメールを受信するには**
  操作2で「メール全受信」を選択します。

メールリストを利用してサーバー内のメールを削除する

1 ✉を押し、「サーバーメール操作」を選択する

2 「メールリスト」を選択する

3 削除操作をする

1件のメールを削除する場合は

①メールを反転表示する

②メニューから「削除」→「1件」の順に選択し、「はい」を選択する

複数件のメールを削除する場合は

①メニューから「削除」→「複数」の順に選択する

②削除するメールをチェックありにする

③②を繰り返して対象のメールをすべてチェックありにする

④[✉]（削除）を押し、すべてをチェックありにしていない場合は⑥に進む

⑤暗証番号を入力し、[●]（確認）を押す

⑥「はい」を選択する

すべてのメールを削除する場合は

①メニューから「削除」→「全件」の順に選択する

②暗証番号を入力し、[●]（確認）を押して「はい」を選択する

補足

- **複数件のメールを選択中にまとめて選択／選択解除するには**
  ①操作1〜2を行う
  ②メニューから「削除」→「複数」の順に選択する
  ③メニューから「全チェック」または「チェック全解除」を選択する

サーバー内のメール転送

メールサーバーに保存されているメールを、他の相手に転送できます。宛先以外の登録内容は編集されずに送信されます。

1 [✉]を押し、「サーバーメール操作」を選択する

2 「メールリスト」を選択する

3 メールを反転表示し、メニューから「メール転送」を選択する

4 宛先の入力操作をする

宛先を直接入力する場合は

①入力欄を選択し、表示されている「直接入力」を選択する

②電話番号またはE-mailアドレスを入力する

履歴を利用して宛先を入力する場合は

入力欄を選択し、表示されている履歴を選択する

電話帳から宛先を選択する場合は

①入力欄を選択し、「電話帳検索」を選択する

②電話帳を検索し、選択する（➔P.5-8）

③電話番号またはE-mailアドレスを反転表示し、[✉]（選択）を押す

電話帳のグループから宛先を選択する場合は

①入力欄を選択し、「グループ検索」を選択する

②グループを選択し、宛先の選択画面が表示された場合は入力する宛先を反転表示して[✉]（選択）を押す

5 メニューから「送信」を選択する

補足

- **メールの件名表示について**
  転送したメールの件名には「FW:」が自動的に付きます。
- **作成中のメールの送信設定をするには**
  ①操作5で、メニューから「送信設定」を選択する
  ②項目を選択し、設定操作をする（➔P.20-2）
  ③[✉]（適用）を押す
- **宛先を削除するには**
  操作5で宛先を反転表示し、メニューから「削除」を選択します。
- **宛先の種類をTo／Cc／Bccに変更するには**
  ①操作5で宛先を反転表示し、メニューから「To／Cc／Bcc変更」を選択する
  ②「To」「Cc」「Bcc」のいずれかを選択する

メールのその他設定

メールアドレスの変更

パソコンなどからE-mailを受信するときに使用するE-mailアドレスのアカウント名(@より前の部分)を変更できます。

ご契約時のアカウント名は、ランダムな英数字に設定されています。

1 ✉を押し、「設定」→「S!メール」→「メール・アドレス設定」の順に選択する

2 画面の指示に従って操作する

S!メール設定

送信設定

お買い上げ時 ■優先度：標準 ■有効期限：最大
■配信時間：自動配信
■配信確認：チェックなし

送信するS!メールに関する設定ができます。送信するS!メールごとに送信設定をすることもできます（➔P.17-9）。

1 ✉ を押し、「設定」→「S! メール」→「送信設定」を選択する

2 項目を選択し、設定操作をする

メールの優先度を設定する場合は
①「優先度」を選択する
②項目を選択し、● （OK）を押す

メールサーバーの保存期間を設定する場合は
①「有効期限」を選択する
②項目を選択し、「時間設定（時間)」を選択した場合は時間を入力する
③● （OK）を押す

メールサーバーから相手に配信する時間を設定する場合は
①「配信時間」を選択する
②項目を選択し、● （OK）を押す

配信レポートの送信を要求する場合は
「配信確認」をチェックありにする

3 ✉ （保存）を押す

補足

- **「有効期限」で設定した保存期間を経過すると**
  メールサーバーからS!メールが自動的に削除されます。
- **「配信時間」で時間を設定すると**
  設定した時間が経過すると、メールサーバーからS!メールが送信されます。

● **「配信確認」をチェックありにすると**
メールサーバーからS!メールが配信されると、配信レポートがお客様の708SCに送信されます。

受信設定

お買い上げ時 ■国内ネットワーク：自動受信
■ローミングネットワーク：手動受信

受信するS!メールに関する設定ができます。

1 **[✉]を押し、「設定」→「S! メール」→「受信設定」の順に選択する**

2 **項目を選択し、設定操作をする**

日本での受信方法を設定する場合は
①「国内ネットワーク」を選択する
②項目を選択し、[●]（OK）を押す

ローミング中の受信方法を設定する場合は
①「ローミングネットワーク」を選択する
②項目を選択し、[●]（OK）を押す

3 **[✉]（保存）を押す**

補足

● **「国内ネットワーク」「ローミングネットワーク」の設定内容は**
「自動受信」：自動的に受信する
「手動受信」：受信通知のみを受信する

最大メールサイズ

お買い上げ時 ■300KB

指定したサイズ以上のメールを送信できないようにします。

1 ⊠を押し、「設定」→「S! メール」→「最大メールサイズ」の順に選択する

2 項目を選択し、●（保存）を押す

標準スタイル設定

お買い上げ時 ■文字色：黒 ■文字サイズ：大 ■背景色：白
■スライド表示時間；時間設定（3秒）

文字の色やスタイル、背景色、スライド表示のページの表示時間を設定できます。送信するS!メールごとに表示スタイルを設定することもできます（➔P.17-10）。

1 ⊠を押し、「設定」→「S! メール」→「標準スタイル設定」の順に選択する

2 項目を選択し、設定操作をする

文字色を設定する場合は

①「文字色」を選択する

②✥を押して目的の色を反転表示し、●（OK）を押す

文字スタイルを設定する場合は

①「文字サイズ」を選択する

②項目を選択し、●（OK）を押す

背景色を設定する場合は

①「背景色」を選択する

②✥を押して目的の色を反転表示し、●（OK）を押す

ページの表示時間を設定する場合は

①「スライド表示時間」を選択する

②項目を選択し、「時間設定」を選択した場合は時間を入力する

③●（OK）を押す

3 ⊠（保存）を押す

SMS設定

お買い上げ時 ■配信確認：チェックなし ■文字コード：自動

送信するSMSに関する設定ができます。送信するSMSごとに設定をすることもできます（➔P.17-9）。

1 ⊠を押し、「設定」→「SMS」の順に選択する

2 項目を選択し、設定操作をする

配信レポートの送信を要求する場合は

「配信確認」をチェックありにする

文字コードを変更する場合は

①「文字コード」を選択する

②項目を選択し、[●]（OK）を押す

3 [✉]（保存）を押す

補足

- **「配信確認」をチェックありにすると**
  メールサーバーからSMSが配信されると、配信レポートがお客様の708SCに送信されます。

デルモジ表示設定

お買い上げ時 ■表示タイプ：OFF
■背景パターン：パターン1　■表示速度：標準

デルモジ表示とは、メッセージ内の単語や絵文字、顔文字などに対応して3Dアニメーションが表示される機能です。

デルモジ表示の有無や背景色、表示速度を設定できます。

1 [✉]を押し、「設定」→「デルモジ表示設定」の順に選択する

2 項目を選択し、設定操作をする

デルモジ表示の有無を設定する場合は

①「表示タイプ」を選択する

②項目を選択し、[●]（保存）を押す

背景色と文字色のパターンを設定する場合は

①「背景パターン」を選択する

②[◀▶]を押して目的のパターンを表示し、[●]（保存）を押す

表示速度を設定する場合は

①「表示速度」を選択する

②項目を選択し、[●]（保存）を押す

補足

- **「表示タイプ」の設定内容は**
  「常に表示」：メッセージを確認するときに常にデルモジ表示する
  「未読のみ」：未読メールのメッセージを確認するときのみデルモジ表示する
  「OFF」：デルモジ表示しない

注意

- **ファイルが添付されているS!メールや、スライド表示が2ページ以上のS!メールなど、メールによってはデルモジ表示できない場合があります。**

引用返信

お買い上げ時 ■OFF

メールの返信をするとき、本文に相手のメッセージを含めるかどうかを設定できます。

1 **[✉]を押し、「設定」→「引用返信」の順に選択する**

2 **項目を選択し、[●]（保存）を押す**

補足

- **設定内容は**
「ON」：返信時に相手のメッセージを本文に入れる
「OFF」：返信時に相手のメッセージを本文に入れない

ウェブの基本操作

ウェブをご利用になる前に

ウェブについて

Yahoo!ケータイやインターネットにアクセスし、いろいろなコンテンツを閲覧したり、画像やサウンドなどをダウンロードしたりできます。

ウェブのご利用には、別途ご契約が必要です。

Yahoo!ケータイのメインメニューからアクセス

Yahoo!ケータイのメインメニューから項目を選択して、コンテンツにアクセスできます。

インターネットアクセス

表示するホームページのURLを入力して、コンテンツにアクセスできます。

SSL／TLSについて

SSL（Secure Sockets Layer）とTLS（Transport Layer Security）とは、データを暗号化して送受信するためのプロトコル（通信規約）です。SSL／TLS接続時の画面では、データを暗号化し、プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができ、盗聴、改ざん、なりすましなどのネットワーク上の危険から保護します。

708SCでは、あらかじめ認証機関から発行されたサーバ証明書が登録されていて、確認することもできます（➔P.22-13、23-4）。

SSL／TLSの利用に関するご注意

セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任においてSSL／TLSを利用するものとします。

お客様自身によるSSL／TLSの利用に際し、ソフトバンクモバイル株式会社および認証会社である日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、エントラストジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社は、お客様に対しSSL／TLSの安全性に関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

キャッシュについて

キャッシュとは、ウェブで入手したメニューや情報を一時的に保存するメモリです。キャッシュに保存された情報はウェブを終了したり電源を切ったりしても保持されますが、メモリの容量がいっぱいになると古い情報から自動的に消去されます。

キャッシュに情報が保存されている情報画面を再表示すると、サービスセンター内の最新情報ではなく、以前に表示した情報画面が表示される場合があります。最新の情報を表示するには、情報を更新してください（➔P.22-12）。

補足

- **手動でキャッシュに保存されている情報を消去するには（➔P.23-4）**
- **708SCに他のUSIMカードを取り付けたときは**
  キャッシュに保存されている情報が自動的に消去されます。
- **有効期限が設定されている情報が保存されているときは**
  設定されている期限になると、キャッシュから自動的に消去されます。

ウェブにアクセスする

Yahoo!ケータイのメインメニューからアクセスする

Yahoo!ケータイのメインメニューから項目を選択して、目的の情報画面にアクセスできます。

1 **[Y!]を押す**

2 **項目を選択する**

補足

- **お買い上げ後に初めてウェブにアクセスすると**
  操作１を行うと日時設定画面が表示されます。日時設定を行うと、情報画面が表示されます。

URLを入力してアクセスする

1 ●を押し、「Yahoo!ケータイ」→「URL入力」の順に選択する

2 URL欄を選択し、URLを入力する

3 ✉（移動）を押す

補足

- **入力したURLをブックマークに登録する場合は**
  ①操作2で「ブックマーク登録」をチェックありにする
  ②タイトル欄を選択し、タイトルを入力する
  ③✉（移動）を押す
- **アクセス履歴から情報画面にアクセスするには（➲P.22-10）**

情報画面の操作のしかた

情報画面を表示中は、次のように操作します。

情報画面のスクロール

情報画面にスクロールバーが表示されているときは、画面をスクロールさせてコンテンツを閲覧します。

スクロールバー

▽／▷：下方向に1行分スクロールする
情報画面の下部に横方向のスクロールバーが表示されている場合は、▷を押すと右方向にスクロールします。

△／◁：上方向に1行分スクロールする
情報画面の下部に横方向のスクロールバーが表示されている場合は、◁を押すと左方向にスクロールします。

サイドキー▼：情報画面を下方向に複数行分スクロールする

サイドキー▲：情報画面を上方向に複数行分スクロールする

カーソルの移動

リンクなどの項目を選択するときは、項目にカーソルを移動します。

[下]／[右]：縦に項目が並んでいる場合に、カーソルを下の項目へ移動する

情報画面がいちばん下へスクロールされている状態の場合は、サイドキー[下]を押しても下の項目へカーソルを移動できます。

[上]／[左]：縦に項目が並んでいる場合に、カーソルを上の項目へ移動する

情報画面がいちばん上へスクロールされている状態の場合は、サイドキー[上]を押しても上の項目へカーソルを移動できます。

補足

- **同じ行に項目が並んでいるときは**
  [左右]を押してカーソルを左右に移動できます。
- **カーソルを移動すると**
  リンクなどの項目が反転表示されたり、点線の枠で囲まれたりします。

前の情報画面／次の情報画面への切り替え

リンクなどを反転表示して[●]（選択）：次の情報画面へ切り替える

メニューから「進む」を選択しても切り替えられます。

[✉]（戻る）または[Clear]：前の情報画面へ切り替える

補足

- **前の情報画面がない状態で[✉]（戻る）／[Clear]を押すと**
  ウェブ接続の終了を確認するメッセージが表示され、「はい」を選択するとウェブ接続を終了します。

情報画面の文字入力／項目選択

情報画面には次のような欄や項目が表示される場合があります。

❶文字入力欄

登録内容や認証のパスワードなどを入力します。文字入力欄を反転表示して●（選択）を押し、文字を入力します。

❷ラジオボタン

選択項目から1つの項目を選択します。○の項目を反転表示して●（選択）を押すと、◉に変わり選択された状態になります。

❸メニュー欄

メニューを表示して項目を選択します。メニュー欄を反転表示して●（選択）を押すと、メニューが表示されます。◎を押して項目を反転表示し、●（選択）を押すと、項目が選択されます。複数の項目を選択できるメニュー欄では、Clearを押すと選択モードが解除されます。

❹チェックボックス

選択項目から複数の項目を選択します。□の項目を反転表示して●（選択）を押すと、☑に変わり選択された状態になります。選択を解除する場合は☑を反転表示して●（選択）を押します。

❺実行ボタン

「送信」や「リセット」など、ボタンに表示されている操作を実行します。実行ボタンを反転表示して●（選択）を押すと、操作が実行されます。

注意

- **文字入力や項目選択の表示は、表示する情報画面によって異なる場合があります。**

情報内の電話番号／E-mailアドレス／URLを利用する

情報画面に表示されている電話番号やE-mail アドレス、URL を利用して、電話の発信やメールの送信、他の情報画面へのアクセスなどができます。

利用できる電話番号やE-mailアドレス、URLには、アンダーラインが表示されます。

電話発信／メール送信／インターネットアクセスを行う

1 電話番号が表示されている情報画面を表示する

2 利用操作をする

音声電話をかける場合は

電話番号を選択し、「音声電話」を選択する

メールを送信する場合は

①電話番号または E-mail アドレスを選択し、「メール作成」を選択する

②メールを作成し、[✉]（送信）を押す

他の情報画面にアクセスする場合は

URLを選択する

電話帳に登録する

1 電話番号、E-mail アドレスが表示されている情報画面を表示する

2 電話番号またはE-mailアドレスを選択し、「電話帳登録」または「アドレス登録」→「本体」または「USIM」の順に選択する

3 登録方法を選択する

新しい電話帳に登録する場合は

「新規」を選択する

既存の電話帳に追加登録する場合は

①「更新」を選択する

②電話帳を検索し、選択する（➔P.5-8）

4 アイコンを選択する

5 各項目を登録する（➔P.5-3）

6 [✉]（保存）を押す

情報の利用

画像ファイルの利用

データフォルダに保存する

画像のリンクから保存する

情報画面に画像をダウンロードするリンクが表示されている場合は、リンクから画像をダウンロードして708SC本体に保存できます。

1 リンクが表示されている情報画面を表示する

2 画像のリンクを選択する

3 [●]（OK）を押す

ファイルの詳細情報画面が表示された場合は

[●]（OK）を押す

4 [Clear]を押す

保存画像の確認画面を表示する場合は

[●]（起動）を押す

保存画像を壁紙に設定する場合は

[✉]（設定）を押し、「壁紙に登録する」の操作3（➔P.22-3）を行う

表示中の画像を保存する

情報画面に表示されている画像を、708SC本体に保存できます。

1 画像が表示されている情報画面を表示する

2 メニューから「保存」→「画像保存」の順に選択する

3 画像を反転表示し、[●]（保存）を押す

4 [Clear]を押す

保存画像の確認画面を表示する場合は

[●]（起動）を押す

保存画像を壁紙に設定する場合は

[✉]（設定）を押し、「壁紙に登録する」の操作3（➔P.22-3）を行う

5 画像の保存操作を終了する場合は[Clear]を押す

他の画像を保存する場合は

操作3を繰り返す

補足

- **保存時にファイル名が重複する旨のメッセージが表示されたときは**
  ①[●]（編集）を押し、ファイル名を修正する
  ②[✉]（保存）を押す
- **保存画像の確認画面の操作について**
  [✉]（設定）を押すと保存画像を壁紙に設定できます（➔P.22-3）。[●]（ズーム）を押すと画像を拡大／縮小表示できます。[Y!]（詳細）を押すと画像の詳細情報を確認できます。
- **SVG-T／SWF形式のファイルを保存したときは**
  保存画像の確認画面に「メニュー」が表示され、メニューから各種操作ができます（➔P.11-8）。

壁紙に登録する

保存した画像を壁紙などに設定できます。

1 保存画像の確認画面を表示する（➔P.22-2）

2 [✉]（設定）を押す

3 項目を選択する

ディスプレイの壁紙に設定する場合は
①「壁紙（メインディスプレイ）」を選択する
②[●]（設定）を押す

電話帳の着信画像に設定する場合は
①「個別着信画像」を選択する
②電話帳を検索し、選択する（➔P.5-8）
③[●]（設定）を押す

代替画像に設定する場合は
①「TVコール代替画像」を選択する
②[●]（保存）を押す

注意

- **SVG-T/SWF形式のファイルの場合、「設定」が表示されません。ディスプレイの壁紙に設定する場合は、データフォルダから操作してください（➔P.11-8）。**

サウンドファイルの利用

サウンドを再生する

情報画面にサウンドを再生するリンクが表示されている場合は、リンクからサウンドを再生できます。

1 リンクが表示されている情報画面を表示する

2 サウンドのリンクを選択する

データフォルダに保存する

サウンドのリンクから保存する

情報画面にサウンドをダウンロードするリンクが表示されている場合は、リンクからサウンドをダウンロードして708SC本体に保存できます。

1 リンクが表示されている情報画面を表示する

2 サウンドのリンクを選択する

3 ●（OK）を押す

ファイルの詳細情報画面が表示された場合は

●（OK）を押す

4 「終了」を選択する

保存サウンドの確認画面を表示する場合は

「起動」を選択する

再生中のサウンドを保存する

情報画面を表示中にバックグラウンドで再生されるサウンドを、708SC本体に保存できます。

1 バックグラウンドでサウンドが再生される情報画面を表示する

2 メニューから「保存」→「サウンド保存」の順に選択する

3 Clearを押す

保存サウンドの確認画面を表示する場合は

●（起動）を押す

保存サウンドを着信音に設定する場合は

✉（設定）を押し、「サウンドファイルを着信音に設定する」の操作3（➔P.11-11）を行う

補足

- **保存時にファイル名が重複する旨のメッセージが表示されたときは**
  ① ●（編集）を押し、ファイル名を修正する
  ② ✉（保存）を押す
- **保存サウンドの確認画面の操作について**
  ✉（設定）を押すと保存サウンドを着信音に設定できます（➔P.11-11）。その他の操作については、メディアプレイヤーと同様に操作できます（➔P.10-3）。

保存サウンドの確認画面のメニュー操作

画面の状況により表示される項目は異なります。

メニュー	内　容
停止	再生中または一時停止中のサウンドを停止します。
ブックマーク表示	ブックマークに登録したストリーミング再生のリンクがある情報画面にアクセスします。
履歴表示	以前に利用したストリーミング再生のリンクがある情報画面にアクセスします。
詳細	サウンドの詳細情報を確認します。
プレイヤー設定	プレイヤー設定を変更します（➔P.10-7）。

動画ファイルの利用

動画を再生する

情報画面に動画を再生するリンクが表示されている場合は、リンクから動画を再生できます。

1 リンクが表示されている情報画面を表示する

2 動画のリンクを選択する

データフォルダに保存する

情報画面に動画をダウンロードするリンクが表示されている場合は、リンクから動画をダウンロードして708SC本体に保存できます。

1 リンクが表示されている情報画面を表示する

2 動画のリンクを選択する

3 [●]（OK）を押す

ファイルの詳細情報画面が表示された場合は

[●]（OK）を押す

4 [Clear]を押す

保存動画の確認画面を表示する場合は

[●]（起動）を押す

保存動画を着信音に設定する場合は

[✉]（設定）を押し、「動画ファイルを着信音に設定する」の操作3（➔P.11-12）を行う

補足

- **保存時にファイル名が重複する旨のメッセージが表示されたときは**
  ①[●]（編集）を押し、ファイル名を修正する
  ②[✉]（保存）を押す
- **保存動画の確認画面の操作について**
  [✉]（設定）を押すと保存動画を着信音に設定できます（➲P.11-11）。その他の操作については、メディアプレイヤーと同様に操作できます（➲P.10-9）。

保存動画の確認画面のメニュー操作

画面の状況により表示される項目は異なります。

メニュー	内　容
拡大・縮小	再生中または一時停止中の動画の表示サイズを変更します。
ブックマーク表示	ブックマークに登録したストリーミング再生のリンクがある情報画面にアクセスします。
履歴表示	以前に利用したストリーミング再生のリンクがある情報画面にアクセスします。
詳細	動画の詳細情報を確認します。
プレイヤー設定	プレイヤー設定を変更します（➲P.10-11）。

ストリーミング

ストリーミングとは、動画や音楽などのデータをダウンロードしながら順次再生する技術です。情報画面に表示されているストリーミング再生のリンクなどからアクセスして、ストリーミング再生ができます。

1. **リンクが表示されている画面を表示する**
2. **リンクを選択する**

補足

- **ストリーミング再生中の画面の操作について**
  メディアプレイヤーと同様に操作できます（➲P.10-3、10-9）。

注意

- **ストリーミングのご利用中は、一時停止した場合でも通信は継続されるため、パケット通信料が発生します。**

ストリーミング再生中の画面のメニュー操作

再生するデータや画面の状況により、表示される項目は異なります。

メニュー	内　容
拡大・縮小	再生中または一時停止中の動画の表示サイズを変更します。

メニュー	内　容
ブックマーク登録	利用中のストリーミング再生のリンクがある情報画面をブックマークに登録します。
ブックマーク表示	ブックマークに登録したストリーミング再生のリンクがある情報画面にアクセスします。
履歴表示	以前に利用したストリーミング再生のリンクがある情報画面にアクセスします。

お気に入り

お気に入りに保存する

表示中の情報画面を保存して、ウェブにアクセスせずにいつでも情報画面を表示できます。お気に入りは、最大50件まで保存できます。

1 情報画面を表示する

2 メニューから「お気に入り」→「保存」の順に選択する

お気に入りを表示する

1 ● を押し、「Yahoo! ケータイ」→「お気に入り」の順に選択する

2 お気に入りを選択する

お気に入りのタイトルを編集する

1 ● を押し、「Yahoo! ケータイ」→「お気に入り」の順に選択する

2 お気に入りを反転表示し、メニューから「名前変更」を選択する

3 ●（編集）を押し、名前を入力する

4 ✉（保存）を押す

お気に入りを削除する

1 ● を押し、「Yahoo! ケータイ」→「お気に入り」の順に選択する

2 削除操作をする

1件のお気に入りを削除する場合は

①お気に入りを反転表示する

②メニューから「削除」→「1件」の順に選択し、「はい」を選択する

複数件のページを削除する場合は

①メニューから「削除」→「複数」の順に選択する

②削除するお気に入りをチェックありにする

③② を繰り返して対象のお気に入りをすべてチェックありにする

④[✉]（削除）を押し、「はい」を選択する

すべてのページを削除する場合は

①メニューから「削除」→「全件」の順に選択する

②暗証番号を入力し、[✉]（OK）を押して「はい」を選択する

補足

- **複数件のページを選択中にまとめて選択／選択解除するには**
  ①操作2で、メニューから「削除」→「複数」の順に選択する
  ②メニューから「全選択／全解除」を選択する

ブックマーク

ブックマークに登録する

頻繁に利用する情報画面のURLをブックマークに登録することで、簡単な操作で情報画面にアクセスできます。ブックマークは、最大30件まで保存できます。

1 **情報画面を表示する**

2 **メニューから「ブックマーク」→「ブックマーク登録」の順に選択する**

3 **タイトルとURLを確認する**

タイトル／URLを変更する場合は

①タイトル欄またはURL欄を選択する

②タイトルまたはURLを変更する

4 **[✉]（保存）を押す**

補足

- **ブックマークを手動で入力して登録するには**
  ①[●]を押し、「Yahoo!ケータイ」→「ブックマーク」の順に選択する
  ②メニューから「ブックマーク登録」を選択する
  ③タイトル欄を選択し、タイトルを入力する
  ④URL欄を選択し、URLを入力する
  ⑤[✉]（保存）を押す

ブックマークから接続する

1 [●]を押し、「Yahoo!ケータイ」→「ブックマーク」の順に選択する

2 ブックマークを選択する

補足

- **ブックマークのURLをメールで送信するには**
  ①操作2でブックマークを反転表示し、メニューから「URL送信」を選択する
  ②メールを作成し、[✉]（送信）を押す

ブックマークを編集する

ブックマークのタイトルやURLを修正できます。

1 [●]を押し、「Yahoo!ケータイ」→「ブックマーク」の順に選択する

2 ブックマークを反転表示し、メニューから「ブックマーク編集」を選択する

3 タイトル欄またはURL欄を選択し、タイトルまたはURLを修正する

4 [✉]（保存）を押す

ブックマークを削除する

1 [●]を押し、「Yahoo!ケータイ」→「ブックマーク」の順に選択する

2 削除操作をする

1件のブックマークを削除する場合は
①ブックマークを反転表示する
②メニューから「削除」→「1件」の順に選択し、「はい」を選択する

複数件のブックマークを削除する場合は

①メニューから「削除」→「複数」の順に選択する
②削除するブックマークをチェックありにする
③②を繰り返して対象のブックマークをすべてチェックありにする
④[✉]（削除）を押し、「はい」を選択する

すべてのブックマークを削除する場合は

①メニューから「削除」→「全件」の順に選択する
②暗証番号を入力し、[✉]（OK）を押して「はい」を選択する

補足

- **複数件のブックマークを選択中にまとめて選択／選択解除するには**
  ①操作2で、メニューから「削除」→「複数」の順に選択する
  ②メニューから「全選択／全解除」を選択する

アクセス履歴

履歴には、アクセスした情報画面のURLが最大50件まで記録されます。履歴を利用して、以前に表示した情報画面に簡単にアクセスできます。

1 [●]を押し、「Yahoo! ケータイ」→「アクセス履歴一覧」の順に選択する

2 利用操作をする

履歴のURLにアクセスする場合は

URLを選択する

1件の履歴を削除する場合は

①URLを反転表示する
②メニューから「削除」→「1件」の順に選択し、「はい」を選択する

複数件の履歴を削除する場合は

①メニューから「削除」→「複数」の順に選択する
②削除する履歴をチェックありにする
③②を繰り返して対象の履歴をすべてチェックありにする
④[✉]（削除）を押し、「はい」を選択する

すべての履歴を削除する場合は

①メニューから「削除」→「全件」の順に選択する

②暗証番号を入力し、[✉]（OK）を押して「はい」を選択する

補足

- **複数件の履歴を選択中にまとめて選択／選択解除するには**
  ①操作2で、メニューから「削除」→「複数」の順に選択する
  ②メニューから「全選択／全解除」を選択する

情報表示中の各種設定・操作

画面表示を切り替える

お買い上げ時 ■スタンダード

情報画面を708SCのディスプレイに合わせて表示させるかどうかを設定できます。テキスト情報のみを表示させることもできます。

1 **情報画面を表示する**

2 **メニューから「画面表示切替え」を選択する**

3 **項目を選択する**

情報画面のレイアウトのまま表示する場合は

「ワイド」を選択する

情報画面のテキスト情報のみ表示する場合は

「シンプル」を選択する

情報画面のテキストを検索する

1 情報画面を表示する
2 メニューから「テキスト検索」を選択する
3 テキスト入力欄を選択し、検索語を入力する
4 検索する方向を選択し、[✉]（検索）を押す

情報画面のテキストをコピーする

1 情報画面を表示する
2 メニューから「テキストコピー」を選択する
3 文字入力画面で、メニューから「コピー」を選択する
4 コピーする最初の文字に[✥]でカーソルを合わせ、[●]（始点）を押す

文字入力画面上のすべての文字をコピーする場合は
[Y!]（全て）を押すと、コピー操作が終了する

5 [✥]で範囲を指定し、[●]（終点）を押す

最新の情報に更新する

1 情報画面を表示する
2 メニューから「更新」を選択する

URLを確認する　（ページの詳細）

表示中の情報画面のURLや、タイトルなどの詳細情報を確認できます。

1 情報画面を表示する
2 メニューから「ブラウザ設定」→「ページの詳細」の順に選択する

URLをメールで送信する

表示中の情報画面のURLを、メールのメッセージに入力して送信できます。

1 情報画面を表示する
2 メニューから「URL送信」を選択する
3 メールを作成し、[✉]（送信）を押す

サーバ証明書を確認する

SSL／TLSを利用して接続している情報画面のサーバ証明書を確認できます。

1 SSL/TLSを利用する情報画面を表示する

2 メニューから「ブラウザ設定」→「証明書」の順に選択する

3 「サーバ証明書」を選択し、証明書を選択する

補足

- SSL／TLSを利用する情報画面を表示すると
  ディスプレイ最上段に が表示されます。

ホームページを表示する（Yahoo!ケータイ）

Yahoo!ケータイのメインメニューに戻ることができます。

1 情報画面を表示する

2 メニューから「Yahoo!ケータイ」を選択する

文字コードを変更する （エンコード）

お買い上げ時 ■自動

情報画面のテキスト情報が正しく表示されない場合に、文字コードを変更して正しく表示できます。

1 情報画面を表示する

2 メニューから「ブラウザ設定」→「エンコード」の順に選択する

3 項目を選択し、[●]（保存）を押す

情報画面のメニュー操作

メニュー	内　容
進む	次の情報画面に移動します（➲P.21-5)。
ブックマーク	ブックマークに登録したり、登録した情報画面にアクセスしたりします（➲P.22-8)。
お気に入り	情報画面をお気に入りに保存したり、お気に入りに保存した情報画面を表示したりします（➲P.22-7)。
テキスト検索	情報画面の文字情報を検索します（➲P.22-12)。
更新	情報画面の情報を更新します（➲P.22-12)。

メニュー		内　容
URL入力		URLを入力して他の情報画面にアクセスします（➔P.21-4）。
画面表示切替え		情報画面の表示方法を変更します（➔P.22-11）。
テキストコピー		情報画面の文字情報をコピーします（➔P.22-12）。
保存		画像やサウンドをデータフォルダに保存します（➔P.22-2、22-4）。
URL送信		情報画面のURLをメールで送信します（➔P.22-12）。
アクセス履歴一覧		以前に表示した情報画面にアクセスします（➔P.22-10）。
Yahoo!ケータイ		Yahoo!ケータイのメインメニューに戻ります（➔P.22-13）。
ブラウザ設定		ウェブの詳細な設定、操作をします。
	文字サイズ	情報画面の文字サイズを設定します（➔P.23-3）。
	テキストブラウズ	画像やサウンドの取得設定を行います（➔P.23-2）。
	キャッシュ消去	キャッシュに保存された情報を消去します。
	Cookie消去	Cookieを消去します。
	Cookie設定	Cookieの有効／無効を設定します。
	証明書	証明書を確認します（➔P.22-13、23-4）。
	ページの詳細	情報画面の詳細情報を確認します（➔P.22-12）。
	製造番号通知	製造番号の通知／非通知を設定します。
	エンコード	表示中の情報画面の文字コードを変更します（➔P.22-13）。
	Java script	JavaScriptの有効／無効を設定します（➔P.23-3）。
	ブラウザ情報	ブラウザの詳細情報を確認します。

22
情報の利用

ウェブのその他設定

画像やサウンドの取得設定

お買い上げ時 ■画像表示：チェックあり
■サウンド再生：チェックあり

情報画面を表示したとき、画像やサウンドを表示／再生しないように設定できます。表示／再生をしないことで、情報画面の受信時間が短くなります。

1 [●]を押し、「Yahoo! ケータイ」→「ブラウザ設定」→「テキストブラウズ」の順に選択する

2 設定操作をする

画像を表示しない場合は

①「画像表示」を選択する

②項目を選択し、[✉]（保存）を押す

サウンドを再生しない場合は

①「サウンド再生」を選択する

②項目を選択し、[✉]（保存）を押す

セキュリティ設定

Cookieの有効／無効を設定する

お買い上げ時 ■全て許可

Cookieを受け入れるかどうかを設定できます。

Cookieとは、情報の提供者が訪問者を識別するためのデータを、自動的に708SCに記録する仕組みです。Cookieには、ユーザー情報やアクセス日時などが記録されます。

1 [●]を押し、「Yahoo! ケータイ」→「ブラウザ設定」→「Cookie設定」の順に選択する

2 項目を選択し、[●]（保存）を押す

補足

- **設定内容は**
  「全て許可」：Cookieをすべて受け入れる
  「全て拒否」：Cookieをすべて受け入れない
  「確認」：Cookieの記録を行うごとに受け入れるかどうかを確認するメッセージを表示する

JavaScriptの有効／無効を設定する

お買い上げ時 ■OFF

1 [●]を押し、「Yahoo! ケータイ」→「ブラウザ設定」→「Java script」の順に選択する

2 項目を選択し、[●]（保存）を押す

文字のサイズを設定する

お買い上げ時 ■標準

情報画面に表示されるテキスト情報の文字サイズを変更できます。

1 [●]を押し、「Yahoo! ケータイ」→「ブラウザ設定」→「文字サイズ」の順に選択する

2 項目を選択し、[●]（保存）を押す

製造番号を通知する

お買い上げ時 ■OFF

アクセスした情報画面から携帯電話のユーザーを識別するために製造番号の通知要求があったとき、自動的に通知するかどうかを設定できます。

1 [●]を押し、「Yahoo! ケータイ」→「ブラウザ設定」→「製造番号通知」の順に選択する

2 項目を選択し、[●]（保存）を押す

ブラウザ情報を確認する

1 [●]を押し、「Yahoo! ケータイ」→「ブラウザ設定」→「ブラウザ情報」の順に選択する

ルート証明書を確認する

708SCにあらかじめ登録されている、認証機関から発行された証明書を確認できます。

1 情報画面を表示する

2 メニューから「ブラウザ設定」→「証明書」を選択する

3 「ルート証明書」を選択し、証明書を選択する

ウェブの初期化

情報画面のキャッシュ／Cookieを消去する

キャッシュに保存されている情報や、記録されたCookieを消去できます。

1 ● を押し、「Yahoo! ケータイ」→「ブラウザ設定」の順に選択する

2 消去操作をする

キャッシュを消去する場合は

「キャッシュ消去」を選択し、●（はい）を押す

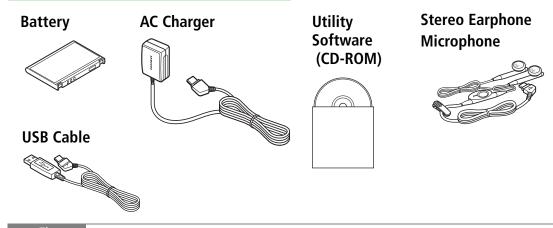
Cookieを消去する場合は

「Cookie消去」を選択し、●（はい）を押す

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the SoftBank Website (www.softbank.jp) for the full manual* or dial 157 from a SoftBank handset for Customer Service.

*Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check the SoftBank Website again at a later date.

Accessories

Tip

- **For details about accessories and optional items, contact Customer Service (➔P.24-48).**
- **microSD™ Memory Card**

  708SC is compatible with microSD™ Memory Card (Referred to as "Memory Card" hereafter). Purchase microSD™ Memory Card to use Memory Card-related handset functions.

Safety Precautions

- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others, or damage to property.
- SoftBank is not liable for any damages resulting from use of this product.

■ Before Using Handset

● Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on. Symbols and their meanings are described below:

⚠ **Danger**	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠ **Warning**	Risk of death or serious injury from improper use
⚠ **Caution**	Risk of injury or damage to property from improper use

		⚠
Prohibited Actions	Compulsory Actions	Attention Required

Handset, Battery & Charger

Use only the specified battery or Charger.

Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not short-circuit Charger Terminals.

Keep metal objects away from Charger Terminals. Keep handset away from jewellery. Battery may leak, overheat, burst or ignite causing injury. Use a case to carry handset.

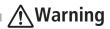
Battery

If battery fluid gets into eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.

Eyes may be severely damaged.

Prevent injury from battery leakage, breakage or fire. Do not:

- Heat or dispose of battery in fire.
- Disassemble, modify or break battery.
- Damage or solder battery.
- Use a damaged or deformed battery.
- Use non-specified charger.
- Force battery into handset.
- Charge or place battery near fire, heat sources or expose it to extreme heat.
- Use battery for other equipment.

Warning

Handset, Battery & Charger

Do not insert foreign objects into handset.

Do not place metal or flammable objects in handset or Charger. This may cause fire or electric shock. Keep handset out of the reach of children.

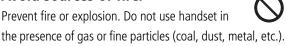
Keep handset out of rain or extreme humidity.

Fire or electric shock may occur.

Keep handset away from liquid-filled containers.

Keep handset or Charger away from chemicals/ liquids. Fire or electric shock may result.

Avoid sources of fire.

Prevent fire or explosion. Do not use handset in the presence of gas or fine particles (coal, dust, metal, etc.).

Keep handset or Charger away from microwave ovens.

Battery or handset may leak, burst, overheat or ignite and cause accidents.

Do not disassemble or modify handset.

- Do not open housing of handset or Charger; may cause electric shock or injury. Contact SoftBank Customer Center, Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset or Charger. Fire or electric shock may result.

Do not subject handset to shocks.

Subjecting handset or Charger to shocks may cause malfunction or injury. Should the handset break, remove the battery and contact SoftBank Customer Center, Customer Assistance. Discontinue handset use. Fire or electric shock may occur.

If water or foreign matter is inside handset:

Discontinue handset use to prevent fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug Charger and contact SoftBank Customer Center, Customer Assistance.

If an abnormality occurs:

Should there be unusual sound, smoke or odour, discontinue handset use to avoid fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery and unplug Charger and contact SoftBank Customer Center, Customer Assistance.

Keep handset off and Charger disconnected at filling stations/ places with fire/explosion risk

Handset use near petrochemicals or other flammables may cause fire/explosion; cancel IC Card Lock and turn handset off before using S! FeliCa at filling stations.

Handset

Preventing accidents

- For safety, never use handset while driving. Pull over beforehand. Mobile phone use while driving is prohibited by the revised Road Traffic Law (effective 1 November 2004).
- Do not use headphones while driving or riding a bicycle. Accidents may result.
- Moderate volume outside, especially at level/road crossings to avoid accidents.

Do not swing handset by handstrap.

May result in injury or breakage.

Turn handset power off before boarding aircraft.

Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Adjust vibration and Ringtone settings:

Select settings carefully if you have a heart condition or wear pacemaker/defibrillator.

During thunderstorms, turn power off; find cover.

There is a risk of lightning strike or electric shock.

Do not use the phone with a wet hand.

Doing so may cause an electric shock to you or damage to the handset.

Charger

Use only the specified voltage.

Non-specified voltages may cause fire or electric shock.

- AC Charger: AC 100V-240V Input
  SoftBank is not liable for problems caused by charging handset abroad.
- In-Car Charger: DC 12V-24V Input

Do not use commercially available transformers.

Use of AC Charger with commercially available transformers may cause fire, electric shock or damage.

Do not use In-Car Charger inside vehicles with a positive earth.

Fire may result. Use In-Car Charger only inside vehicles with a negative earth.

Do not touch blades with wet hands.

Electric shock may occur.

Do not use multiple cords in one outlet.

May generate excess heat or fire.

Do not bend, twist, pull or set objects on cord.

Exposed wire may cause fire or electric shock.

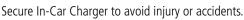
Do not short-circuit Charger Terminals.

Keep metal away from terminals. May cause overheating, fire or electric shock.

If AC/In-Car Charger cord is damaged:

May cause fire or electric shock; contact SoftBank Customer Assistance to replace.

Preventing accidents

Secure In-Car Charger to avoid injury or accidents.

During thunderstorms:

Unplug Charger to avoid damage, fire or electric shock.

Keep Charger out of the reach of children.

Electric shock or injury may occur.

Battery

If battery does not charge properly, stop charging.

Battery may overheat, burst or ignite.

If there is leakage or abnormal odour, avoid fire sources.

It may catch fire or burst.

If there is abnormal odour, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery from handset.

It may leak, overheat or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

People with implanted pacemakers/ defibrillators should keep handset more than 22 cm away.

Implanted pacemakers/defibrillators may malfunction due to radio waves.

Turn handset power off in crowded places such as trains. People with implanted pacemakers/defibrillators may be near.

Implanted pacemakers/defibrillators may malfunction due to radio waves.

Observe these rules inside medical facilities:

- Do not take handset into operating rooms or Intensive or Coronary Care Units.
- Keep handset off in hospitals.
- Keep handset off in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding mobile phone use in medical facilities.

Consult manufacturer for radio wave effects on electronic medical equipment.

Caution

Handset, Battery & Charger

Handset Care

- Place handset on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep handset away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage or burnout.
- Keep handset away from direct sunlight (inside vehicles, etc.) or heat sources. Distortion, discoloration or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep handset out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep handset away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage Environment

- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using handset on the beach. Sand may cause malfunction or accidents.
- Keep handset away from credit cards, phone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

Handset temperature

Handset may become hot while in use. Avoid prolonged contact with skin especially at high temperature. May cause burn injuries.

Avoid leaving handset in extreme heat (inside vehicles, etc.).

Handset may heat up and lead to burns.

Volume settings

Keep handset volume moderate.

Excessive volume may cause damage to your hearing.

Headphones

- Do not unplug by pulling the cord. May cause damage to the cord.
- Keep plug clean to avoid noise or malfunction.

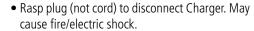
Inside vehicles:

Handset use may cause electronic equipment to malfunction.

Should skin irritation occur, discontinue handset use and consult a doctor.

Skin irritation, rashes, or itchiness may result depending on your physical condition.

Charger

Charger & In-Car Charger

- Rasp plug (not cord) to disconnect Charger. May cause fire/electric shock.
- Keep cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.

- Stop use if plug is hot or improperly connected. May cause fire/electric shock.
- Keep In-Car Charger socket clean. May overheat and cause injury.

Use only the specified fuse

1A fuse for In-Car Charger. Or may cause damage/fire.

Always charge handset in a well-ventilated area

Avoid covering/wrapping Charger. May cause damage/fire.

Do not use In-Car Charger when engine is off

Start engine before use. Or car battery may be weakened.

Long periods of disuse

Be sure to unplug AC/In-Car Charger after use.

Handset Maintenance

When cleaning, disconnect AC/In-Car Charger to prevent shock/injury.

Installing In-Car Charger

Properly position the cable for safe driving to avoid injury or accidents.

Battery

Do not throw or abuse battery.

Battery may overheat, burst or ignite.

Do not leave battery in direct sunlight or inside vehicles.

Overheating/fire may occur; may reduce performance.

Do not expose battery to liquids.

Performance may deteriorate.

If battery fluid contacts on skin or clothes:

Rinse with clean water immediately.

Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse.

Tape over battery terminals before disposal, or bring them to a SoftBank shop. Follow local regulations regarding battery disposal.

Keep battery out of the reach of children.

Charge battery within a range of 5°C - 40°C ; outside this range battery may leak/overheat and performance may deteriorate.

If your child is using handset, explain all instructions and supervise usage.

If there is abnormal odour or excessive heat, stop using battery and call SoftBank Customer Center, Customer Assistance.

Do not leave battery uncharged. Charge at least once every six months.

General Notes

General Use

When Using

- SoftBank is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset/Memory Card. Please keep separate records of Phonebook entries, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law. Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- **Beware of eavesdropping.**
  Because this service is completely digital, the possibility of signal interception is greatly reduced. However, some transmissions may be overheard.

Eavesdropping

Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

Inside Vehicles

- Never use handset while driving.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect a vehicle's electronic equipment.

Abroad Aircraft

Never use handset aboard aircraft (keep power off).

Handset use may impair aircraft operation.

Electromagnetic Waves

For body worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory that contains no metal and that positions the

handset a minimum of 15mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. SoftBank is not liable for any resulting damages.
- Use handset between 5˚C - 40˚C.
- Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing lens to direct sunlight may damage color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset Display.
- When using headphones, moderate volume to avoid sound bleed.
- Handset is not water-proof. Avoid exposure to liquids and high humidity.
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid placing handset in damp places (restrooms, bath/shower rooms, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may get inside handset causing malfunction.
- Heavy objects or excessive pressure should be avoided. May cause malfunction or injury.
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Insert only specified devices into Headphone Port. Malfunction or damage may result.

- Always turn off handset before removing battery. If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Handset Camera Usage

- Handset camera usage which violates the law or other regulations (e.g. Public Nuisance Laws) may be subject to prosecution.

Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only.

Use of materials beyond this limitation or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

Minding Mobile Manners

Please use 708SC responsibly. Use these basic tips as a guide. Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Please take care not to disturb others when using your handset. Adjust 708SC use according to your surroundings.

- Turn 708SC off in theaters, museums and other places where silence is the norm.
- Keep 708SC off aboard airplanes or inside hospitals or other places where handset use is prohibited.
- Refrain from using 708SC in places such as restaurants, hotel lobbies or elevators.
- Observe announcements or posted instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from handset use that interrupts the flow of pedestrian or vehicle traffic.

Manner-Related Functions

Take advantage of built-in features to help you use 708SC in public places without disturbing or endangering others.

Manner Profile

Silence 708SC sounds and activate Vibration for all alerts, tones and alarms. Use Manner Key to activate or cancel Manner Profile.

Offline Profile

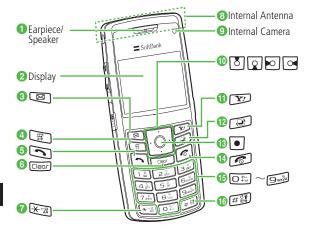
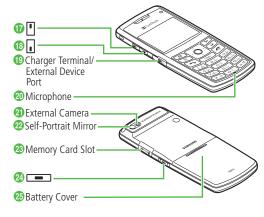
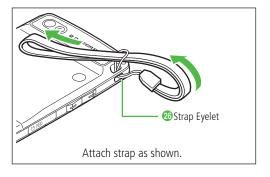
Temporarily suspend 708SC transmissions; other 708SC functions may still be used while Offline Profile is active.

Silence 708SC sounds or activate Vibration for each alert, tone or alarm individually in Sound Settings.

Handset Parts & Functions

Handset

In this manual, handset parts/functions are indicated with the corresponding names/symbols below:

Attach strap as shown.

❶ Earpiece/Speaker

❷ Display

❸ Left Softkey/Mail Key

Execute Left Softkey command/function or open Messaging menu.

❹ Media Player/Character Key

Activate Media Player or select text entry mode.

❺ Start Key

Make and receive voice calls.

❻ Clear/Back Key

Delete entered text or return to previous window.

❼ ⁎ Key

Enter line breaks in text entry windows.
In Standby, press for 2+ seconds to open Phone Profiles.

❽ Internal Antenna

❾ Internal Camera

Capture your own image for Video Calls.

❿ Multi Selector

Use to search for items, move the cursor, scroll or execute functions (➔P.24-25).

⓫ Right Softkey/Yahoo! Keitai Key

Execute Right Softkey command/function or open Yahoo! Keitai menu.

⓬ Switch Bar Key

Activate Switch Bar to open Call, Messaging, Yahoo! Keitai or Media Player.

⓭ Center Key

Open Main Menu or execute Center Softkey command/function.

⓮ Power/End Key

Turn power ON/OFF and end operations.

⓯ Keypad

⓰ #/Manner Key

Select an entry mode or activate/cancel Manner Profile (press for 2+ seconds).

⓱ (Side Key)

Raise volume.

⓲ (Side Key)

Lower volume.

⑲ **Charger Terminal/External Device Port**

Connect Charger, Stereo Earphone Microphone, USB Cable, etc. here.

⑳ **Microphone**

㉑ **External Camera**

Capture images or send video during a Video Call.

㉒ **Self-Portrait Mirror**

㉓ **Memory Card Slot**

㉔ **Camera Key**

Activate Camera or release shutter.

㉕ **Battery Cover**

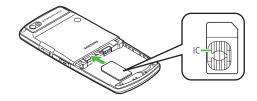
㉖ **Strap Eyelet**

Inserting & Removing USIM Card

Always turn off handset power before opening handset to remove battery or insert/remove USIM Card.

Inserting

1 **Remove battery**

2 **Holding USIM Card with IC chip-side down, insert it into USIM Card slot**

3 Insert USIM Card until it stops and locks

Removing

1. Remove battery (➔P.24-20)
2. Press down on USIM Card and gently slide it out

Note

- Inserting USIM Card with excessive force may damage it.
- Do not misplace a removed USIM Card.
- To prevent damaging it, avoid touching IC chip when inserting or removing USIM Card. Do not touch the battery contacts.
- Some handset files may be inaccessible after handset repair/upgrade or USIM Card replacement.
- If USIM Card or 708SC with USIM Card inserted is lost/stolen contact Customer Service (➔P.24-48) immediately to prevent unauthorized use.

Charging Battery

Battery & Charger

- Always charge a battery before using it for the first time or after a long period of disuse.
- Use only Charger specified for 708SC by SoftBank; do not use Charger for other purposes/handsets.

- Battery must be properly installed inside 708SC to charge it. Handset power cannot be turned on without a battery installed.
- Do not charge the battery under the following conditions:
  - Places with ambient temperature below 5°C or above 40°C
  - Places with high levels of humidity, vibrations or dust that could lead to handset malfunctions
  - Near radios or televisions that may suffer interference
- 708SC/charger normally warm from charging, but if too hot to touch stop charging; contact Customer Service (➔P.24-48).
- Do not leave battery uncharged. Charge battery at least once every six months; otherwise, battery may become unusable.
- When charger is not in use, unplug it from electrical outlet or cigarette lighter socket.

■ Battery Life

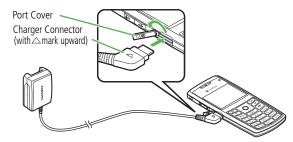
- The following scenarios may reduce battery operating time:
  - Using/storing 708SC in places with an ambient temperature below 5°C or above 40°C.
  - Using 708SC under poor signal conditions or leaving it on when handset is out-of-range.
  - Charging battery when handset, battery and charger terminals are impaired by dust or grime.
- Battery life is limited; replace if operating time is significantly reduced.

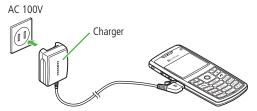
■ Battery Disposal

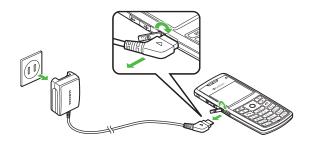
Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over battery terminals before disposal or take to a SoftBank shop. Follow any and all local regulations regarding battery disposal.

Charging

Use specified charger only.

1 Open Port Cover and insert Charger Connector into the port

2 Plug Charger into an AC 100V outlet

When handset is on and battery is fully charged, Display battery indicator flashes.

Display battery indicator flashes when charging is complete.

3 When battery is charged, unplug Charger from outlet, then from 708SC

Tip

- **Battery Charged Confirmation**

  If 708SC is on while Charger is connected, battery indicator flashes when battery is fully charged. While charging, battery indicator changes as follows:

  → → .

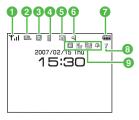
  If 708SC is off while Charger is connected, *Battery full* appears above static graphic when battery is fully charged. Otherwise, *Charging...* appears above battery animation.

- **Battery Charging Time**

  Charging battery requires approximately 140 minutes when 708SC is on without operations; longer when in use. Charging time may vary with ambient temperature.

Display Indicators

Display

1. Signal Strength (more bars indicate stronger signal)

   Out Out-of-Range (outside service area or no signal)

2. 3G (UMTS) network connected/roaming

   GSM network connected/roaming

   Web SSL connected

3. (Blue) Bluetooth® Active

   (Flashing in Blue & Pink) Bluetooth® Transmission

4. Voice Call in Progress

   Video Call in Progress

   Keypad Lock Set

5 New S! Mail
New SMS
Voice Mail
Answer Machine Message
Memory Card inserted

6 Standard Profile
Manner Profile
In-Car Profile
Meeting Profile
Outdoor Profile
Offline Profile

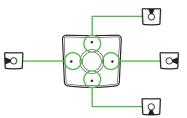
7 Battery Strong
Battery Moderate
Battery Low
(Flashing) Battery Weak (Charge Now)

8 Other than Off for Voice Call in Ringtone volume Set; and On for Voice Call in Vibration Set
Other than Off for Voice Call in Ringtone volume Set; and Off for Voice Call in Vibration Set
Off for Voice Call in Ringtone volume Set; and On for Voice Call in Vibration Set
Off for Voice Call in Ringtone volume Set and Vibration Set

9 Wake-up Alarm/Alarm Set
Answer Machine Active
S! Mail Memory Full
SMS Memory Full

Symbols

Multi Selector

In this manual, the symbols below express Multi Selector operations.

: Press or
: Press or
: Press , , , or

USIM PINs

USIM Card has two (4- to 8-digit) security codes: PIN & PIN2.

PIN & PIN2

PIN	Prevent unauthorised use of 708SC by others
PIN2	Required for authentication for online services, etc.

- PIN and PIN2 are both set to "9999" by default.
- PIN and PIN2 can be changed.
- When PIN Lock is enabled, PIN is required each time 708SC is turned on with USIM Card inserted.

PIN Lock & Cancellation (PUK/PUK2 Code)

Incorrectly entering either PIN or PIN2 three times consecutively, activates PIN Lock and limits handset function access. Enter PIN Unblocking Key Code (PUK or PUK2 Code) to release PIN Lock.

For PUK Code contact Customer Service (➔P.24-48).

Note

- **Entering PUK Code incorrectly ten consecutive times locks USIM Card and disables handset.**
- **If PUK Code for PIN2 is entered ten times consecutively, all operations requiring PIN2 are disabled.**
- **Write down PUK Code for future reference.**
- **Unlocking a locked USIM Card, requires a special procedure. Contact Customer Service (➔P.24-48).**

Security Codes

Phone Password, Center Access Code and Network Password are all required to use 708SC.

Phone Password

"9999" or the 4-digit number selected at subscription, required to use/change some handset functions. * appears as it is entered; if incorrect, an error message appears.

Center Access Code

4-digit number specified at initial subscription; required to access Voice Mail via landlines/to subscribe to fee-based information.

Network Password

4-digit number specified at initial subscription, required to restrict handset services. Entering Network Password three consecutive times incorrectly locks Call Barring settings. To resolve, Network Password and Center Access Code must be changed; contact Customer Service (➔P.24-48).

Note

- **Do not forget Phone Password, Center Access Code or Network Password. If forgotten, contact Customer Service (➔P.24-48).**
- **Do not reveal the Phone Password, Center Access Code or Network Password to others. SoftBank is not liable for any damages caused by misuse of these codes by others.**

Tip

- **Change Phone Password/Call Barring Password as needed.**
- **Do not attempt to change Center Access Code. For details, please contact Customer Service (➔P.24-48).**

Basic Handset Operations

Handset Power On/Off

Power On

1 Press [power key] for 1+ seconds

Power Off

1 Press [power key] for 2+ seconds

English Display

1 Press [●] and select *設定* → *一般設定* → *Language*

2 Select *English* and press [●] (保存)

Your Phone Number

1 Press [●] and press [0 わ]

Setting Clock

1 Press [●] and select *Settings* → *Phone settings* → *Time & date*

2 Enter the time (24-hour format)

3 Highlight Date field and enter year, month and day

4 Press [●] (Save)

Note

- **Internal Antenna**
  708SC has no external antenna. Handset transmits and receives signals via Internal Antenna. Do not cover or place stickers, etc. over the area containing Internal Antenna. Voice quality will vary depending on where/ how handset is used.

Network Settings

1. **Press ● and select *Settings* → *Connectivity* → *Network mode***
2. **Select *Automatic, GSM 900/1800, GSM 1900*, or *3G***
   When Automatic is selected, handset sets mode according to country or region.

Initiating a Voice Call

Calling within Japan

1. **Enter a phone number**
2. **Confirm the number and press**
3. **Press to end the call**

Placing an International Call

1. **Enter a phone number**
   To call to a SoftBank handset, skip ahead to Step 5.
2. **Select *Menu* → *International dial***
3. **Select country or *Enter Code* for direct entry**
   Once country is selected, proceed to Step 4.
4. **Select *Japan***
5. **Confirm the number and press**

Calling from Outside Japan

1 **Enter phone number with area code**

To call an in-country landline or mobile phone, proceed to Step 5.

2 **Select *Menu* → *International dial***

3 **Select country or *Enter Code* for direct entry**

Once country is selected, proceed to Step 4.

4 **Select *Abroad***

5 **Confirm the number and press**

Redial

1 **Press**

2 **Highlight a record and press**

Calling from Received Calls

1 **Press**

2 **Highlight a record and press**

Initiating a Video Call

1 **Enter a phone number**

2 **Select *Menu* → *Video call***

3 **Press to end the call**

Answering a Voice Call

1 **When 708SC rings/vibrates, press [Start key] or [●] (Accept)**

2 **Press [End key] to end the call**

Answering a Video Call

1 **When 708SC rings/vibrates, press [●]**

2 **Select *Yes* or *No* and press [●]**

To set speaker phone, select Yes.

3 **Select *Yes* or *No* and press [●]**

To cancel outgoing image, select No.

4 **Press [End key] to end the call**

Total Charges & Call Time

1 **Press [●] and select *Settings* → *Call settings* → *Call manager***

2 **Select *Call costs* or *Call times***

Muting Microphone

1 **During a call, select *Menu* → *Mute***

2 **Select *Voice* or *Key tone* and press [●] to check**

3 **Press [Mail key] (OK)**

Forwarding a Call

Forward incoming calls to the specified phone number.

Activating Call Forwarding

1 **Press ● and select *Settings* → *Call settings* → *Voice call* or *Video call* → *Diverts***

2 **Select *No reply* or *Always*; view the current settings**

3 **Highlight Forwarding address field and enter a number**

To forward calls to Voice Mail Center, enter "09066517000."

4 **For *No reply*, highlight Waiting time field and set a time**

5 **Press ● (ON)**

Note

- **Video calls cannot be forwarded to Voice Mail Center.**

Listening to Voice Mail Messages

For Voice Mail, Voice Mail Center sends SMS and *Voicemail* appears in Standby; press ✉ (Call) to call Voice Mail Center. Alternatively, enter "1416" and press ☎ to hear Voice Mail.

Manner Profile

When Manner Profile is active all handset sounds are muted and handset vibrates for incoming transmissions.

1 **In Standby, press # for 1+ seconds**

Tip

- **When Manner Profile is active, press # for 1+ seconds again to cancel.**

Entering Characters

Entry Modes

漢 : Kanji/Hiragana
カ : Double-byte Katakana
ｶﾅ : Single-byte Katakana
A : Double-byte Alphanumerics
AB : Single-byte Alphanumerics
1 : Double-byte Numbers
12 : Single-byte Numbers
※ : Double-byte Symbols
※# : Single-byte Symbols
☺ : Pictograms
^^ : Emoticons
韓 : Hangul

1 **In a text entry window, press 文字**

2 **Highlight entry mode and press ●**

Key Assignments

Key	Single-byte Alphanumerics	Single-byte Numbers
1	.@-_/:~1	1
2	abcABC2	2
3	defDEF3	3
4	ghiGHI4	4
5	jklJKL5	5
6	mnoMNO6	6
7	pqrsPQRS7	7
8	tuvTUV8	8
9	wxyzWXYZ9	9
0	,.-_!? 〈Space〉0	0
*	Toggle Case Enter Line Break	Enter Line Break
#	• Reverse toggle characters assigned to the same key before finalizing character selection • Toggle Single-byte Symbols, Double-byte Symbols, Pictgrams, Emoticons	

Abridged English Manual

24

Tip

- **To enter consecutive characters assigned to the same key**
  Press [key] to move the cursor right and enter the next character.
- **To correct a character already entered**
  Move the cursor to the character to be corrected, press [Clear] to delete that character and then enter correct character.

Symbols, Pictograms & Emoticons

1 **In a text entry window, press [key]**

2 **Select *! @#* , *!@#*, *Pictogram*, or *Emoticon***

3 **Highlight target character and press [●]**

Previous entry mode returns.

Tip

- **To enter symbols, pictograms or emoticons successively**
  Highlight the character to be entered and press [✉] (Continue).

Saving to Phonebook

Save up to 1000 contacts to handset Phonebook. USIM Card Phonebook capacity varies by card; insert USIM Card into other compatible SoftBank handsets to use Phonebook information.

Phonebook Entry Items

Save name, reading, phone numbers, mail addresses and group affiliation to each entry in handset/USIM Card Phonebook.

Item	Description
Entry Number	000 - 999 (handset) or 000 - 0XX (USIM Card)
Name	Enter up to 50 characters

Item	Description
Reading	Enter up to 50 characters
Phone Icon	Select one of six icons
Phone Number	Enter up to 5 numbers (handset) of up to 40 digits and 2 numbers (USIM Card)
Email	Enter up to 4 addresses (handset) of up to 256 single-byte characters and 1 addresses (USIM Card)
Email Icon	Select one of three icons
Category	Select one of twenty categories
Caller ID	Add an image to appear for incoming calls/ video calls
Call Notice	Select Ringtone for incoming calls/video calls
Message Notice	Select Ringtone for incoming message
Blood Type	Select one of four blood types
Birthday	Enter the party's date of birth
Address	Enter up to 20 single-byte characters for postal code and up to 50 for address
Hobby	Enter up to 100 characters
URL	Enter up to 2 URLs consisting of up to 100 single-byte alphanumerics each

Item	Description
URL Icon	Select one of three available icons
Note	Enter up to 100 characters
Secret mode	Select secret setting

Note

- **Back-up Import Information**
  Keep copies of important information in another place. If battery is exhausted/removed for long periods, Phonebook data may be lost; handset damage may also affect information recovery. SoftBank is not liable for damages resulting from accidental loss/alteration.

New Phonebook Entries

Enter a name, reading, phone number and mail address. Entry numbers appear automatically in ascending order from 000.

1 **Press [key]**

2 **Select *Menu* → *Add to* → *Phone* or *USIM***

3 **Highlight Name field and enter a name**

Characters entered here automatically appear in Reading; edit Reading for Phone Book List.

4 **Highlight Phone number field and enter a number**

If saving to USIM Card Phonebook, skip ahead to Step 5.

5 **Press [●] and select a phone icon**

6 **Highlight Mail Address field and enter an address**

If saving to USIM Card Phonebook, skip ahead to Step 8.

7 **Press [●] and select a mail icon**

8 **Press [✉] (Save)**

Editing Phonebook

1 **Open entry details (➲P.24-37)**

2 **Press [✉] (Edit)**

3 **Edit entry items and press [✉] (Save)**

Saving from Call Log Records

1 **Press**

2 **Use to open a Call Log, highlight a record, select** ***Menu* → *Add to Phonebook* → *Phone*** **or** ***USIM***

3 **Select Phonebook entry type**

- To create a new entry, select *New*.
- To save to an existing entry, select *Update*, open the Phonebook entry (➔P.24-37).
- For USIM Card Phonebook entry, skip ahead to Step 5.

4 **Select a phone icon**

5 **Enter additional items as required**

6 **Press (Save)**

Using Phonebook

Searching Phonebook

Phonebook List	Katakana Reading entries appear according to the Japanese syllabary; alphanumeric entries appear under AB and 123.
Name Search	Enter letter/character from which to begin search
Category Search	Select a Phonebook Category from which to search
Reading Search	Enter letter/character from which to begin search
Entry Number Search	Enter Entry Number digits to begin a search
Phone Number Search	Enter portion of a phone number to begin a search
Email Search	Enter portion of an address to begin search

1 **Press**

2 **Press (Search)**

3 **Select search method and press ●**

4 **Perform selected search method**

5 **Select an entry**

Tip

- **To search USIM Card Phonebook**
  After Step 4, select *Menu* → *View from USIM*

Calling from Phonebook

1 **Select an entry, press ● (Details) to view the details (➔P.24-37)**

2 **Select a phone number and call it**

Mobile Camera

Use handset Camera to capture still images/record video.

	Still Images	Video
Image Size	W 1600 X H 1200 dots W 1280 X H 960 dots W 640 X H 480 dots W 320 X H 240 dots	W 320 X H 240 dots W 176 X H 144 dots W 128 X H 96 dots
Format	JPEG	3GP

Before Using Camera

- Clean dust/oil from lens cover with a soft cloth before capturing images.
- Handset movement may blur images; hold 708SC firmly or place it on a stable surface and use Timer.
- Mobile Camera is a precision instrument, however, some pixels may appear brighter or darker.
- Leaving 708SC in a warm place for an extended period before image capture/save may harm image quality.

- Exposing the lens to direct sunlight will damage the camera's color filter.

Capturing Still Images

1 Press [key] for 1+ seconds

2 Preview image on Display

3 Press [●] (Take)

Captured image is saved to *Pictures* (➔P.24-39).

4 Press [✉] (Back)

Tip

- **To switch between internal and external cameras**

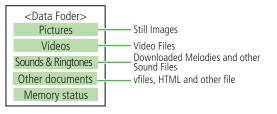
  After Step 1, select *Menu* → *Switch camera*.

- **To attach and send captured image**

  After Step 3, press [●] (Send) and select *As message*, create and send a message (➔P.24-42 "Sending Text Messages").

Data Folder

Contents

Saved files are organized among four folders within Data Folder. User created files or files downloaded via Web or received S! Mail are each saved to the appropriate folder.

Opening Data Folder Files

1 Press [●] and select *Data Folder*

2 Select the folder where file is saved

3 Highlight a file and press [●] (View/ Play/Start/Select)

Yahoo! Keitai

Use Yahoo! Keitai services to exchange text/multimedia messages and browse the Mobile Internet, etc.

Opening Yahoo! Keitai Menu

Access Mobile Internet content via Yahoo! Keitai main menu. Browse for image or sound files as well as information.

1. **Press [Y!]**
2. **Select an item**
3. **Select an item and press [●] (Go to)**
4. **Repeat Step 3 to open subsequent menus/pages**

Messaging

SoftBank text communication services are available both in Japan and overseas. Exchange text or multimedia messages with compatible handsets, PCs, etc. via the Net.

SMS (Short Message Service)

Use this service to send and receive short text messages between SMS-compatible SoftBank handsets using phone numbers.

S! Mail

Use this service to exchange long text messages with SoftBank handsets, e-mail compatible mobiles, PCs and other devices. Attach image/sound files or download attached files.

Tip

- Using S! Mail/receiving e-mail requires a separate subscription.
- When recipient's handset is off or out-of-range, message is stored at the Center and resent until it can be delivered.

Opening Messages

1. Press ✉
2. Select *Received msgs*, *Drafts*, *Unsent msgs* or *Sent msgs*
3. Select a message

Editing Messages

Sending from Drafts

1. Press ✉ and select *Drafts*
2. Highlight message and press ● (Edit)
3. Edit the message and press ✉ (Send)

Sending from Unsent Messages

1. Press ✉ and select *Unsent msgs*
2. Highlight message, select *Menu* → *Edit*
3. Edit the message and press ✉ (Send)

Customizing Handset Address

1 Press [✉] and select *Settings* → *S! Mail* → *Mail Address Setting*

2 Follow onscreen instructions

Sending Text Messages

1 Press [✉] and select *Create msg*

2 Enter an address

To enter an address from Phonebook

① Select Address field and select *From Phonebook*

② Search and select an entry

③ Highlight a phone number or mail address and press [●] (Select)

To enter an address directly

① Select Address field and select *Enter Recipient*

② Enter phone number or mail address

To enter an address from sent records

Select Address field and select the record

To enter an address from a Phonebook Category

①Select Address field and select *From Category*

②Select a Category, with/without Address selection window, highlight an address to enter and press ● (Select)

3 Enter a subject (S! Mail only)

①Select Subject field

②Enter a subject

4 Enter text

①Select Text entry field

②Enter text

5 Attach a file (S! Mail only)

To insert a file into message text

①Select *Menu* → *Insert*

②Select *Image*, *Sound*, *Video*, or *Text* and press ●

③Select a file and press ●

To attach a file

①Select Attach field and press ●

②Select *Data folder*, *Phonebook details*, or *Calendar items* and press ●

③Select a file and press ●

6 Press ✉ (Send)

Tip

- **Newly created messages automatically appear as SMS; when text exceeds 160 characters or a file is attached, messages automatically change to S! Mail.**

Incoming Text Messages

Opening Messages

When a message is received, *New message* appears in Standby.

1. **Press ✉ (View)**
2. **Select a message**

Retrieving Complete S! Mail

When Center delivers the initial portion of S! Mail, follow these steps to download the entire message and attachments from Mail Server:

1. **Press ✉ and select *Received msgs***
2. **Select an incomplete message (/)**
3. **Press ● (Retrieve)**

Replying & Forwarding

Replying to Messages

1. **Press ✉ and select *Received msgs***
2. **Highlight message, select *Menu* → *Reply***
3. **Create a message and press ✉ (Send)**

Forwarding Messages

1. **Press ✉ and select *Received msgs* or *Sent msgs***
2. **Highlight message, select *Menu* → *Forward***
3. **Create a message and press ✉ (Send)**

Function Menu

Main Menu	Sub Menu
Call Log	Current contacts
	Missed calls
	Received calls
	Dialled calls
	Data counter
	Call costs
	Call times
Yahoo! Keitai	Yahoo! Keitai
	Bookmarks
	Saved pages
	Enter URL
	History
	Browser settings
Media Player	Music
	Video

Main Menu	Sub Menu
Camera	Take photo
	Record video
	Go to photos
	Go to videos
	Dynamic effect list
	Video editor
Data Folder	Pictures
	Videos
	Sounds & Ringtones
	Other documents
	Memory status
Messaging	Received msgs
	Create msg
	Drafts
	Unsent msgs
	Sent msgs
	Templates
	Server mail box
	Settings
	Memory status

Main Menu	Sub Menu
Tools	Alarms
	Calendar
	Voice recorder
	World clock
	Calculator
	Converter
	Stopwatch
	Dictionary
	Photo slide
	Memory status
Phonebook	Phonebook List
Settings	Phone settings
	Sound settings
	Display settings
	Call settings
	Phonebook settings
	Connectivity
	Security
	Software update
	Memory settings

Specifications

SoftBank 708SC

Weight	Approximately 73 g
Continuous Talk Time	Voice Call: Approximately 165 minutes (3G)/ Approximately 320 minutes (GSM) Video Call: Approximately 110 minutes (3G)
Continuous Standby Time	Approximately 230 hours (3G)/ Approximately 260 hours (GSM)
Dimensions (W x H x D)	Approximately 50.4 x 112.4 x 8.4 mm
Maximum Output	0.25 W

- Values above calculated with battery installed.
- Battery Operating Time is an average calculated using 708SC with a fully charged battery, in stable signal conditions. Using 708SC in poor signal conditions, or leaving power on while out-of-range consumes more power and may reduce this figure by more than a half.

- Talk/Standby Time decrease with frequent use of Display backlights.
- Talk/Standby Time decrease with use of moving images for Wallpaper.
- Continuous Talk Time is an average measured using 708SC while stationary. Continuous Standby Time is an average calculated with a new, fully charged battery while stationary in strong signal conditions without transmissions/ operations. Actual times may be reduced by alternating between operations/transmissions and Standby.

Battery

Voltage	3.7 V
Type	Lithium-ion
Capacity	900 mAh
Dimensions (W x H x D)	Approximately 44.3 x 36.9 x 5.6 mm (without protruding parts)

AC Charger

Power Source	AC 100-240 V, 50/60 Hz (with power cable)
Output Voltage/ Current	DC 5 V/700 mA
Charging Temperature	5°C to 40°C
Dimensions (W x H x D)	Approximately 53 x 49 x 20 mm (without cables)
Cord Length	Approximately 180 cm

Customer Service

If you have questions about SoftBank handsets or services, please call General Information.
For repairs, please call Customer Assistance.

SoftBank Customer Center
From a SoftBank handset, dial toll free at 157 for General Information or 113 for Customer Assistance

SoftBank International Call Center
From outside Japan, dial +81-3-5351-3491 (International charges will apply.)

Call these numbers toll free from landlines.

Subscription Areas	Contacts	
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

機能一覧

大項目	中項目	参照先
通話履歴	全履歴	P.2-9
	不在着信履歴	P.2-9
	着信履歴	P.2-9
	発信履歴	P.2-9
	累積データ通信量	P.2-11
	通話料金	P.2-11
	累積通話時間	P.2-11
Yahoo!ケータイ	Yahoo!ケータイ	P.21-3
	ブックマーク	P.22-9
	お気に入り	P.22-7
	URL入力	P.21-4
	アクセス履歴一覧	P.22-10
	ブラウザ設定	P.23-2
メディアプレイヤー	ミュージック	P.10-3
	ムービー	P.10-9

大項目	中項目	参照先
カメラ	カメラ	P.7-4
	ビデオカメラ	P.7-9
	ピクチャーリスト	P.7-5
	ムービーリスト	P.7-10
	ダイナミックエフェクトリスト	P.7-17
	ビデオ編集	P.7-16
データフォルダ	ピクチャー	P.11-2
	ムービー	P.11-2
	メロディ&ミュージック	P.11-2
	その他ファイル	P.11-2
	メモリ容量確認	P.11-2
メール	受信ボックス	P.17-3、18-2
	メール作成	P.17-7
	下書き	P.18-7
	未送信ボックス	P.18-7
	送信済みボックス	P.18-7
	定型文	P.17-12
	サーバーメール操作	P.19-2
	設定	P.20-2、20-4
	メモリ容量確認	P.18-2

大項目	中項目	参照先
ツール	アラーム	P.14-2
	カレンダー	P.14-4
	ボイスレコーダー	P.14-13
	世界時計	P.14-16
	簡易電卓	P.14-17
	通貨・単位換算	P.14-17
	ストップウォッチ	P.14-19
	辞典	P.14-19
	フォトスライド	P.8-2
	メモリ容量確認	P.14-10
電話帳	電話帳検索	P.5-8
設定	一般設定	—
	サウンド設定	P.9-3
	ディスプレイ設定	P.8-1
	通話設定	—
	電話帳設定	P.5-1
	外部接続	P.12-1
	セキュリティ設定	P.13-1
	ソフトウェア更新	P.26-9
	メモリ設定	P.13-9、15-8、15-8

故障かな？と思ったら

電源が入らない

☑ 電池切れになっていませんか？

➡ 電池パックを交換するか充電してください。

☑ 電池パックが708SCに装着されていますか？

➡ 正しく装着してください。

電源を入れるとPINコードの入力画面が表示される

☑「起動時PIN認証」が「有効」に設定されていませんか？

➡「起動時PIN認証」が「有効」に設定されているときは、画面の指示に従ってPINコードを入力してください。

電源を入れるとUSIMパスワードの入力画面が表示される

☑「USIM照合」が「有効」に設定されていませんか？

➡「USIM照合」が「有効」に設定されているときは、USIMパスワードを入力してください。

■ 電源を入れたときや機能の操作時に「USIM未挿入です。」または「このカードは認識できません」と表示される

☑ USIMカードは正しく取り付けられていますか？

➡ USIM カードが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられているのに表示が出る場合は、破損している可能性があります。

☑ 違ったUSIMカードをお使いではありませんか？

➡ 正しいUSIM カードであることを確認してください。当社で指定されたUSIMカードを使用してください。

☑ USIMカードのIC部に指紋などの汚れがついていませんか？

➡ 乾いたきれいな布で汚れを落として、正しくお取り付けください。

■ 「Reading USIM Cannot operate」または「USIMカード読み込み中です　起動できません」と表示される

➡ USIMカードのデータ読込中です。しばらくたってから操作し直してください。

■ ダイヤルしても話中音（プープー…）が出る

☑ 市外局番など0から始まる電話番号をダイヤルしていますか？

➡ 市外局番など0から始まる電話番号をダイヤルしてください。

☑ オフラインモードが設定されていませんか？（「 」表示）

➡ 通常モードなど、他のモードに設定してください。

■ 「圏外」または「Out 」が表示され、電話がかけられない

☑ サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？

➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

通話が途切れたり、切れたりする

☑「圏外」または「Out」が表示されているか、または電波状態が悪い場所にいませんか？
➡ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。

☑ 電池切れになっていませんか？
➡ 電池パックを交換するか充電してください。

電話がかけられない

☑ 発着信規制サービスの発信規制が設定されていませんか？
➡ 発信の規制を停止してください。

電話帳、データフォルダ、通話履歴、カレンダーやメールの各種の機能が呼び出せない

☑ プライバシーロックが設定されていませんか？
➡ プライバシーロックを解除してください。

通話中に「プチッ」と音が入る

☑ 電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。

充電できない

☑ 急速充電器の接続コネクターが708SCに確実に差し込まれていますか？
➡ 確実に差し込んでください。

☑ 急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？
➡ 確実に差し込んでください。

☑ 電池パックが708SCに取り付けられていますか？
➡ 正しく取り付けてください。

☑ 708SC、電池パックの充電端子や急速充電器の接続コネクター、708SCの外部接続端子の接続端子が汚れていませんか？
➡ 乾いた綿棒などで端子部の汚れを落としてください。

☑ 周囲の温度が5℃より低い場所または40℃を超える場所で充電していませんか？
➡ 周囲の温度が5～40℃の範囲内で充電してください。

☑ 電池パックに異常はありませんか？

➡ 新しい電池パックに交換してください。

☑ 充電を繰り返しても、十分に充電できませんか？
➡ 電池パックの交換時期です。新しい電池パックに交換してください。

☑ 充電中に708SCや電池パックの温度が上昇していませんか？
➡ 温度が上昇すると充電を中断することがあります。708SCや電池パックが冷めてから、充電し直してください。

熱くなる

☑ 充電中に、急速充電器が発熱することがあります。

☑ 充電したり、長時間通話したりすると708SCが発熱することがあります。
➡ 手で触れることのできる温度であれば、異常ではありません。手で触れられないほど熱くなった場合はただちに充電、使用を中止してお問い合わせ先（➔P.26-23）までご連絡ください。

電池の消費が早い

☑ 使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状況によっては電池の消費が早くなります。
➡ 適切な環境下でご使用のうえ、電池の消費の大きな機能の使用を控えてください（➔P.1-10）。

ディスプレイの表示がちらつく

☑ 蛍光灯の近くで使用していませんか？
➡ 蛍光灯からなるべく離れてご使用ください。

ディスプレイの表示が暗くなったり消えたりする

☑ ディスプレイの特性によるものです。故障ではありません。暗くなったり消えたりするまでの秒数はバックライトの設定で変更できます。

スピーカーで音楽が再生できない

☑ マナーモードが設定されていませんか？
➡ マナーモードを解除してください。

☑ ステレオイヤホンマイクを接続していませんか？
➡ ステレオイヤホンマイクの接続コネクターを708SCから抜いてください。

「これ以上起動できません」と表示された

☑ メモリ不足です。

➡ 不要なS!メールは削除してください。多くの機能を一度に起動している場合は、いくつかの機能を終了してください。

Samsung PC Studioを利用してBluetooth® やUSB通信ができない

☑ USB ドライバはインストールされていますか？（USB通信の場合）

➡ 付属の USB ケーブルでパソコンと接続して通信する場合は、ドライバのインストールが必要です。付属のCD-ROMからドライバのインストールを行ってください。

☑ パソコン側で接続方法が正しく設定されていますか？

➡ ご利用になる通信に合わせて、Samsung PC StudioのConnection managerまたは接続ウィザードで接続方法を「USB」または「Bluetooth」に設定してください。

☑ パソコン側のBluetooth® やUSBの接続ポートがSamsung PC Studioで設定しているポートと同じですか？

➡ Samsung PC StudioのConnection managerまたは接続ウィザードでポートを合わせてください。

表示されない電話帳の登録内容がある

☑ シークレットモード設定が「非表示」に設定されていませんか？

➡ シークレットモード設定を「表示」に設定してください。

メールが作成できない

☑ 共有メモリがいっぱいになっていませんか？

➡ 不要なメールまたはデータフォルダの不要なファイルを削除してください。共有メモリが464Kバイトより少ないと、メールを作成できません。

☑ メールボックスのS!メールがいっぱいになっていませんか？

➡ 不要なS!メールを削除してください。

■「リトライ」と表示された

☑ 電波の弱い場所などで送受信に失敗したときに表示されます。

➡ 電波の強さを確認して、再度送信してください。

■「メール送信できませんでした」または「不明なエラーです」と表示された

☑ 接続に失敗したときなどに表示されます。

➡ しばらくたってから送信してください。

■「使用可能な全ての接続がビジー状態です」と表示された

☑ 708SC をモデムとしてパケット通信方式のデータ通信を行っているときにS! メールを送受信しようとした場合に表示されます。

➡ データ通信を終了してから送受信してください。

■「サービスを利用できません」と表示された

☑ 3G サービスエリア外から送信しようとしたときに表示されます。

➡ サービスエリア内から送信してください。

■「応答がありません」と表示された

☑ サーバがメンテナンス中などのため、接続できなかったときに表示されます。

➡ しばらくたってから送信してください。

■「オフラインモードに設定されています。作成したメールは未送信ボックスに保存されます」と表示された

☑ オフラインモード中に送信しようとしたときに表示されます。

➡ 他のモードに切り替えて送信してください。

■「不正なデータを受信しました。ダウンロードを終了します」や「サイズ超過のためダウンロードができません」と表示された

➡ 708SCではダウンロードできないデータです。ダウンロードを中止してください。

ソフトウェアを更新する

708SCのソフトウェアを更新する必要があるかどうかを確認し、必要な場合は通信を利用して最新のソフトウェアに更新できます。更新には、すぐに行う「今すぐ更新」と、更新日時を予約して行う「予約更新」があります。

1 ●を押し、「設定」→「ソフトウェア更新」の順に選択する

2 ✉（Yes）を押す

ネットワークに接続します。

3 規約を読み、「同意する」を選択する

「同意する」を選択する前に、規約をよくお読みください。

4 交換機用暗証番号を入力し、●（OK）を押す

チェック結果画面が表示されます。

5 ●（OK）を押す

今すぐ更新する場合は

「今すぐ更新」を選択すると、ソフトウェア更新が実行されます。更新が完了すると、708SCが再起動し、完了通知画面が表示されます。

完了通知画面

予約更新する場合は

①「予約更新」を選択する
②✉（Yes）を押す
③予約する日付を選択し、●（選択）を押す
④予約する時間帯を選択し、●（選択）を押す
⑤予約した日時を確認し、●（OK）を押す

補足

- **操作のご案内について**
  ソフトバンクホームページ「http://www.softbank.jp」からもご確認いただけます。
- **通信料について**
  確認や更新に通信料はかかりません。

- **予約更新の日時になると**
  更新確認画面が表示され、[●]（OK）を押すか、約10秒経過すると更新が開始されます。他の機能を利用中の場合は、機能を終了すると更新の確認画面が表示されます。ただし、他の機能を利用したまま予約更新の日時から10分以上経過すると、予約更新は解除されます。

更新確認画面

- **予約更新をキャンセルするには**
  ①操作1～5を行い、「予約キャンセル」を選択する
  ②[✉]（Yes）を押す

注意

- **電池が十分に残っている状態で更新を行ってください。更新中に電池残量が少なくなると、更新が失敗することがあります。**
- **予約更新日時に圏外になった場合は、ソフトウェア更新は行われません。**
- **電波の状態が良好な場所で移動せずにご利用ください。**
- **708SC に保存されているデータを残したまま更新が行われますが、万が一に備えてバックアップやメモなどをとることをおすすめします。データが消失した場合の損害につきましては当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。**
- **更新中は、通話やメッセージの受信などができません。**
- **更新が完了するまでに時間がかかる場合があります。**
- **更新に失敗して 708SC が使用できなくなった場合は、ソフトバンクの故障受付にご相談ください。**

記号／絵文字一覧

記号

全角記号

〈スペース〉、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃
仝々〆〇ー―‐／＼～‖｜…‥‘’“”（）〔〕
［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜
＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄￠￡％＃＆＊＠§☆
★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆
⊇⊂⊃∪∩∧∨￢⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√
∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯ゎゐゑヮヰヱヴヵ
ヶΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦ
ΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστ
υφχψωАБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОП
РСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгде
ёжзийклмнопрстуфхцчшщъ
ыьэюя─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗
┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂①②③④⑤⑥
⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢ
ⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ㍉㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗
㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜㎝㎞㎎㎏㏄㎡㍻〝〟№
㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼∮∑∟⊿

半角記号

〈スペース〉 ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ?
@ [¥] ^ _ ` { | } ~ ｡ ｢ ｣ ､ ･ ｰ ﾞ ﾟ

変換記号

記号名（入力文字）	記　号	記号名（入力文字）	記　号
あっと	＠＠	こめ	※
いこーる	＝＝	ころん	：；
えん	￥￥	さんかく	△▲▽▼
おんぷ	♪	しかく	□■◇◆
かける	×	どう	ゝ〃々
かっこ	()「」『』【】〈〉［］‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》	ぱーせんと	％％
		ほし	☆★
		まる	○●◎
から	～	やじるし	→←↑↓

26
付録

絵文字

- ［枠］部分の絵文字は動く文字です。
- 一部の絵文字および動く絵文字は、相手のソフトバンク携帯電話の機種により表示されない場合があります。

メモリ容量一覧

S!メール	受信ボックス	最大500件
	下書き	最大10件
	未送信ボックス	最大10件
	送信済みボックス	最大250件
SMS	受信ボックス	最大500件
	下書き	最大10件
	未送信ボックス	最大10件
	送信済みボックス	最大250件
データフォルダ	ピクチャー	各フォルダにつき最大999件（ファイルおよびサブフォルダの合計数）
	ムービー	
	メロディ＆ミュージック	
	その他ファイル	

主な仕様

定格および仕様は予告なく変更することがあります。

SoftBank　708SC

項　目	仕　様
質量	約73 g
連続通話時間	音声通話：約165分（日本国内・W-CDMA）／約320分（GSM） TVコール：約110分（日本国内・W-CDMA）
連続待受時間（ディスプレイ消灯時）	約230時間（日本国内・W-CDMA）／約260時間（GSM）
サイズ（W×H×D）	約50.4×112.4×8.4 ㎜
最大出力	0.25 W

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や「圏外」表示での待ち受けは電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- ディスプレイの照明がついている状態でのご利用（Yahoo!ケータイの操作など）が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。

- 待受画面などに動きのある画像を設定した場合、連続通話時間および連続待受時間が著しく短くなることがあります。
- 連続通話時間とは、「静止状態で連続して通話状態を保った場合の計算値」、また連続待受時間とは、「充電を満たした新品の電池パックを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態により算出した計算値」です。実際に使う場合は、通話と待ち受けの組み合わせとなるため、通話時間も待受時間も短くなります。連続通話時間ならびに連続待受時間は、使用環境（充電状態、気温など）によって変動することがあります。

電池パック

項　目	仕　様
電圧	3.7 V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	900 mAh
サイズ（W×H×D）	約44.3×36.9×5.6 ㎜（突起部を含まず）

急速充電器

項　目	仕　様
入力電圧	AC 100 V-240 V、50／60 Hz
出力電圧／出力電流	DC 5 V／700 mA
充電温度範囲	5～40℃
サイズ（W×H×D）	約53×49×20 ㎜（コード部分含まず）
コードの長さ	約180 cm

索引

英数字

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

す

せ

み

め

も

ゆ

よ

り

る

れ

ろ

わ

保証とアフターサービス

保証について

708SC本体をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

本製品の故障、または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お確かめください。それでも異常がある場合は、ご契約いただいた各地域の故障受付（➔P.26-23）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。

その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

注意

- **故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消去・変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に708SCに登録したデータ（電話帳やデータフォルダの内容など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。**
- **本製品を分解、改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。**

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ先までご連絡ください。

番号はお間違いのないようにおかけください。

ソフトバンクお客さまセンター	
総合案内	ソフトバンク携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付	ソフトバンク携帯電話から113（無料）

ソフトバンク国際コールセンター
海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡 +81-3-5351-3491（有料）

一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ先	
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

SoftBank 708SC　取扱説明書

2007年　1月　第1版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

＊ご不明な点はお求めになられた
ソフトバンク携帯電話取扱店に
ご相談ください。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず上記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

機種名　SoftBank 708SC
製造元　Samsung Electronics Co.,Ltd.